



Scenario Book

Compass Games

New Directions in Gaming

日本語解説書

Steel Wolves

Germany's Submarine Campaign Against British & Allied Shipping: Vol 1 1939-45

Copyright © 2010, Compass Games, LLC., All Rights Reserved

[30.0] 特別ルール [SPECIAL RULES]

特別ルールは、通常のルール項目下では扱わないユニークな状況を反映させます。

[31.0] 本国水域 [Home Waters]

大英帝国周辺は、ブリスベンとソロモン間のエリアよりも少ないエリアから成りますが、世界の貿易量の4分の1以上がそこを通過します。枢軸軍潜水艦にもたらされる機会を反映するために、各潜水艦は基地を出港していないターンに、二次戦闘フェイズに続いて2番目の索敵&接触フェイズを持つ可能性があります（これは、近海獵場 [15.12] と累加しません）。

[30.11] もしも、一次戦闘フェイズ中に潜水艦が独航船に遭遇するか接触なしで、しかも RTB 状態でなければ、2番目の索敵&接触フェイズを実行でき、もしも接触が得られたら二次戦闘フェイズに進みます。

[30.12] 潜水艦は、いったん全戦闘が終了したら耐久度チェック [14.7] を一度のみ行います。

[30.13] もしも、この二次戦闘フェイズに護送船団と接触が得られても、狼群を形成できません。

[30.14] 本国水域には、以下の作戦エリアが当てはまります。:

- ・北海 [North Sea]
- ・西方近接海域 [Western Approaches]
- ・南西方近接海域 [Southwestern Approaches]
- ・ノルウェイ海 [Norwegian Sea] WP 1 のみ
- ・バルト海 [Baltic Sea] WP 1 のみ

これらの作戦エリアは、AAC 上部の「2×」ならびに主要な3つについては作戦エリア境界の点線、WP 1 のみに適用するものについては破線を持つことでマップに注記されています。

[30.2] 西方水域 [Western Waters]

ヒトラーは合衆国、ルーズベルトのモンロー主義、汎アメリカ防衛ゾーンを挑発することを望まず、下記を除き、潜水艦はマップの「西方」部分の作戦エリア又は SMZs への進入あるいは一定ユニットの攻撃ができません。

[30.21] グリーンランド・ギャップ [Greenland Gap] は、いつでも進入できます。

[30.22] グランド・バンクス [Grand Banks] は、戦争時期3から開始して進入できます。

[30.23] 戦争時期4の前は、アメリカ艦船を攻撃する恐れのため、西方水域内のいかなる任務部隊又は特別護送船団への攻撃も認められません。明らかにされたアメリカ軍船団護衛艦は、艦長の評価値以下のサイ振りが行われた場合にのみ攻撃できます。エース艦長を持たない潜水艦は、この目的においてゼロ (0) 評価の艦長を持ちます。アメリカ軍護衛艦と判明した未確認状態の目標は、通常に沈めることができます。アメリカ軍潜水艦は攻撃され得ませんが、も

しもアメリカ軍潜水艦がプレイヤーの潜水艦を探知したら、それは攻撃します。

[30.24] 全ての制限は、戦争時期4に解除されます。

[30.25] 沿岸灯火管制 [Coastal Blackouts]

戦争時期4に、煌々と灯った町や海岸線は、これらの沿岸にシルエットを映した艦船を攻撃している潜水艦に多大な目標機会を提供しました。以下の作戦エリアと付属 SMZs について、1942年4月の最初の週が終了するまで、TDC が置かれた各目標に-1修正が適用されます（最大で-1）。

- ・マラタイムズ [Maritimes]
- ・米国東海岸 [US East Coast]
- ・メキシコ湾 [Gulf of Mexico]

コメント

通常、ドイツは汎アメリカ防衛ゾーンとモンロー主義を尊重しており、カナダを含む西大西洋の沿岸線はアメリカが参戦する前は灯火管制をしていませんでした。戦争がこれらの水域に及び、煌々と照らされた海岸から見える位置で艦船が撃沈されたとき、宣伝企業は灯火管制が(彼らの)経済に損害を与えると激しく主張しました。これらの地域においては、1942年の4月になるまで強制的な灯火管制は有効になりませんでした。

もしも WP4 の前に、これらの作戦エリアに進入するために選択政策ルール [36.0] が使用されていると、このルールはマラタイムズについてのみに有効です。ドイツ軍は政策的な優位性を取る理由により、中立米国水域に進入しないと仮定します。マラタイムズ内の影響は、枢軸軍潜水艦がそこで作戦を開始した4ヵ月後に永久に終了します。

[30.3] 作戦エリアの調整 [OpArea Adjustments]

一定の作戦エリアの船舶密度は、戦争時期以外の出来事が基本に変化します。

[30.31] 北極海作戦エリア（ノルウェイ海とバレンツ海）は、バルバロッサ [17.4] が起きるまで WP3 内 AAC の WP2 ラインを使用します。いったんそれが発生したら、北極海 AACs について WP3 ラインを使用します。

[30.32] 中央大西洋作戦エリア（バミューダ [Bermuda]、サルガッソー海 [Sargasso Sea]、海洋中央 [Mid-Ocean]）は、戦争イベントによってトーチ作戦が起きるまで WP5 内 AAC の WP4 ラインを使用します。いったんそれが発生したら、中央大西洋 AACs について WP5 ラインを使用します。サルガッソー海と海洋中央の両方は、護送船団、特別護送船団、トーチ後の任務部隊の創出の目的において「西方」水域と見なされます。

[30.33] バルト海 [Baltic] 作戦エリア内では、1939年9月は WP1 ラインが使用される唯一のときです。WP1 とバルバロッサ [17.4] までの残りについて、WP2 ラインが使用されます。潜水艦対潜水艦の接触は、1939年9月のバルト海（ポーランド軍のみ）とバルバロッサの開始から戦争の残り（ソヴィエト軍）についてのみ起こり得ます。

[30.34] 個々のシナリオは、それ自体の追加作戦エリア調整を持ち得ます。

[30.4] スカパ・フローとジブラルタルの海軍基地**[Naval Bases of Scapa Flow and Gibraltar]**

これらの海軍基地は、戦争時期 1 又は 2 に 1 隻の潜水艦によって（一度）進入できます。移送イベントのサイ振りに +2 修正があり（通常の +2 SMZ 移送イベント修正 [19.1] に加えて）、「探知状態」の結果は「探知状態 RTB」に変更されます。

[30.41] もしも潜水艦が未発見で進入したら、いかなる接触も任務部隊で、その部隊のユニットは港内 [14.18] です。二次攻撃を行うことができます。

[30.5] 処女水域 [Virgin Waters]

連合国は、潜水艦の活動が知られたエリア内でのみ護送船団を編成しました。しばしばこれは最初にあるエリア内に進入している潜水艦に一時的な優位性を与えます。全ての作戦エリアは、以前に進入していない限り、ある戦争時期の開始時に「処女水域」と見なされます。ただし、以下を除きます。:

戦争時期 1: バルト海 [Baltic Sea]、北海 [North Sea]、ノルウェイ海 [Nowegian Sea]、バレンツ海 [Barents Sea]、西方近接海域 [Western Approaches]、SW 近接海域 [SW Approaches]、グリーンランド・ギャップ [Greenland Gap]、グランド・バンクス [Grand Banks]、マラタイムズ [Maritimes]、モロッコ [Morocco]、西地中海 [Western Mediterranean]。

戦争時期 2: 上記にプラスしてケープ・ヴェルデ [Cape Verde] と東地中海 [Eastern Mediterranean]。

戦争時期 3: 上記にプラスして西アフリカ [West Africa]。

戦争時期 4: 上記にプラスしてアンゴラ内湾 [Angola Basin]。

戦争時期 5: 全ての作戦エリア内で護送船団がいる場所。

[30.51] 潜水艦が処女エリア内で索敵と戦争を実施する最初の週について、AACs [13.21] 上の索敵のサイ振りに +2 サイの目修正があり、全ての護送船団遭遇は独航船に変更されます。ただし、イベント又は B 機関表が任務部隊又は特別護送船団で代用と述べると、この場合は任務部隊又は特別護送船団はサイの目が認めたら遭遇します。

[30.52] その後の全ターンについて、その作戦エリアは通常に扱われます。

[30.6] 戦艦と巡洋艦のドクトリン**[Battleship and Carrier Doctrine]**

大西洋戦争で、大型主力艦が 2 隻を超える集団で行動することは非常に稀でした。地中海の外部における戦闘状況では、もしも 3 隻目の戦艦又は巡洋戦艦 (BB 又は BC) 又は 3 隻目の空母 (CV で CVE、AVG、ACV ではない) が確認されたら、代わりにそれが引かれたカップに戻されます。代わりに引かれるユニットはありません。これは、合計で 2 隻の戦艦/巡洋戦艦と 2 隻の艦隊型空母がディスプレイ上に存在できることを意味します。

[30.61] 地中海では、4 隻目の戦艦又は空母はカップへ戻されます。

[30.7] 初期VII型の航続範囲 [Early Type VII Range]

VII型 U ボートは、イギリス諸島やフランス周辺で作戦するために設計されていました。ドイツ軍は、その航続範囲を延長するため、バルジと清水タンクの燃料への変換を含む広範囲な改装を実施しました。

[30.71] 戦争時期 1 と 2 には、いかなる VII 型の最大航続範囲も、カウンタース上に記載された内容にかかわらず「3」です。

[30.72] 戦争時期 3 には、いかなる VII 型の最大航続範囲も「4」です。

[30.73] 戦争時期 4 と 5 には、VII 型 U ボートに記載された航続範囲を使用します。

[30.8] イタリア軍の特別ルール [Italian Special Rules]

以下は、イタリア軍潜水艦にのみ適用します。:

[30.81] 魚雷のドクトリン [Torpedo Doctrine]

魚雷が不足して高価であるため、初期のイタリア軍のドクトリンは商船目標毎に魚雷 1 本のみの使用でした。「放射状発射」でなかったため、これは著しく命中率を低下させました。下記の制限は、商船への全ての攻撃に適用します。:

・**戦争時期 2:** イタリア軍潜水艦は、その潜水艦がエース艦長を持たない限り、商船目標毎に「1」攻撃値まで割当てることができます。もしも護送船団が散開 [29.0] レヴェルを持つと、ボーナス攻撃値を「1」攻撃値に望むように加えることができます。

・**戦争時期 3:** イタリア軍潜水艦は、その潜水艦がエース艦長を持つか又はプレイヤーが特別なサイ振りで 0~4 を振らない限り、商船目標毎に「1」攻撃値まで割当てることができます。

・**戦争時期 4 と 5:** 全ての制限は解除されます。

ドクトリンが有効であるとき、耐久度チェック [14.7] に -1 修正が適用されます。

注釈: プレイヤーは、いかなるときにもドイツ軍（又は戦役に依存してその他のいずれか）潜水艦についての魚雷ドクトリンに戦争時期 3 ヴァージョンを利用できますが、その国籍の潜水艦の全てに適用するドクトリンとしてのみです。プレイヤーは、それを使用するときを選択できません。ドクトリンの取捨選択は、潜水艦増援フェイズ（各月最初の週）中にのみ起こり得ます。

[30.82] 天候の影響 [Weather Effects]

もしも北大西洋 [North Atlantic] 又は北極海 [Arctic] 作戦エリア内にプラスして北海、マラタイムズを哨戒しているイタリア軍潜水艦は、哨戒のサイ振り [13.21] に -1 修正と耐久度のサイ振り [14.7] に +1 を適用します。これらは、天候ルール [7.41] 下の罰則と累加します。

コメント

大部分のイタリア軍潜水艦は、地中海の穏やかな海のために設計され、上げられた排気管を通してではなく、主要な司令塔ハッチを通してその機関に空気を送っていました。嵐の北大西洋では、その巨大な司令塔は天候の損傷を被り易く、主要なハッチを通して進入する水が電気機器をショートさせました。これらの問題が知られるようになった後、イタリア軍潜水艦はより南方水域の哨戒に集中しました。

[30.83] SMG アミラリオ・カーニ [SMG Ammiraglio Cagni]

この潜水艦は、特に長距離通商破壊戦のために建造され、通常の 21"魚雷発射管（前部 4 基、後部 2 基）の代わりに衝撃的な 14 基の 18"魚雷発射管（前部 8 基、後部 6 基）を有しました。もしも 2t 以上の規模のいずれかの海軍ユニット（又は部隊輸送船 AP/AT）を攻撃していると、損傷のサイ振りに -1 修正が適用されます。

[30.9] 戦争要素についての特別ルール**[Special Rules for the War Mix]**

[30.91] 戦争要素 [3.1] 内のいくつかのユニットと国籍は、特別な指定を持ちます。:

- ・戦争初期、潜水艦協定を気に留める試みが行われました。1939 年には、いかなる確認状態の AT ユニットにも攻撃を行うことができません。もしも未確認状態のユニットが目標になると、攻撃され得ます（そして沈没）。
- ・帆船と漁船は、常に独航船カップ内に入れます。

- ・独航船カップ内の軽巡洋艦は、もしも沈没したら要素から取り去られ、次の戦争時期の開始時になるまで補充されません。
- ・一定の戦争時期では、イギリス軍戦艦が内縁と中央カップ内にあります。もしもどちらかが沈没するか又は損傷したら、両者はこれらのカップから永久に取り去られます（海軍本部は、これらを非特別護送船団の護衛にすることを止めます）。
- ・全ての 1/2ASW 値ユニットは、米海軍小型飛行船 K-Blimp を除き、戦争時期 2 の終了時に永久に取り去られます。
- ・イギリス軍のハドソンとカタリナ航空機は、WP3～5 に内縁カップと中央カップ内に置かれます。
- ・ソヴィエトの商船は、バルバロッサ [17.4] になるまでカップ内に入れられません。
- ・全てのフィンランド商船は、バルバロッサの瞬間に取り去られます。
- ・汎アメリカ防衛戦争イベントの 2 回目のサイの目又は WP4 の前には、3 隻までのパナマ商船（そのうち 1 隻のみが >6t 可）を要素内に入れることができます。
- ・アメリカ商船は WP4 になるまでカップ内に入れませんが、WP3 に独航船カップ内に入れられる 1 隻の M5t は除きます。
- ・ブラジル商船は、WP4 になるまでカップ内に入れられません。
- ・CG トウレジャリイ [Tresury] 7-2 は、WP4 の終了時に要素から取り去られます。
- ・USS ラファイエット [Lafayette] (旧フランス高速船ノルマンディ [Normandie]) は、史実ではニューヨークで部隊輸送船へ改装中に火災を起こしました。プレイヤーの選択で、WP5 にこの AP を高速船カップへ加えます。

[30.92] 戦争要素内のその他のユニットは、もしも一定の作戦エリア内で明らかになったら置き換えることができます。:

- ・バレンツ海でいったんバルバロッサが起きたら、最初の非イギリス軍護送船団護衛艦はサイの目 0～4 でソヴィエト軍 7 型 DD に置き換えられます。
- ・戦争時期 5 中のマラタイムズでは、USN 小型飛行船 k-Blimp を RCAF Digby に置き換えます。

[31.0] キャンペーン・ゲーム [THE CAMPAIGN GAMES]

鋼鉄の狼のキャンペーン・ゲームは、主要な海軍力に対する大規模な潜水艦戦の揺れ動く作戦の様相の深い探求をプレイヤーに認めます。鋼鉄の狼は、6 つの標準キャンペーン・ゲームを提供します。

プレイヤーがどのキャンペーン・ゲームを選択するかにかかわらず、戦争全体をプレイするためには長い時間がかかることに気づくでしょう。一方で、プレイヤー諸氏がキャンペーン・ゲームに取り

組む前に、プレイのメカニクスに馴染むために哨戒ゲームで開始することを提言する必要はありません。プレイヤーがキャンペーン・ゲームを開始するとき、長期間のセット・アップを認める場所を選択することを助言します。

[31.01] 潜水艦の戦闘序列 [Submarine Order of Battle]

各キャンペーンは、開始時に使用可能な潜水艦を列記します。特定の位置が指定されていない限り（例えば、修理 1 ボックス等）、プレイヤーはその位置を判定するため、港内で開始する各潜水艦についてサイを振ります。

0	点検完了 [Work Up]
1～2	港内 [In-Port]
3～5	栈橋 [Pierside] (II 型 U ボートは出撃準備完了)
6～9	出撃準備完了 [Ready For Sea]

開始位置の中で魚雷値のような情報は、選択政策ルール [36.0] でのみ使用される「影響」です。

[31.02] マスター潜水艦増援リスト

[MASTER SUBMARINE REINFORCEMENTS LIST]

各月の開始時に、マスター潜水艦増援リスト [MASTER SUBMARINE REINFORCEMENTS LIST] を調べます。

[31.03] 勝利ポイント [Victory Points]

フル・キャンペーン（キャンペーン I）についてのみ、2 種類：戦略的勝利と作戦的勝利の勝利の可能性があります。作戦的勝利は、各シナリオについて述べられます。1941 年 5 月の後は、作戦的勝利のみが可能です。プレイヤーは、フランスの崩壊からバルバロッサ開始の間に、イギリス政府を打ち倒すために十分な勝利ポイントを獲得することで戦略的勝利を達成できます。

勝利ポイント表 [The Victory Point Table]

勝利ポイント表は、各月にどれだけ多くの艦船とトン数を沈めたかを基準に獲得される勝利ポイントを表示します。プレイヤーは、艦船撃沈についてゼロから 5 勝利ポイント、プラスして、撃沈したトン数についてゼロから 5 ポイントの、可能な合計 10 勝利ポイントを 1 ヶ月間に得点します。勝利ポイント表 (VPT) は、最上部の勝利ポイント得点と各勝利ポイント・グループ内の二重コラムでレイアウトされ、表示された勝利ポイントを得点するためにプレイヤーが達成しなければならない月（横列）の艦船とトン数の最低値です。

この表は、月の終了時に使用されます。表を使用するため、プレイヤー諸氏は、完了直後の月と自軍の結果 1) 撃沈艦船数と 2) 撃沈トン数をそれぞれ調べます。ポイントを獲得するため、プレイヤ

VICTORY POINT TABLE [31.03]														
D	Victory Points		1 POINT		2 POINTS		3 POINTS		4 POINTS		5 POINTS		Historical Score	England Imperiled Track [31.04]
	ships	tons (000)	ships	tons (000)	ships	tons (000)	ships	tons (000)	ships	tons (000)	ships	tons (000)		
1939	WAR PERIOD 1	Sep	16	71	23	102	31	137	39	172	47	208	9	
		Oct	17	66	25	97	33	128	41	159	50	194	15	
		Nov	18	66	26	96	35	129	44	162	53	196	18	
		Dec	18	67	26	97	35	131	44	165	53	199	23	
1940		Jan	19	68	28	101	37	133	46	165	56	201	30	
		Feb	19	69	28	102	37	135	46	168	56	204	38	
		Mar	19	70	28	103	37	137	46	170	56	207	39	
		Apr	20	71	29	103	39	139	49	174	59	210	39	

一の合計艦船数／トン数が表示された最低数以上でなければなりません。プレイヤー諸氏は、どちらのカテゴリー（艦船数又はトン数）についても、この月に撃沈した数値に到達するまで表を横に見続けます。プレイヤー諸氏は最低要件を超えた最後のコラムから勝利ポイントを得点します。あるカテゴリーについて最低要件未滿を得点していると、このターンのそのカテゴリーについてゼロ・ポイントを得点します。プレイヤー諸氏は、1つのカテゴリーで決して5VPsを超過できず、1ヵ月のターンで決して合計10ポイントを超過できません。

例1：

1939年10月です。プレイヤーはこの月だけで26隻71,000トン撃沈しています。プレイヤーは1939年10月のライン上で横に見ていき、最初に艦船撃沈についての勝利ポイントをチェックします。プレイヤーは1VPについての17隻を超過したので、続いて次の勝利ポイント・コラムに進みます。プレイヤーは、2勝利ポイントの25隻を超過したので次のコラムに進みます。プレイヤーは、33隻は超過しなかったため、この月の艦船について2勝利ポイントを得点しました。ここで、プレイヤーは撃沈トン数についてチェックします。再び、プレイヤーは1VPコラムの66,000トンを超えたので次に進みます。ただし、プレイヤーは2VPsについて要求された97,000トンは超過しなかったため、この月のトン数については1VPのみ得点します。ここでプレイヤーは、2つの得点を合計し(2+1)、1939年10月ターンについて3勝利ポイントを記録します。

例2：

1939年12月です。プレイヤーは12隻を撃沈しましたが、1隻は戦艦ネルソン [Nelson] だったのでそのトン数が高くなり、142,000トンを得点しています。プレイヤーは1939年12月のライン上で横に見ていき、最初に艦船撃沈についての勝利ポイントをチェックします。プレイヤーは1VPについての18隻を超過していないので、プレイヤーは艦船についてゼロVPsを得点します。ここで、プレイヤーは撃沈トン数についてチェックします。プレイヤーは1VPコラムの67,000トン、同様に2VPのために要求される97,000トンと3VPsにののための131,000トンの両方を超過しました。プレイヤーは4VPsに到達するための最低165,000トンは超過しなかったため、この月のトン数については3VPを得点します。ここでプレイヤーは、2つの得点を合計し(0+3)、1939年12月ターンについて3勝利ポイントを記録します。

[31.04] 戦略的勝利とイギリス政府の打倒

[Strategic Victory and Bringing Down the British Government]

国家の交易に対する潜水艦戦のような戦略キャンペーンにおける究極の問いは、その戦役が総力戦から目標国を脱落させることをもたらすか又は重大な貢献ができるかどうかです。太平洋では、合衆国の潜水艦部隊によって達成された回答は鳴り渡るイエスでした。大西洋では、回答はドイツ軍の努力が示す条件からの結果ですが、不変ではありません。

歴史的には、戦争中の一ヶ月を除くドイツ軍Uボート部隊の当初の成功にもかかわらず、中立の合衆国を含むドイツの敵は、Uボートが沈めるよりも多くの船舶トン数を補充しました。加えて、重要な戦略物資は決して枯渇せず、英国が屈服に耐えるには十分でした。このシミュレーションのために実施した統計は、チャーチルの有名な引用にもかかわらず、大西洋の交通がUボートによって脅かされ、英国が破滅の危機を迎えることはなかった現実を強く示唆しています。そして、いったんドイツがソヴィエト連邦を攻撃し、遅れて合衆国が参戦したら、ドイツ軍戦役の運命は効果的に封じられました。

それにもかかわらず、提出された問いは、実際に島国の英国が和平を請うため十分に危険に晒さることができるかどうかです。鋼鉄の狼が生み出した広範な統計的精査は、このような「目標」達成が、一定の出来事や選択で行われるドイツ軍全体の努力内で、潜在的に達成可能であることを提言しました。したがって、真の「ゲーム」は、デーニッツを超えることなく、ドイツ軍提督自身の任務としてプレイヤー諸氏が達成できるかどうか調べることです。

これをモデル化し、合理的な成功の予想を生み出すため、鋼鉄の狼は英国に対する妨害の成功を達成するための最適な時期として、統計分析が強く示唆する戦役初期のほぼ1940年7月から1941年5月まで続いた、英国を空からも脅かしたバトル・オブ・ブリテンの期間中に相当することになります。この時期の後には、英国への重大な圧力は減少し、殆どありそうもない、ソヴィエト連邦の崩壊や合衆国が完全に参戦を忌避するような驚くべきシナリオの可能性を除くため、十分な妨害の達成から離れる傾向となります。ただし、このモデルの枠内で達成可能なことを行うため、要求される勝利ポイントのレベルはほぼ低下するという見積もりが行われます。私たちは、史実において、英国の孤立と遮断はドイツ軍Uボート部隊には重荷だったと確信し続けています。

英国の危機記録欄 [The Englad Imperiled Track]

各月、プレイヤー諸氏は撃沈した艦船数とトン数を、艦船合計とトン数合計の個別に足し上げ、これらの結果を勝利ポイント・マトリクスと比較します。プレイヤー諸氏は、撃沈した艦船数とトン数の両方について勝利ポイントを獲得し、月の2つの結果を一緒に足して、その合計に前の全ての月の合計を加え、記録欄上で現在の結果数値を管理します。

1940年7月から1941年5月（含む）までの期間中、もしもプレイヤーの合計勝利ポイントが英国の危機表（下記）に表示された勝利ポイント数以上であると、プレイヤーはイギリスに対して戦略的勝利を達成し、英国は個別講和を強いられてゲームは終了します。

英国の危機表

年	月	必要なVPs
1940	7月	77
	8月	84
	9月	91
	10月	98
	11月	105
	12月	112
1941	1月	119
	2月	126
	3月	133
	4月	140
	5月	147

[31.1] キャンペーン I : 連合国に対する潜水艦戦**[CAMPAIGN I: THE SUBMARINE CAMPAIGN AGAINST THE ALLIES]****[31.11] ゲームの長さ [Game Length]**

鋼鉄の狼のフル・キャンペーン・ゲームは、1939 年に開始されて 1943 年 4 月まで続きます。ゲームの終了時、プレイヤーは撃沈した連合国のトン数と艦船数、失われた潜水艦の数を合計し、[31.14] に従って勝利条件を判定します。

ゲーム開始：1939 年 9 月第 1 週（戦争時期 1）

ゲーム終了：1943 年 4 月第 4 週の終了時

ゲームの長さ：176 ターン

撃沈艦船：0 隻

撃沈トン数：0t

損失潜水艦：0 隻

魚雷値：-1

情報状態：B 機関+2、エニグマ+2

影響力：OKM+1、OKW 0、OKL-1、最高統治機関 0、栄誉 1

基地：ドイツ

特別：キャンペーンの最初のターンは、戦略セグメントが飛ばされます。戦争イベント、魚雷改良、B 機関エリアについてのチェックはありません。

[31.12] 潜水艦戦闘序列 [Submarine Order of Battle]

後方に（未熟 [Inexpl]）を持つ潜水艦は、未熟練 [Inexperienced] +1 マーカーが上に置かれ、[8.1] に従って罰則を被ります。

潜水艦基地ドイツ：	U-3、U-4、U-10、U-13、U-16、U-17、U-20、U-24、U-31、U-32、U-35、U-57
バルト海：	U-7、U-14、U-18、U-22
北海：	U-9、U-12、U-15、U-19、U-21、U-23（Kretschmer +1）、U-36、U-56（未熟）、U-58、U-59
イギリス海峡：	U-26（機雷 2 マーカー。最初のターンに機雷敷設を実施しなければならないが、移送イベント・チェックを実施する必要はない）
西方近接海域 [Western Approaches]：	U-27、U-28、U-29、U-30、U-45、U-53（移送面を上、外航）
南西方近接海域 [SWApproaches]：	U-33、U-34、U-38、U-46、U-47（Prien +1）、U-48（Schultze +1）、U-52
モロッコ [Morocco]：	U-37、U-39、U-40、U-41
エル・フェロル [El Ferrol]：	補給艦マックス・アルブレヒト [Max Albrecht]
カディス [Cádiz]：	補給艦タリア [Thalia]
カナリア諸島 [Canary Islands]：	補給艦コリエンテス [Corrientes]

[31.13] 勝利条件 [Victory Conditions]

もしもイギリス政府が打倒 [31.04] されたら戦略的勝利が達成されます。そうでなければ、1943 年 4 月第 4 週の終了時、勝利のレベルは蓄積された勝利ポイント [31.03] の数が基準になります。もしもプレイヤーが以下の勝利ポイント以上を持つと：

330 大勝利。西側連合国の戦争努力を著しく遅くさせ、最終的にはヨーロッパのより多くの部分がソヴィエトの支配下になることを認める。

300 戦術的勝利。終戦を遅らせる。

265 限定的勝利

230 史実（引き分け）

200 敗北

200VP 未満の結果は、早期終戦です。

これは基本勝利レベルです。プレイヤーは、以下の計画に従って戦争中に失った潜水艦の合計によって、このレベルを修正します。

喪失潜水艦	結果
0～150 隻	1 レベル上昇させる。
151～299 隻	修正なし。（史実：226 隻*）
300 隻以上	1 レベル下降させる。

*ドイツは 1943 年初旬を通して 210 隻の潜水艦を失った。戦争期間全体については 805 隻だった。大西洋に基地を置いた 16 隻のイタリア軍潜水艦が失われた。

[31.14] 政策ルールなしのフル・キャンペーン**[The Full Campaign Without the Political Rules]**

フル・キャンペーンに選択の政策ルール [35.0] を使用することを薦めます。もしもプレイヤーがそれを望まなければ、勝利ポイント表に従って月毎に撃沈艦船を記録することと、魚雷改良表が要求する蓄積との間の争いになります。この場合、プレイヤーは月毎の撃沈艦船数を紙に記録し、魚雷改良の目的においてマーカーで蓄積する撃沈艦船数を記録することが要求されます。

もしも勝利ポイント表、英国の危機記録欄、政策ルールの使用を望まなければ、下記に別の勝利判定方法が提供され、上記のごとく潜水艦の喪失によって修正します。

シミュレーションは、撃沈トン数が 13,000,000 トン（13,000t）を超過したときに終了します。勝利のレベルは、これが起きた時期によって判定されます。

1943 年よりも前： 決定的勝利

43 年 1～2 月： 戦術的勝利

3 月： 限定的勝利

43 年 4 月： 史実（引き分け）

43 年 5 月： 敗北

[31.2] キャンペーン 2：まやかしの戦争ではない [THE NOT SO PHONY WAR]

[31.21] ゲームの長さ [Game Length]

このキャンペーンは、キャンペーン 1 と同じに開始されますが、1940 年 6 月の最終ターンに終了します。ゲームの終了時、プレイヤー諸氏は撃沈した連合国のトン数と艦船数、**撃沈した主力艦の数**を合計し、[31.22] に従って勝利条件を判定します。

ゲーム開始：1939 年 9 月第 1 週

ゲーム終了：戦争時期 2 に変化する瞬間

ゲームの長さ：不定

[31.22] 勝利条件 [Victory Conditions]

キャンペーンの終了時、プレイヤーは自身のトン数結果を合計します。：

2,100t： 決定的勝利
1,700t： 限定的勝利
1,350t： 引き分け
1,200t 未満：敗北と更迭
1,000t 未満：軍法会議

これは基本勝利レベルです。プレイヤーは、潜水艦によって撃沈された連合軍主力艦 (CA、BB、BC、CV) の数によって、このレベルを修正します。

4 隻+の主力艦を撃沈： 2 レベル上昇
3 隻の主力艦を撃沈： 1 レベル上昇
1～2 隻の主力艦を撃沈：修正なし (史実：2 隻)
0 隻の主力艦を撃沈： 1 レベル下降

[31.3] キャンペーン 3：最初の幸福な時代 [THE FIRST HAPPY TIME]

フランスの崩壊は、連合国にとって暗い時代の始まりでした。ほぼ護送船団護衛艦の 5 分の 1 だったフランス艦は、もはや使用できません。加えて、イタリアが参戦した地中海の艦隊を強化するため、並びにドイツ軍のアシカ作戦(侵攻)に対するため、駆逐艦を護送船団任務から外さなければなりませんでした。

[31.31] ゲームの長さ [Game Length]

キャンペーン・ゲームは、1940 年 7 月に戦争時期 3 に移行するまで続きます。したがって、一定のゲームの長さはありません。

時期：1940 年 7 月第 1 週

戦争時期：2

撃沈艦船：362 隻

撃沈トン数：1,392t

損失潜水艦：23 隻

魚雷値：0

情報状態：B 機関+2、エニグマ+1

影響力：OKM 0、OKW 0、OKL-1、最高統治機関 0、栄誉 2

基地：ドイツ、ノルウェー、フランスー大西洋が開設

連合軍の喪失：CV カレージウス [Courageous]、CV グローリアス [Glorious]、BB ロイヤル・オーク [Royal Oak]、AT チャンプレイン [Champlain] が沈没。

[31.32] 潜水艦戦闘序列 [Submarine Order of Battle]

1940 年 8 月に開始するマスター潜水艦増援リストを調べます。注釈：リスト上に撤退又は復帰としてあらわされる何隻かの潜水艦は、すでに失われているかもしれません。撤退又は復帰しているこれらの潜水艦については、無視されることになります。

潜水艦基地 ドイツ：	U-25、U-30、U-37、U-38 (Liebe +1)、U-46、U-47 (Prien +1)、U-51、U-52、U-57 (Topp +1)、U-59、U-99 (Kretschmer +1)、U-101、U-122
ドイツ修理 3：[Germany Repair 3]	U-31
大西洋整備 [Atlantic Refit]：	U-32
潜水艦基地 ノルウェー：	U-61
西方近接海域 [Western Approaches]：	U-43
南西方近接海域 [SWApproaches]：	UA、U-26、U-27、U-28、U-34、U-48 (Blechrodt +1)、U-65、U-102
エル・フェロル [El Ferrol]：	補給艦マックス・アルブレヒト [Max Albrecht]
カディス [Cádiz]：	補給艦タリア [Thalia]
カナリア諸島 [Canary Islands]：	補給艦コリエンテス [Corrientes]

[31.22] 勝利条件 [Victory Conditions]

もしもプレイヤーがこのキャンペーンを終戦まで継続したら、キャンペーン 1 の勝利条件を使用します。戦争時期 3 への移行で終了したら、勝利を判定するために以下のチャートを使用します。：

5,000t： 決定的勝利
3,900t： 実質的勝利
3,300t： 史実 (引き分け)
3,000t： 限定的敗北
3,000t 未満：軍法会議

[31.4] キャンペーン 4：帝国の逆襲**[THE EMPIRE STRIKES BACK]**

1940 年の苦難を克服した後、イギリスは護送船団システムを有効な兵器に転じ、効果的な ASW 空軍力を初めて投入しました。

[31.41] ゲームの長さ [Game Length]

このキャンペーンは、戦争時期 4 への移行で終了します。

時期：1941 年 3 月第 2 週

戦争時期：3

撃沈艦船：748 隻

撃沈トン数：3,415t

損失潜水艦：37 隻

魚雷値：0

情報状態：B 機関 +1、エニグマ 0

影響力：OKM 0、OKW 0、OKL -1、最高統治機関 0、栄誉 3

基地：ドイツ、ノルウェー、フランスー大西洋が開設

連合軍の喪失：CV カレージウス [Courageous]、CV グローリアス [Glorious]、BB ロイヤル・オーク [Royal Oak]、AT チャンブレイン [Champlain] が沈没。

[31.43] 勝利条件 [Victory Conditions]

もしもプレイヤーがこのキャンペーンを終戦まで継続したら、キャンペーン 1 の勝利条件を使用します。戦争時期 4 への移行で終了したら、勝利を判定するために以下のチャートを使用します。：

7,000t：決定的勝利

6,000t：実質的勝利

5,200t：史実（引き分け）

5,000t：限定的敗北

5,000t 未満：軍法会議

[31.42] 潜水艦戦闘序列 [Submarine Order of Battle]

1941 年 4 月に開始するマスター潜水艦増援リストを調べます。注釈：リスト上に撤退又は復帰としてあらわされる何隻かの潜水艦は、ゲーム中すでに失われているかもしれませんが、無視されることになります。

潜水艦基地ドイツ：	U-98、U-100 (Schepke +1)、U-110
潜水艦基地ノルウェー：	U-74、U-551
潜水艦基地フランスー大西洋	U-46、U-48、U-52、U-69、U-94、U-96 (Willenbrock +1)、U-101、U-103 (Schütze +1)、U-107、U-123、バルバリゴ [Barbarigo]、ダンドーロ [Dangolo]、モロシーニ [Morosini]、カッペリーニ [Capellini]、マラスピーナ [Malaspina]、マルコーニ [Marconi]、トレッリ [Torelli]、バラッカ [Baracca]、ダ・ヴィンチ [Da Vinci]、ビアンキ [Bianchi]、カルヴィ [Calvi]、タッツォーリ [Tazzoli] (Di Cossato +1)、パニョーリ [Bagnolini]、ジュリアーニ [Giuliani]、オタリア [Otaria]、グラウコ [Glauco]、ブリン [Brin]、1 Fw-200
大西洋整備 [Atlantic Refit]：	U-38 (Liebe +1)、U-43、U-65、U-93
西方近接海域 [Western Approaches]：	UA、U-37、U-47 (Prien +1)、U-70、U-95、U-97、U-99 (Kretschmer +1)、U-108、U-147、U-552 (Topp +1)、エモー [Emo]、モセニゴ [Mocenigo]、アルゴ [Argo]、ヴェレルラ [Velella]
南西方近接海域 [SWApproaches]：	U-73 (RTB)、ヴェニエロ [Veniero]、フィンジ [Finzi] (移送 外航)
モロッコ [Morocco]：	U-105、U-106、U-124 (全て移送 外航)
エル・フェロル [El Ferrol]：	補給艦マックス・アルブレヒト [Max Albrecht]
カディス [Cádiz]：	補給艦タリア [Thalia]
カナリア諸島 [Canary Islands]：	補給艦コリエンテス [Corrientes]

[31.5] キャンペーン 5：二度目の幸福な時代**[THE SECOND HAPPY TIME]**

アメリカが参戦すると同時に、ドイツ軍 U ボート部隊にいくつかの優位性がもたらされました。遂に有効な磁気信管が使用可能となり、調定深度の問題が最終的に解決され、新たな 4 回転子エニグマ機器はドイツ軍の動きを連合軍に目隠ししました。護送船団の欠如とアメリカ水域内における水際の煌々とした照明は、単にケーキの上にアイスを載せました。

[31.51] ゲームの長さ [Game Length]

このキャンペーン・ゲームは 1941 年 12 月に開始し、戦争時期 5 に移行するまで続きます。ゲームの終了時、プレイヤー諸氏は撃沈した連合軍のトン数と艦船数を合計します。

時期：1941 年 12 月第 2 週

戦争時期：4

撃沈艦船：1,106 隻

撃沈トン数：5,201t

損失潜水艦：62 隻

魚雷値：0

情報状態：B 機関 0、エニグマ 0

影響力：OKM-1、OKW 0、OKL-1、最高統治機関 0、栄誉 3

基地：ドイツ、ノルウェイ、フランス-大西洋、イタリア、ギリシャが開設。ナルヴィク [Narvik] に潜水母艦を配置。

連合軍の喪失：CV カレージウス [Courageous]、CV グローリアス [Glorious]、BB ロイヤル・オーク [Royal Oak]、AT チャンプレイン [Champlain]、CA ヨーク [York]、BC フッド [Hood]、CV イーグル [Eagle]、CV アーク・ロイヤル [Ark Royal]、BB バーラム [Barham]、BB プリンス・オブ・ウェールズ [Prince of Wales]、BB レパルス [Repulse]、CA エクセター [Exeter]、CV ハーミズ [Hermes] が沈没又は戦域外

[31.53] 勝利条件 [Victory Conditions]

もしもプレイヤーがこのキャンペーンを終戦まで継続したら、キャンペーン 1 の勝利条件を使用します。戦争時期 5 への移行で終了したら、勝利を判定するために以下のチャートを使用します。：

10,000t： 決定的勝利
9,000t： 実質的勝利
8,200t： 史実（引き分け）
8,000t： 限定的敗北
8,000t 未満：軍法会議

[31.52] 潜水艦戦闘序列 [Submarine Order of Battle]

潜水艦基地ドイツ：	U-86、U-128、U-130 (Kals +1)、U-551、U-566、U-581、U-584、U-653
潜水艦基地ノルウェイ：	U-132、U-134、U-454、U-576、U-578、U-654
潜水艦基地フランス-大西洋	U-66、U-69、U-71、U-73、U-74、U-77、U-82、U-83、U-84、U-85、U-93、U-103、U-107、U-108 (Scholtz +1)、U-109 (Bleichrodt +1)、U-123、U-125、U-133、U-202、U-203、U-373、U-374、U-432、U-451、U-502、U-552 (Topp +1)、U-558、U-561、U-567、U-569、U-571、U-572、U-573、U-577、U-751、バルバリーゴ [Barbarigo]、ダ・ヴィンチ [Da Vinci]、パニョーリ [Bagnolini]、ジュリアーニ [Giuliani]、アルキメデー [Archimede]、1 Fw-200
フランス-大西洋修理 1：[France-Atlantic Repair 1]：	U-96 (Willenbrock +1)
大西洋整備 [Atlantic Refit]：	U-94、U-98、U-106、U-201、U-553、U-563、U-564、U-752
潜水艦基地イタリア：	U-81、U-205、U-557、U-562
地中海整備 [Mediterranean Refit]：	U-97
潜水艦基地ギリシャ：	U-75、U-331、U-371、U-559
西方近接海域 [Western Approaches]：	U-131
南西方近接海域 [SWApproaches]：	U-402 (RTB)
海洋中央 [Mid-Ocen]：	U-431、モロシーニ [Morosini]
サルガッソー海 [Sargasso Sea]	カッペリーニ [Cappellini]
モロッコ [Morocco]：	U-43、U-67、U-105、U-127、U-332 (RTB 損傷状態)、U-574、U-575
西アフリカ [West Africa]	UA (RTB)、U-68 (RTB、Merten +1)、U-124 (RTB、Mohr +1)、U-126、U-129、トレリ [Torelli] (RTB)、フィンジ [Finzi] (RTB)、カルヴィ [Calvi] (RTB)、タッツォーリ [Tazzoli] (RTB、Di Cossato +1) (RTB ボートは、ドイツ軍仮装巡洋艦アトランティス [Atlantis] と補給艦ピュートン [Python] からの生存者を運んでいる)。
西地中海 [Western Med]	U-372、U-375、U-453、U-565、U-568
東地中海 [Eastern Med]	U-79、U-431
エル・フェロル [El Ferrol]：	補給艦マックス・アルブレヒト [Max Albrecht]
カディス [Cádiz]：	補給艦タリア [Thalia]
カナリア諸島 [Canary Islands]：	補給艦コリエンテス [Corrientes]

[31.6] キャンペーン 6 : 潮の変わり目**[THE TIDE TURNS]**

西大西洋で効果的な防御が確立され、ドイツ軍は増大している対潜技術と経験に直面し、最も有効な海域を探し続けました。

[31.61] ゲームの長さ [Game Length]

このキャンペーン・ゲームは 1942 年 7 月に開始し、1943 年 4 月の終了時まで続きます。ゲームの終了時、プレイヤー諸氏は撃沈した連合軍のトン数と艦船数を合計します。

時期：1942 年 7 月第 1 週

戦争時期：5

撃沈艦船：1,691 隻

撃沈トン数：8,181t

損失潜水艦：94 隻

魚雷値：+1

情報状態：B 機関 0、エニグマ +1

影響力：OKM 0、OKW 0、OKL-1、最高統治機関 0、栄誉 2

基地：ドイツ、ノルウェー、フランスー大西洋、イタリア、ギリシャが開設。ナルヴィク [Narvik] に潜水母艦を配置。

連合軍の喪失：CV カレージウス [Courageous]、CV グローリアス [Glorious]、BB ロイヤル・オーク [Royal Oak]、AT チャンブレイン [Champlain]、ヨーク [York]、BC フッド [Hood]、CV イーグル [Eagle]、CV アーク・ロイヤル [Ark Royal]、BB バーラム [Barham]、プリンス・オブ・ウェールズ [Prince of Wales]、BB レパルス [Repulse]、CA エクゼター [Exeter]、CV ハーミズ [Hermes] が沈没。

[31.62] 潜水艦戦闘序列 [Submarine Order of Battle]

潜水艦基地ドイツ：	U-43、U-210、U-217、U-254、U-355、U-379、U-454、U-510、U-597、U-598、U-600、U-601、U-607、U-609、U-658、U-704
ドイツ修理 1 [Germany Repair 1]：	U-592
大西洋整備 [Atlantic Refit]	U-103、U-105、U-123、U-124 (Mohr +1)、U-333、U-378、U-435、U-436、U-753
潜水艦基地ノルウェー：	U-209、U-251、U-403、U-405、U-586、U-589、U-591
ノルウェー修理 2 [Norway Repair 2]：	U-377
ナルヴィク [Narvik]	1 Bv-138
潜水艦基地フランスー大西洋	U-69、U-71、U-86、U-94、U-96、U-98、U-106、U-108、U-109 (Bleichrodt +1)、U-125、U-130 (Kals +1)、U-162、U-213、U-214、U-406、U-437、U-455、U-504、U-506、U-507、U-552、U-553、U-558、U-564、U-566、U-569、U-572、U-578、U-588、U-590、U-593、U-594、U-653、U-654、U-751、U-752、バルバリゴ [Barbarigo]、カップペリーニ [Cappellini]、ダ・ヴィンチ [Da Vinci] (Priaroggia +1)、パニョーリ [Bagnolini]、ジュリアーニ [Giuliani]、1 Fw-200
フランスー大西洋修理： [France-Atlantic Repair]：	トレリ [Torelli] (潜水艦損傷表でサイを振る。かすり傷の結果は軽傷になる)

潜水艦基地イタリア：	U-205、U-559、U-561、U-565
地中海整備 [Mediterranean Refit]：	U-73、U-81、U-331、U-431
潜水艦基地ギリシャ：	U-371
北海：	U-458 (移送 外航)
バレンツ海 [Barents Sea]：	U-88、U-255、U-334、U-376、U-456、U-457、U-657、U-703
西方近接海域 [Western Approaches]：	U-171 (移送 外航)、U-508 (移送 外航)、U-509 (移送 外航)
南西方近接海域 [SW Approaches]：	U-201 (移送 外航)、U-432 (RTB)、カルヴィ [Calvi] (移送 外航)
海洋中央 [Mid-Ocen]：	U-87 (RTB 損傷状態)、U-135 (RTB)、U-107 (RTB)、U-155 (RTB、Piening +1)、U-156 (RTB)、U-503 (RTB)、アルキメーデ [Archimede] (RTB)
サルガッソー海 [Sargasso Sea]	U-159 (RTB、Witte +1)、U-203 (移送 外航)、U-582
ケープ・ヴェルデ [Cape Verde]：	U-136
東地中海 [Eastern Med]	U-77、U-83、U-97、U-372、U-375、U-453、U-562
グリーンランド・ギャップ [Greenland Gap]：	U-90
グランド・バンクス [Grand Banks]：	U-571 (移送 外航)、U-576 (移送 外航)、U-754 (移送 外航)
マラタイムズ [Maritimes]：	U-132、U-215
米国東海岸 [US East Coast]：	U-84、U-89、U-202、U-404 (RTB 損傷状態)、U-584、U-701
バミューダ [Bermuda]：	U-66 (移送 外航)、U-134 (移送 外航)、U-173 (移送 外航)、U-332、U-373 (RTB)、U-402 (移送 外航)、モロシーニ [Morosini]
ギアナ内湾 [Guiana Basin]：	U-68 (RTB、Merten +1)、U-128、U-160 (Lassen +1)
カリブ海 [Caribbean]：	U-126、U-153、U-154、U-161、U-172 (Emmermann +1)、U-505、U-575、カルヴィ [Calvi]、タッツォーリ [Tazzoli] (Di Cossato +1)
メキシコ湾 [Gulf of Mexico]：	U-67、U-129、U-166
エル・フェロル [El Ferrol]：	補給艦マックス・アルブレヒト [Max Albrecht]
カディス [Cádiz]：	補給艦タリア [Thalia]

U タンカー	
潜水艦基地: ドイツ	U-463
モロッコ [Morocco]:	U-116
バミューダ [Bermuda]:	U-459
グランド・バンクス [Grand Banks]:	U-460
西方近接海域 [Western Approaches]:	U-461 (移送 外航)

[31.53] 勝利条件 [Victory Conditions]

キャンペーンは 1943 年 4 月の終了まで継続し、その時点でプレイヤーは撃沈トン数を合計します。:

- 15,000t: 決定的勝利
- 14,000t: 実質的勝利
- 13,200t: 史実 (引き分け)
- 13,000t: 限定的敗北
- 13,000t 未満: 軍法会議

[32.0] 小規模キャンペーン [SMALLER CAMPAIGNS]

下記の各キャンペーン・ゲーム並びに Compass Game website 上で使用可能な新たなそれは、それ自体の特別ルールを持ちます。これらは、フル・キャンペーンの規模なして潜水艦戦の良好な例を与えるためにデザインされました。

[32.1] 太鼓連打作戦 (*Paukenschlag*)

[OPERATION DRUMBEAT]

日本軍の真珠湾攻撃は、ドイツの不意を突きました。デーニッツは圧倒的な攻撃でアメリカ沿岸を叩くことを望みましたが、ヒトラーが地中海支援に U ボートを派遣し、そこでジブラルタル船団を攻撃することを要求したため葛藤を抱えました。アメリカへ向かった第一波の U ボートは、デーニッツが望んだ半数でした。

[32.11] フル・キャンペーンからの変更

[Changes from Full Campaign]

A. 作戦エリア [Operations Areas]: 潜水艦は、以下の作戦エリア内で索敵&接触を実施することに限定されます。:

- ・グランド・バンクス [Grand Banks]
- ・マラタイムズ [Maritimes]
- ・米国東海岸 [US East Coast]
- ・バミューダ [Bermuda]
- ・カリブ海 [Caribbean]
- ・ギアナ内湾 [Guiana Basin]:

これらの作戦エリアに付随している全ての特別任務ゾーンが使用可能です。移送索敵は、これらの作戦エリア内にプラスしてグリーンランド・ギャップでのみ実施できます。

上記の全作戦エリアは、グランド・バンクスとグリーンランド・ギャップを除き処女水域 [30.5] です。

B. 戦争イベント [War Events]: 戦争イベント表は、以下の例外を除き通常に使用されます。

- ・イン・プレイでない作戦エリアと SMZs に影響するイベントは、イベントなしとして扱います。
- ・「訓練部隊への移管」はイベントなしとして扱います。

C. B 機関エリア [B-Dienst Area]: B 機関エリアは通常に判定されますが、潜水艦は上記の外部作戦エリアへの対応はできません。

D. 戦争要素 [War Mix]: 戦争要素は、戦争要素表と [3.1] に従って判定されます。

ゲーム開始: 1941 年 12 月第 3 週

ゲーム終了: 最後の U ボートが失われるか又は基地へ帰還したとき

長さ: 不定

戦争時期: 4

魚雷値: 0

情報状態: B 機関 0、エニグマ 0

影響力: 使用しない

ミニ・キャンペーンの最初のターン、戦略セグメントは飛ばされます。

E. キャンペーンからの撤去 [Removed from Campaign]: 潜水艦が哨戒から基地へ帰還したとき、プレイから取り去られます。2 回目の哨戒を得る潜水艦はありません。この唯一の例外は、ビスケー湾を通過中に潜水艦が RTBs する場合です。もしも 2 月の第 2 週までに再び航行を獲得できたら、哨戒を実施できます。

[32.12] 潜水艦戦闘序列 [Submarine Order of Battle]

全ての潜水艦は、海上に出る準備ができています。:

潜水艦基地フランスー大西洋	U-125
---------------	-------

潜水艦増援リスト [Submarine Reinforcement List]

以下の表は、ミニ・キャンペーンに登場する潜水艦を列記します。このリストは、週単位で調べられます。全ての潜水艦は、潜水艦基地フランスー大西洋で海上に出る準備ができています。:

41 年 12 月	第 4 週:	U-66、U-84、U-86、U-87、U-109 (Bleichrodt +1)、U-123、U-130、U-135、U-203、U-333、U-552 (Topp +1)、U-701
42 年 1 月	第 1 週:	U-103、U-106、U-553、U-582、U-654、U-754 {B 機関レベルを +1 へ上げる}
	第 2 週:	U-82、U-85、U-107、U-128
	第 3 週:	U-67、U-98 (Gysae +1)、U-108、U-156、U-654、U-566、U-575、U-751
	第 4 週:	U-105、U-129、U-161、U-432、U-504、U-576
42 年 2 月	第 1 週:	U-69、U-96 (Willenbrock +1)、U-126、U-158、U-578、U-653、ダ・ヴィンチ [Da Vinci]、フィンジ [Finzi]、モロシーニ [Morosini]、タッツォーリ [Tazzoli] (Di Cossato +1)、トレッリ [Torelli] {エニグマ・レベルを +1 へ、魚雷値を +1 へ上げる}
	第 2 週:	U-154、U-155、U-558、U-656

[32.13] 勝利条件 [Victory Conditions]

勝利は、撃沈トン数に依存します。:

- 1,260t: 決定的勝利
- 1,060t: 実質的勝利
- 800t: 史実 (引き分け)
- 700t: 限定的敗北
- 700t 未満: 見返りは長期哨戒を正当化しない OKM の教訓。戦争は数ヶ月早く終了する。

これらの潜水艦は、史実で 149 隻、857,000 トンを撃沈しました。

もしも戦艦、空母、部隊輸送艦 (AT) を撃沈したら、1 レヴェル上昇させます。もしも西方水域 [Western Waters] 内で 4 隻以上の潜水艦が失われたら、1 レヴェル下降させます。

[32.2] 第 7 U ボート戦隊 [THE 7th U-BOAT FLOTILLA]

第 7 U ボート戦隊 [7.Unterseebootsflotille] は、1915 年に戦死する前に成功した経歴を持つドイツ帝国海軍潜水艦 U-27 艦長に因んで、ヴェーゲナー戦隊として開始しました。ドイツ軍のポーランド侵攻時、艦隊内で最も近代的なボートを装備していました。このキャンペーンは、単一戦隊で 1943 年までの戦役全体のプレイを認めます。

**[32.21] フル・キャンペーンからの変更
[Changes from Full Campaign]**

- A. 基地 [Bases]:** 第 7 戦隊はキールを基地とし、1940 年 9 月にサン・ナゼールへ移りました。そのときになるまで、U ボートは損傷してもドイツのみを RTB する基地にできます。1940 年 9 月から開始して、U ボートは損傷するか又は整備のために撤退していてもフランス-大西洋のみを RTB する基地にできます。
- B. 戦争イベント [War Events]:** 戦争イベント表は、以下を除き通常に使用されます。:

- ・北極海戦役と地中海戦役は、イベントなしとして扱われます。
- ・天候報告は、イベントなしとして扱われます。
- ・他のイベントについて要求される潜水艦の数は、3 で割って端数は最低 1 まで切り上げます。
- ・「訓練部隊への移管」は、「航空支援許可」へ変更されます。プレイヤーは、1 航空機 (1939~40 年は Do-18、1941~43 年は FW-200) をいずれかのドイツ軍基地から航空航続範囲内にある、自身が選択する作戦エリア内に置くことができます。現行ターンの終了時に取り去られます。
- ・WP5 に、地中海における機雷敷設のイベントは、「U タンカーの支援許可」へ変更されます。プレイヤーは、1 隻の U タンカーを自身が選択する作戦エリア内に置くことができます。タイプはサイ振りによって判定します。: 0~5 : XB 型、6~9 : XIV 型。U タンカーは、失われるか又は RTB を強制されたときに永久に取り去られます。

- C. 戦争要素 [War Mix]:** 戦争要素は、戦争要素表と [3.1] に従って判定されます。

ゲーム開始: 1939 年 9 月第 1 週
 ゲーム終了: 1943 年 4 月第 4 週
 長さ: 176 ターン
 撃沈艦船: 0 隻
 撃沈トン数: 0 t
 損失潜水艦: 0 隻
 魚雷値: -1
 情報状態: B 機関 + 2、エニグマ + 2
 影響力: 使用しない
 基地: ドイツ
 特別: キャンペーンの最初のターンは、戦略セグメントが飛ばされます。戦争イベント、魚雷改良、B 機関エリアについてのチェックはありません。

- D: 集合リスク [22.1] [Congregating Risk]:** 各作戦エリアは、その戦争時期についての AAC 上のレッド・ボックス毎に、すでに 2 隻の友軍潜水艦を持つものと仮定されます。

[32.22] 潜水艦戦闘序列 [Submarine Order of Battle]

西方近接海域 [Western Approaches]:	U-45、U-53 (移送面を上、外航)
南西近接海域 [SWApproaches]:	U-46、U-47 (Prien +1)、U-48 (Schultze +1)、U-52
エル・フェロル [El Ferrol]:	補給艦マックス・アルブレヒト [Max Albrecht]
カナリア諸島 [Canary Islands]:	補給艦コリエンテス [Corrientes]

潜水艦増援リスト [Submarine Reinforcement List]

下記のリストは、このキャンペーンのために使用されます。潜水艦は、その歴史的な訓練部隊又は他の戦闘戦隊への移管に従って列記されます。もしも指定されたタイプの使用可能なボートがなければ、代わりに他のボートを取り去る必要はありません。

1939 年 10 月

- ・(潜水艦カップからポーランド軍潜水艦 オジェウ [Orzel] とヴィルク [Wilk] を取り去る)
- ・撤退: U-52

1939 年 11 月

- ・ドイツ: U-49

1939 年 12 月

- ・撤退: U-49

1940 年 1 月

- ・(高速船カップへ AT エンプレス・オブ・ブリテン [Empress of Britain] と潜水艦カップへポーランド軍潜水艦 オジェウ [Orzel] とヴィルク [Wilk] を加える)
- ・ドイツ: U-51 (未熟)、U-55 (未熟)

1940年2月

- ・(中央カップへSL ブラック・スワン *[Black Swan]* を加える)
- ・ドイツ：U-50 (未熟)、U-54 (未熟)

1940年3月

- ・復帰：U-52 をドイツへ

1940年4月

- ・復帰：U-49 をドイツへ

1940年5月

- ・{エニグマ・レヴェルを+1へ}
- ・ドイツ：UA、U-101

1940年6月

- ・{[17.1] に従って戦争時期2への変更についてチェックする}
- ・ドイツ：U-99 (Kretschmer +1)、U-102
- ・撤退：U-54

1940年7月

- ・撤退：U-55

1940年8月

- ・(TF カップへCV イラストリアス *[Illustrious]* と潜水艦カップへオランダ軍潜水艦O-23を加える)
- ・{B 機関レヴェルを+1へ下げる}
- ・ドイツ：U-100 (Schepke +1)

1940年9月

- ・{戦隊をフランスー大西洋へ移管}
- ・(潜水艦カップへ自由フランス軍潜水艦サフィール *[Saphir]*、ミネルヴ *[Minerve]*、ルカン *[Requin]*、シュルクーフ *[Surcouf]* を加える)
- ・撤退：UA
- ・復帰：U-54 をドイツへ

1940年10月

- ・ドイツ：U-93
- ・復帰：U-55 をドイツへ

1940年11月

- ・(高速船カップへAT シシア *[Scythia]* を加える)
- ・{魚雷値を0へ上げる}
- ・ドイツ：U-94、U-95
- ・撤退：U-46、U-48、U-51、U-53

1940年12月

- ・ドイツ：U-96 (Willenbrock +1)
- ・撤退：U-45、U-47、U-50、U-101

1941年1月

- ・(TF カップへBB キング・ジョージV世 *[King George V]* と潜水艦カップへ潜水艦アップホルダー *[Upholder]* を加える。)
- ・{1 Fw-200 がフランス又はドイツで使用可能}
- ・撤退：U-99、U-100、U-102
- ・復帰：U-101 をフランスー大西洋へ

1941年2月

- ・ドイツ：U-69、U-73、U-97
- ・復帰：U-46、U-48 をドイツへ、UA、U-47、U-51、U-99 をフランスー大西洋へ

1941年3月

- ・{[17.1] に従って戦争時期3への変更についてチェックする}
- ・{エニグマ・レヴェルを0へ下げる}
- ・ドイツ：U-70、U-74、U-76、U-98、U-551、U-552 (Topp +1)
- ・撤退：U-93
- ・復帰：U-53、U-100、U-102 をドイツへ、U-45、U-50 をフランスー大西洋へ

1941年4月

- ・ドイツ：U-75、U-553

1941年5月

- ・復帰：U-93 をフランスー大西洋へ

1941年6月

- ・([17.4] に従い、バルバロッサが起きるときを判定してユニットを加える)
- ・{B 機関レヴェルを0へ、エニグマ・レヴェルを-1へ下げる}
- ・ドイツ：U-71、U-77、U-751
- ・1隻のVIII型を訓練へ移管する

1941年7月

- ・(潜水艦カップへ潜水艦トラスティ *[Trusty]* を加える)
- ・1隻のVIII型を訓練へ移管する

1941年8月

- ・(外縁カップへCVE オーダシティ *[Audacity]* とTF カップへML アブディール *[Abdiel]* を加える)
- ・ノルウェイ：U-207、U-567

1941年9月

- ・ドイツ：U-575
- ・1隻のVIII型を訓練へ移管する

1941年10月

- ・{エニグマ・レヴェルを0へ上げる}
- ・ノルウェイ：U-576
- ・撤退：U-95
- ・1隻のVIII型を訓練へ、1隻のVIII型を第23戦隊へ移管する

1941年11月

- ・ドイツ：U-133、U-453、U-577
- ・ノルウェイ：U-434、U-578
- ・撤退：U-94
- ・復帰：U-95 をフランスー大西洋へ
- ・1隻のVIII型を第23戦隊へ移管する

1941年12月

- ・{[17.1] に従って戦争時期4への変更についてチェックする}
- ・ドイツ：U-454、U-581
- ・撤退：U-98
- ・1隻のVIII型を第29戦隊へ移管する

1942年1月

- ・(潜水艦カップへポーランド軍ヤーストクジャンプ *[Jastrzab]* を加える)
- ・{B機関レヴェルを+1へ上げる}
- ・ドイツ：U-135、U-455
- ・撤退：UA (改装)、U-75、U-76、U-77
- ・復帰：U-94 をドイツへ、U-98 をフランスー大西洋へ
- ・1隻のVII B型と2隻のVII C型を第29戦隊へ、2隻のVII C型を第23戦隊へ移管する

1942年2月

- ・{エニグマ・マーカーを4回転子へ裏返して+1へ上げる。魚雷レヴェルを+1へ上げる}
- ・ドイツ：U-436

1942年3月

- ・ドイツ：U-403、U-593、U-594
- ・復帰 UA (Uタンカーとして) フランスー大西洋へ
- ・1隻のVII B型を訓練へ移管する

1942年4月

- ・ドイツ：U-406、U-702
- ・撤退：U-133
- ・復帰：U-75、U-76、U-77 をドイツへ

1942年5月

- ・ノルウェイ：U-88
- ・撤退：U-434、U-454

1942年6月

- ・([17.1] に従って戦争時期5への変更についてチェックする)
- ・{B機関レヴェルを0へ下げる}
- ・撤退：U-436
- ・復帰：U-133 をドイツへ

1942年7月

- ・(TFカップへCV インドミダブル *[Indomitable]* を加える)
- ・ドイツ：U-607、U-704
- ・復帰：U-454 をドイツへ
- ・2隻のVII C型を第11戦隊へ移管する

1942年8月

- ・(US TFカップへBB マサチューセッツ *[Massachusetts]* を加える)
- ・撤退：U-71、U-577
- ・復帰：U-434 をノルウェイへ
- ・UA を訓練へ移管

1942年9月

- ・(中央カップへRF リヴァー *[River]* 級を加える)
- ・ドイツ：U-221、U-382、U-410、U-617、U-618

1942年10月

- ・ドイツ：U-224、U-381、U-442、U-602、U-624、U-662
- ・撤退：U-96、U-403、U-406、U-553、U-594、U-702
- ・復帰：U-71 をフランスー大西洋へ、U-436 をドイツへ

1942年11月

- ・{エニグマ・レヴェルを0へ下げる}
- ・撤退：U-69、U-70、U-382、U-607
- ・復帰：U-577 をドイツへ
- ・1隻のVII C型を第29戦隊へ

1942年12月

- ・(内縁カップへハリファックス3 *[Halifax 3]* を加える)
- ・撤退：U-88、U-551、U-552
- ・復帰：U-406、U-553 をフランスー大西洋へ
- ・1隻のVII C型を第3戦隊へ、1隻のVII C型を第29戦隊へ移管する

1943年1月

- ・{FW-200 をプレイから取り去る}
- ・ドイツ：U-221、U-265、U-266、U-267、U-303、U-358、U-707
- ・復帰：U-69、U-70、U-96、U-594、U-607 をフランスー大西洋へ、U-403 をノルウェイへ
- ・1隻のVII C型を第29戦隊へ移管する

1943年2月

- ・(西方内縁カップへACV ボーグ *[Bogue]* を加える)
- ・{B機関レヴェルを+1へ上げる}
- ・ドイツ：U-359
- ・ノルウェイ：U-448
- ・撤退：U-455
- ・復帰：U-88、U-382 をフランスー大西洋へ

1943年3月

- ・ドイツ：U-338、U-641
- ・撤退：U-135、U-453、U-575、U-576
- ・復帰：U-702 をノルウェイへ、U-221 をフランスー大西洋へ

1943年4月

- ・(外縁カップ内の精鋭 *[Diligent]* SL 又は CT を精鋭ブラック・スワン *[Black Swan]*/SL と置き換え、精鋭 SL 又は CT を独航船カップへ移す)
- ・ドイツ：U-710
- ・ノルウェイ：U-650
- ・復帰：U-455、U-551、U-552 をフランスー大西洋へ
- ・2隻のVII C型を訓練へ、1隻のVII C型を第29戦隊へ移管する

[32.23] 勝利条件 [Victory Conditions]

勝利は、撃沈トン数が基準です。:

- 4,000t： 決定的勝利
- 3,600t： 実質的勝利
- 3,000t： 史実 (引き分け)
- 2,500t： 限定的敗北
- 2,500t 未満：あなたは参謀の地位に更迭される。

[32.3] ノイラント [NEULAND]

デーニッツは、カリブ海と南米北沿岸の処女水域を同時に叩くことを計画しました。最終目的は、南米から北米への石油とボーキサイトボーキサイトの海輸を混乱させることでした。作戦の切迫を連合軍に警告することを避けるため、ボートは燃料節約速度でゆっくり進み、いったん目的地に近づいたら通信を止めました。2月16日になるまで攻撃は行われませんでした。作戦はU-156によるアルバのセント・ニコラス・ハーバー内への襲撃と、U-161によるトリニダードのスペイン港湾入口への襲撃によって幕を開けました。

**[32.31] フル・キャンペーンからの変更
[Changes from Full Campaign]**

A. 作戦エリア [Operations Areas] : 潜水艦は、以下の作戦エリア内で索敵&接触を実施することに限定されます。:

- ・カリブ海 [Caribbean]
- ・ギアナ内湾 [Guiana Basin] :

これらの作戦エリアに付随している全ての特別任務ゾーンが使用可能です。移送索敵は、行うことができません。

上記の全作戦エリアは、処女水域 [30.5] です。

B. 戦争イベント [War Events] : 戦争イベント表は、以下を除きイベントなしです。:

- ・パナマ運河 [Panama Canal]
- ・沿岸砲撃

C. B機関エリア [B-Dienst Area] : B機関エリアは通常に判定されますが、潜水艦は上記の外部作戦エリアへの対応はできません。

D. 戦争要素 [War Mix] : 戦争要素は、戦争要素表と [3.1] に従って判定されます。

ゲーム開始 : 1942年2月第3週

ゲーム終了 : 最後のUボートがRTBしているか又はイン・ブレイの作戦エリア外にあるとき

長さ : 不定

戦争時期 : 4

魚雷値 : +1

情報状態 : B機関+1、エニグマ+1

影響力 : 使用しない

ミニ・キャンペーンの最初のターン :

- ・戦略セグメントは飛ばされる。
- ・耐久度チェック [14.7] は飛ばされる。
- ・小アンティル諸島 [Lesser Antilles] SMZ 内で開始するUボートによって目標となったいかなる艦船も、「港内」 [14.18] と見なされる。これら2隻のボートは、狼群の一部にならない。

E. キャンペーンからの撤去 [Removal from Campaign] : ある潜水艦がRTB結果を受けるとき、続くターンにフランスー大西洋へ向かって進まなければなりません。いかなる移送イベントからも、以下の解決はブレイから取り去られます。

[32.32] 潜水艦戦闘序列 [Submarine Order of Battle]

全ての潜水艦は、哨戒面を上に向けます。

ギアナ内湾 [Guiana Basin] :	ダ・ヴィンチ [Da Vinci]、フィンジ [Finzi]、モロシーニ [Morosini]、タッツォーリ [Tazzoli] (Di Cossato +1)、トレッリ [Torelli]
小アンティル諸島 SMZ [Lesser Antilles SMZ]	U-156、U-161
カリブ海 [Caribbean] :	U-67、U-129、U-502

[32.33] 勝利条件 [Victory Conditions]

勝利は、撃沈トン数が基準です。:

- 380t : 決定的勝利
- 300t : 実質的勝利
- 200t : 史実 (引き分け)
- 160t : 限定的敗北
- 160t 未満 : 帰還は長期哨戒を正当化しない OKM ルール。

これらの潜水艦は、史実では39隻212,000トンを撃沈しました。

もしも戦艦、空母、部隊輸送艦 (AT) を撃沈したら、1レベル上昇させます。もしも3隻以上の潜水艦が失われたら、1レベル下降させます。

[32.4] BETASOM

イタリアが参戦すると、直ちにイタリア軍潜水艦が大西洋に送られました。MARICOSOM (イタリア軍潜水艦司令部) と BdU 間の連絡障害は、その同盟国の潜水艦哨戒エリアが分からず、いかなる種類の連携努力も妨げる結果となりました。このような状況では、イタリア軍潜水艦は U ボートのエリアを哨戒しているのかどうか分からず、同士討ちの危険がありました。当初、ドイツ軍潜水艦はリスボンの北を、イタリア軍は南を哨戒することに決められました。

思いがけぬフランスの崩壊で、イタリア軍潜水艦は BdU の作戦指揮下に、ボルドーに基地を設けることが速やかに決定されました。この部隊は、アンジェロ・パローナ提督指揮下の BETASOM (第2潜水艦司令部) に指定されました。この戦役では、あなたは大西洋に基地を置くイタリア軍潜水艦のみを使用してプレイします。

[32.41] フル・キャンペーンからの変更

[Changes from Full Campaign] :

- ・魚雷改良フェイズはありません。

ゲーム開始 : 1940 年 9 月第 1 週

ゲーム終了 : 1943 年 4 月第 4 週の終了時

長さ : 128 週間

戦争時期 : 2

魚雷値 : 0 (1942 年 2 月に +1 へ上がる)

情報状態 : B 機関 +1、エンigma +1

影響力 : 使用しない

[32.42] 特別ルール [Special Rules] :

- A. 戦争イベント表は通常に使用されますが、大部分のイベントは U ボートのみに相応しいものです。「アトミラル・シェーアの出撃」のようなイベントは、イタリア軍の索敵に影響を与えます。
- B. 集団リスク [22.1] の目的においては、各作戦エリアは、その戦争時期についての AAC 上のレッド・ボックス毎に、すでに 2 隻の友軍潜水艦を持つものと仮定されます。
- C. 1941 年 4 月、もしもイン・プレイにエース艦長がいなければ、Di Cossato 又は Priaroggia のどちらかを望むいずれかの潜水艦に割当てることができます (史実では、両者がタッツオーリ [Tassli] を指揮しました)。

[32.43] 潜水艦戦闘序列 [Submarine Order of Battle]

全ての潜水艦は、[31.01] に従って置かれます。

潜水艦基地フランスー大西洋	マラスピーナ [Malaspina]、 バルバリゴ [Barbarigo]、 ダンドーロ [Dandolo]
---------------	--

[32.44] 増援 [Reinforcements]

マスター潜水艦増援リストが使用されますが、イタリア軍潜水艦のみが受け取られて撤退します。

[32.45] 勝利条件 [Victory Conditions]

勝利は、撃沈トン数が基準です。:

1,000t :	決定的勝利
800t :	実質的勝利
650t :	限定的勝利
550t :	引き分け
500t 未満 :	敗北

BdU 作戦指揮下のイタリア軍潜水艦は、106 隻 564,470 トンを撃沈しました。16 隻の潜水艦が失われました。

もしも BB、BC、CV を撃沈したら、1 レヴェル上昇させます。
もしも 20 隻以上の潜水艦が失われたら、1 レヴェル下降させます。

もしもイギリス政府を打倒するために十分なトン数 [31.04] を撃沈したら、プレイヤーは勝利します。

[32.5] 報復 [VENGEANCE]

イギリス軍のメール・エル・ケビール攻撃は、フランスの防衛で同盟国によって見捨てられたことを裏切りと感じた多くのフランス人を激高させました。宣戦布告の要求がありましたが、慌しく打ち倒された共和国のペタン政府は、ヴィシー港湾内におけるイギリス船舶の鹵獲、ジブラルタルに対する数回の空襲に、関係の破棄を限定しました。このオプションは、共産主義の侵略に対してナチ・ドイツと同盟することを望むラヴァルと反動主義者の圧力にヴィシー政権が屈した場合を探索します。アメリカの圧力が 1940 年終了時に戦火が止む結果となるまで、フランスは枢軸国の限定的な盟邦となります。

[32.51] フル・キャンペーンからの変更

[Changes from Full Campaign] :

- ・魚雷改良フェイズはありません。
- ・情報フェイズはありません。

ゲーム開始 : 1940 年 7 月第 3 週

ゲーム終了 : 1940 年 12 月第 4 週の終了時

長さ : 22 週間

戦争時期 : 2

魚雷値 : -1

情報状態 : 使用しない

影響力 : 使用しない

[32.52] 作戦エリアの調整 [OpArea Adjustments] :

- A. フランス軍潜水艦は、ドイツ軍が戦争時期 2 で作戦できるいずれかの作戦エリアと同様に、ギアナ内湾 [Guiana Basin]、バミューダ [Bermuda]、カリブ海で作戦できます。
- B. ケープ・ヴェルデ [Cape Verde] と西アフリカ [West Africa] は、潜水艦のアイコンを持つと見なされ (イギリス軍はヴィシーの脅威に直面し、その範囲の拡大を強いられました)、それ故潜水艦対潜水艦接触についての資格を持ちます。
- C. 東又は西地中海内に位置するいかなる護送船団も、続くサイの目 0~1 でイギリス軍特別護送船団、続くサイの目 2 で任務部隊です。
- D. 移送移動フェイズの開始時にカリブ海又はギアナ内湾作戦エリア内の非損傷状態の RTB 潜水艦は、カリブ海のフランス領地か

ら燃料再補給と物資供給を試みるすることができます。備忘のため、小アンティル諸島内にフランス商船を置きます。プレイヤーは、潜水艦について修正なしで耐久度チェックを行います。もしも潜水艦がパスしたら、適切な作戦エリアの「行動済 [“Done”]」セクション内置かれた潜水艦から RTB マーカーが取り去られます。もしもこの試みが失敗したら、潜水艦は基地へ通常の RTB 移動を実施しなければなりません。ヴィシー・プレイヤーは週毎に一度のみこのような試みを行うことができます。フランス軍潜水艦は、スペイン港湾 [21.31] 内で再補給を試みるできません。

[32.53] 特別ルール [Special Rules]

A. フランス大都市の大部分がドイツ軍の手中にあり、フランス軍潜水艦隊は絶望的に補給、燃料、修理資源、スペアパーツ、特に遠隔基地が不足しています。これは、以下の影響を持ちます：

・ツーロン [Toulon] 以外の潜水艦の整備値は、1 ずつ減少します。

・600 又は 630 トン潜水艦ルカン [Requin] が哨戒から帰還するときにはいつでも、損傷表上でサイを振り、もしも潜水艦が実際に損傷状態であると 2 を加えます。もしも結果が「重損傷」であると、プレイから取り去りますがその潜水艦を喪失としてカウントしません（部分的に除籍し、局地防衛のために保持されます）。その他の結果では、潜水艦はもしも実際に損傷状態マーカーを持って港湾に進入した場合にのみ、イン・プレイに留まります。

B. 狼群 [Wolfpacks]: フランス軍潜水艦は、狼群を形成できません。

C. 機雷敷設 [Minelaying]: サフィール [Saphir] 級潜水艦は、戦力 2 の機雷原を敷設できます。他の全ては、戦力 1 の機雷原のみを敷設できます。機雷不足のため、同時に 1 隻の潜水艦のみが機雷マーカーを運ぶことができます。機雷敷設イベントは、一時的にこの限度を上昇させます。

D. 潜水艦対潜水艦戦闘 [Sub vs Sub Combat]: 枢軸国とヴィシーの海軍部隊間には、連携又は通信すら一切ありません。もしも枢軸軍潜水艦がフランス軍潜水艦を攻撃できると、それを行います。もしもフランス軍潜水艦が枢軸軍潜水艦を攻撃できると、それを行わなければなりません、撃沈したそれは撃沈した艦船数又はトン数に対してカウントしません。イギリス、オランダ、アメリカ軍の潜水艦のみが西方水域 [Western Waters] 内で遭遇できます。

[32.54] ヴィシーの戦争イベント [Vichy War Events]

下記の戦争イベント表を使用します。

サイの目	イベント
0～1	イギリス軍のダカール攻撃 [British attack Dakar] ダカール [Dakar] で非損傷状態の全潜水艦は、ダカール SMZ 内に哨戒面で置かれなければならない。この週についてのみ、ケープ・ヴェルデ [Cape Verde] 作戦エリア又はダカール SMZ 内のいかなる接触遭遇も、続くサイの目 0～7 で変わりにイギリス軍任務部隊になる。戦争進捗フェイズにサイを 1 つ振る。0～3 の結果で、その基地は占領下と指定される。港湾内のいかなる損傷状態の潜水艦も自沈するが、喪失としてカウントしない。一度のみのイベント。
2～3	モンロー主義 [Monroe Doctrine] ルーズベルト大統領がグアドループとマルティニク諸島の占領を命じる。小アンティル諸島 [Lesser Antilles] SMZ 内で遭遇したいいかなる護送船団も、アメリカ軍任務部隊である (WP3 を使用する)。この SMZ 内のいかなる潜水艦遭遇もアメリカ軍 S1 である。アメリカ軍艦船の撃沈は、勝利条件に対してカウントしない。戦争進捗フェイズに、この SMZ からフランス商船を取り去る。潜水艦は、もはや小アンティル諸島内で再補給できない。一度のみのイベント。
4～5	通商破壊 [Raid de Commerce] フランス軍巡洋艦がイギリスの通商破壊に出撃する。南西方近接海域 [Southwest Approaches]、モロッコ [Morocco]、ケープ・ヴェルデ [Cape Verde]、西アフリカ [West Africa] 作戦エリア内の全ての索敵&接触のサイ振りにー1修正を適用する。これらのエリア内のいかなる護送船団の遭遇も、続く 0～5 のサイの目で任務部隊である。
6～7	フランス領赤道アフリカ [French Equatorial Africa] 自由フランス軍とイギリス軍部隊がアフリカのヴィシー確保植民地の奪取を試みる。アンゴラ内湾 [Angola Basin] 内のいかなる遭遇も。続く 0～6 のサイの目でイギリス軍任務部隊である。一度のみのイベント。
8～9	ダルラン提督が機雷敷設を指令 [Admiral Darlan directs minelaying] 1 隻のサフィール [Saphir] 級潜水艦は、以下の SMZ 内に機雷を敷設しなければならない (サイ振りによって判定する)： <ul style="list-style-type: none"> 0～1 アイルランド [Ireland] 2～4 エジプト [Egypt] (レヴァント [Levant] SMZ を使用する) 5～6 ジブラルタル [Gibraltar] 7～8 フリータウン [Freetown] 9 ケープタウン [Cape Town] もしも「2」機雷マーカーを敷設するために直ちに使用可能なサフィール級がなければ、その他の潜水艦が対応しなければならない。

[32.55] 戦争要素 [War Mix]

戦争要素は、戦争要素表と [3.1] に従って判定されますが、以下の例外があります：

- ・要素内にフランス商船又は自由フランス軍護衛艦は置かれません。
- ・潜水艦カップ内に、無作為に引かれたドイツ軍の VII B 型と IX A 型にプラスして、イタリア軍マルチェッロ [Marcello] 級が置

かれます。

- ・自由フランス軍潜水艦は、潜水艦カップ内に置かれませんが（イギリス軍は彼らを信用しません）。

[32.56] 潜水艦戦闘序列 [Submarine Order of Battle]

全ての潜水艦は、[31.01] に従って適切な基地ディスプレイ上に置かれます。

潜水艦基地トゥーロン[Toulon] :	スーフルール [Soffleur]、カイマン [Caiman]、ルカン [Requin]、マルスーアン [Marsouin]、サフィール [Saphir]、テュルコワーズ [Turquoise]、ノーティルス [Nautilus]、ディアマン [Diamant]、ペルル [Perle]、パスカル [Pascal]、ルドウータブル [Redoutable]、ル・トナン [Le Tonnant]、ヴァンジュール [Vengeur]、フレネル [Fresnel]、ポアンカレ [Poincaré]、シディ・フェリュック [Sdi Ferruch]、コンケラン [Conquérant]、アーゴ [Argo]、ル・セントール [Le Centaure]、モング [Monge]、パラス [Pallas]、ヴェニス [Vénus]、スレス [Cérés]、イリス [Iris]、シレン [Siréne]、アーゴノート [Argonaute]、アレティース [Aréthuse]、アトロント [Atalante]、ディヤヌ [Diane]、ラ・プシケ [La Psyché]、オレアド [Oréade]
潜水艦基地ベイルート [Beirut]	アシェロン [Achéron]、アクテオン [Actéon]、エスパドン [Espadon]、フォック [Phoque]、ドーファン [Dauphin]
潜水艦基地カサブランカ [Casablanca]	アルシメード [Archimède]、ベヴジェ [Bévéziers]、カサビアンカ [Casabianca]、スファックス [Sfax]、ペルセ [Persée]、ポンスレ [Poncelet]、アジャックス [Ajax]、ラ・シビーユ [La Sybille]、アンティオーブ [Antiopé]、アマゾン [Amazone]、オーフィ [Orphée]、メデューサ [Méduse]、アンフィトライト [Amphitrite]
潜水艦基地ダカール[Dakar]	ル・グロリュウ [Le Glorieux]、ル・エロ [Le Héros]
トゥーロン[Toulon] 又はカサブランカ [Casablanca]	プレイヤーの選択で、Bizerte 航空機をトゥーロン又はカサブランカで使用可能。[7.56] を参照。

[32.57] 増援 [Reinforcements]

注記されない限り、全てトゥーロン [Toulon] の港内ボックス内に置かれます。:

年	月	追加
1940	8月	ラ・スュルトン [La Sultane]、ラ・ヴェスタル [La Vestal]、ナヤド [Naiade]
	9月	レスボアル [L'Espoir] 潜水艦基地ディエゴ・スアレス [Diégo Suárez] : ペガス [Pégase]
	10月	ローロール [L'Aurore]

オプションとして、シュルクーフ [Surcouf] は、休戦後にプリマスの代わりに元々意図していた港湾にすることができたと仮定し、11月にカサブランカで受け取ることができます。

史実では、フランス軍はその艦長たちがエースに到達することを認める潜水艦戦が認められませんでした。この仮装キャンペーンでは、脅威作戦 [Operation Menace] 中にベヴジェ [Bévéziers] を指揮していた *Capitaine de Corvette Pierre Jean Georges Marie Lancelot* のカウンターを用意しました。彼はイギリス軍のスクリーンを突破して中央の戦艦 *HMS レゾリュション [Resolution]* を雷

撃することができました。もしも追加のエース艦長が必要であれば、他のカウンターを使用してください。

[32.58] 勝利条件 [Victory Conditions]

勝利は、撃沈トン数が基準です。:

1,200t :	決定的勝利
1,000t :	実質的勝利
750t :	引き分け
650t :	限定的敗北

もしも BB、BC、CV を撃沈したら、1 レヴェル上昇させます。もしも 8 隻以上の潜水艦が失われたら、1 レヴェル下降させます。

もしもイギリス政府を打倒するために十分なトン数 [31.04] を撃沈したら、プレイヤーは勝利します。

[33.0] 哨戒ゲーム [THE PATROL GAMES]

哨戒ゲームは、プレイヤーが単一の潜水艦で史実における哨戒で実際の最良結果に挑戦することを認めるゲームです。哨戒ゲームはキャンペーン・ゲームと同じシステムを使用しますが、基地からの出港と帰還までの一度のみの哨戒を含みます。短時間に高速度で激しい哨戒ゲームは、大西洋の潜水艦戦に個人的な視野をもたらします。

エース艦長は、哨戒ゲームについては使用されません。艦長はあなたであり、あなたが有名な艦長の哨戒を試みているのです。戦争イヴェントは哨戒ゲームには使用されず、戦争時期又は G7 魚雷値の変更はありません。

航空機は哨戒ゲームでは使用不能で、政策ルールは使用できません。

哨戒ゲームの勝利 [Patrol Game Victory]

哨戒ゲームには3つの「勝利」統計があり、撃沈艦船数、撃沈トン数、哨戒の長さです。撃沈した艦船数か又はトン数のどちらかが勝れば、あなたは自身を優秀な艦長と見なすことができます。撃沈した艦船数とトン数の両方が勝利、しかも短期間で行うと、あなたは偉大な艦長です。ボートの喪失は、結果から1レベル差引きます。あなたは、史実の哨戒終了までに基地へ帰還する必要はありません。

[33.1] フリッツ=ユリウス・レムプ：U-30 の最初の哨戒 [FRITZ-JULIUS LEMP: U-30's 1st Patrol]

フリッツ=ユリウス・レムプは、最も物議をかもした U ボート指揮官の一人です。宣戦布告前にヴィルヘルムスハーフェンを出港し、OKM が2つの通信「速やかに英国との敵対行動に入れ」と「U ボートは作戦命令に従って船舶輸送への戦争を行うべし」を発したときは西方近接海域内に配置していました。二時間も経つ前に、U-30 は東の水平線上に艦船を発見し、迎撃のために移動して潜航しました。二時間後の薄暮時、レムプは大型船が消灯してジグザグ航行し、甲板砲を備えていることを確認しました。レムプは仮装巡洋艦と判断して攻撃しましたが、1本の魚雷が誤って弧を描いたため急速潜航しなければならませんでした。彼は爆発音を聴いてじりじり接近し、目標が停止しているものの沈没していないことを発見しました。彼は再度攻撃しましたが的を外しました。なおも接近すると、目標が客船アセニアで、カナダへ婦女子を運んでいることが分かりました。結局、船は沈没し、28名のアメリカ人を含む118人が失われました。

この撃沈は、イギリスに戦争初日のプロバガンダを提供し、20年前のルンタニアの沈没を呼び起こしました。レムプが無線封鎖をしているため、BdU と OKM はイギリスの非難についての真実性が不確かでした。レムプはこの海域を掃討し、一週間後に2隻のイギリス輸送船を魚雷と砲で撃沈しました。2隻目を沈めた後、U-30 はアーク・ロイヤルから飛行してきた2機のブラックバーン・スキューアから攻撃を受けました。その対潜爆弾は海面で跳ね、両航空機の尾部を吹き飛ばして射手を殺しました。3機目のスキューアが U-30 を攻撃したとき、混乱したレムプは両操縦士を拾い上げて潜航しました。

帰還してからの審問で、レムプはレーダー提督とデーニッツに自身の行動が信頼性のあるもので、アセニア船上に砲を見たと言って

いることを納得させました。U-30 の日誌は改竄され、その乗組員には秘密厳守が命じられました。ドイツは発表の中で、イギリスは中立国、特に合衆国の同情を誘うため、アセニアを故意に沈めたと宣言しました。それでも疑惑を受けた二回目の哨戒で、レムプは戦艦バーラムを雷撃して3ヶ月間戦線離脱させることで、名誉を挽回しました。

U-30 は1940年11月に訓練部隊へ移管され、1945年までその任務に従事しました。

レムプは IXB 型 U-110 の指揮を執り、1941年4月に OB-318 船団を攻撃して2隻を沈めました。彼は2隻の駆逐艦と1隻のコルヴェット艦に反撃され、浮上して艦の放棄を強いられました。混乱の中で、自沈用の爆薬がセットされなかったか又は機能せず、エニグマ装置は艦外へ投棄されませんでした。イギリス軍は U-110 の生存者を受け入れるために回航員を送り、レムプはボートに泳いで戻りましたが回航員によって射殺されました。イギリス軍は U-110 を捕獲し、値千金の物を獲得しましたが、ボートはアイスランドへの逆流で水没しました。

潜水艦：	VIA 型 U-30
開始基地：	ドイツ
開始時期：	1939年8月第4週（戦争時期1）
哨戒目的地：	西方近接海域 [Western Approaches]
魚雷状態：	－1
情報状態：	B 機関+2、エニグマ+2
撃沈艦船：	3隻
撃沈トン数：	23t
哨戒の長さ：	4週間
特別ルール：	a) このゲームの最初のターン中は、宣戦布告がされていない。 b) B 機関エリア、索敵&接触又は戦闘フェイズ、移送イヴェント・チェックについてサイを振らない。 c) 最初のターンに索敵を行うことはできない。

[33.2] ギュンター・プリーン：U-47 の二回目の哨戒 [GÜNTHER PRIEN: U-47's 2nd Patrol]

スカパ・フローのイギリス海軍基地の航空偵察で、基地内に導かれる半ダースの水路の1つであるカーク・サウンドが、閉塞船によって完全に閉じられていないことが明らかになりました。デーニッツは、U ボートが流れの中に滑り込み、錨地の本国艦隊を攻撃できると信じました。彼はこの試みのために、熟練した商船水夫で、最初の哨戒で3隻を撃沈したギュンター・プリーンを選択しました。エニグマ装置と全ての機密書類を陸揚げし、U-47 はデーニッツに知られることなく10月8日にヴィルヘルムスハーフェンから出港し、OKM は新たな乗組員を訓練するため、並びに本国艦隊をルフトヴァッフェ航空機の範囲内に誘い込むため、キールから新巡洋戦艦グナイゼナウと軽巡洋艦ケルンを出撃させました。本国艦隊はグナイゼナウの迎撃を試みましたが、二日後には港に戻り、ルフトヴァッフェは艦隊を捕捉できませんでした。スカパ・フローでの再補給が困難であるため、フォーブス提督はスコットランドの様々な港に艦隊（戦艦ネルソンとロドニー、巡洋戦艦フッドとレパルス、空母フューリアス）を分散させました。旧式の WWI 型戦艦ロイヤル・オークのみがスカパ・フローに引き返し、そこには老朽化した7,000トンの水上機母艦ペガサスが錨を下ろしたままでした。

一隻の閉塞船と別のそれからのケーブルを擦った後、U-47 は泊地に滑り込みました。プリーンはすぐに戦艦を確認しましたが、ペガサスを巡洋戦艦レパルスと誤認しました。プリーンは3,500ヤード

ドから各錨泊艦に2本の磁気信管魚雷を発射しました。2本が外れ、1本は発射管内で詰まりました。グリーンは、何とか前部の魚雷1本のみをロイヤル・オークに命中させました。彼は素早く旋回して後部発射管から発射しましたが、やはり外しました。ロイヤル・オークの艦長は、閃光を前部ペンキ倉庫の爆発のせいにし、全ての弾薬庫の温度チェックを命じました。スカパ・フローでは潜水艦の攻撃が不可能と見なされていたため、それ以上の詮索はされず、大部分の乗組員は寢床に戻りました。

20分後、発射管を再装填したグリーンは再び発射し、このとき3本が戦艦に命中しました。開かれた舷窓が水を取り込み、不意を突かれたドレッドノートはたちまち浸水しました。13分後、ロイヤル・オークは転覆し、1,200名の乗組員中833名と共に沈没しました。いまや基地に警報が出され、グリーンはカーク・サウンドを抜けてドイツへと引き返しました。

旧式戦艦の沈没が海軍の均衡に実質的な影響を持たない一方で、Uボート部隊は途轍もない栄誉を獲得しました。

潜水艦： VIIB型 U-47
開始基地： ドイツ
開始時期： 1939年10月第2週（戦争時期1）
哨戒目的地： スカパ・フロー [Scapa Flow]
魚雷状態： ー1
情報状態： 使用しない
撃沈艦船： 1隻
撃沈トン数： 35t
哨戒の長さ： 2週間
特別ルール： a) スカパ・フロー侵入に成功した瞬間 [30.4]、プレイヤーは任務部隊ディスプレイの中央にBB ロイヤル・オーク [Royal Oak] とCM 7tを置く。両艦船は、港内で錨泊状態 [14.18] である。U-47は、ディスプレイのいかなる潜水艦ボックス内にも置くことができる。

[33.3] ヘルベルト・ヴォールファールト：U-14の五回目の哨戒 [HERBERT WOHLFARTH: U-14's 5th Patrol]

U-14は短い範囲の北海へ、典型的なII型の哨戒を数回実施しました。不完全な磁気信管切断の前に、U-14は運がありませんでした。ヘルベルト・ヴォールファールトの下で、U-14はスカパ・フローの方向に足を伸ばし、イギリスとノルウェー間の通商妨害を試みました。二週間も経たぬうちに、U-14は2隻のデンマークと2隻のスウェーデン沿岸船を沈めて基地に帰還しました。初期の大部分のII型ボートと同様に、U-14は1940年の半ば前に訓練部隊へ移管されました。1941年に、ヴォールファールトはVIII型のU-556を指揮しました。その年5月、彼は非常に成功した哨戒の後で、主力艦が近くを通る様子を目撃連絡して基地へ帰還しました。ビスマルクの迎撃に向かうH部隊を目撃したのです。U-556は空母アーク・ロイヤルと巡洋戦艦リナウンの中間に入る絶好の位置につきましたが、魚雷を持ちませんでした。

その二回目の哨戒で、U-556は3隻のイギリス軍コルヴェット艦によって撃沈されましたが、ヴォールファールトとその乗組員の大部分は救助されました。

潜水艦： IIB型 U-14
開始基地： ドイツ
開始時期： 1940年3月第1週（戦争時期1）
哨戒目的地： 北海 [North Sea]
魚雷状態： 0
情報状態： B機関+2、エニグマ+2
撃沈艦船： 4隻
撃沈トン数： 5t
哨戒の長さ： 2週間

[33.4] ハンス・コハウシュ：UAの二回目の哨戒 [HANS COHAUSZ: UA's 2nd Patrol]

UAは、クリークスマリンで最も成功した非標準型潜水艦でした。IXA型に由来し、戦争が開始されたときトルコのバティルアイ（潜水艦）として建造されていました。UAはその巨大な司令塔と高い位置の甲板砲に関するドイツ軍の疑念にもかかわらず、クリークスマリンに適合しました。UAは多くの問題を抱えており、その最たるものは機関で、初期の数回の哨戒を中止する原因になりました。フランスの崩壊直後にドイツを出港し、仮装巡洋艦HMS アンダニアを哨戒エリアの途上で撃沈しました。南大西洋で機関が故障し、即座に襲撃艦ピングインが転進してフリータウン方向へ曳航し、修理を手助けしました。いったん機能を回復すると、UAの次の攻撃で発射した自身の魚雷の1本が円弧を描き、これを危うく回避しました。コハウシュは、基地に帰還する前に西アフリカの処女水域で5隻の艦船を撃沈し、本国への途上で7隻目を沈めました。

潜水艦： サルドウライ [Saldiray] 級 UA
開始基地： ドイツ
開始時期： 1940年6月第2週（戦争時期2）
哨戒目的地： 西アフリカ [West Africa]
魚雷状態： 0
情報状態： B機関+2、エニグマ+1
撃沈艦船： 7隻
撃沈トン数： 41t
哨戒の長さ： 12週間
特別： a) UAがその最初の耐久度チェックに失敗したとき、その場に留まり、補助襲撃艦ピングイン [Penguin] から再補給できます。二回目にチェックが失敗した瞬間、RTBしなければなりません。
b) 西アフリカは、処女水域 [30.5] である。

[33.5] アダルベルト・ジョヴァンニニ：ミケーレ・ビアンキの三回目の哨戒

[ADALBERTO GIOVANNINI: Michele Bianchi's 3rd Patrol]

イタリア軍潜水艦は、大西洋戦争初期にいくつかの不利な状況で酷使されました。地中海の穏やかな水面のために設計されていたため、その巨大な司令塔は酷く揺れ、波浪損傷に脆弱でした。ディーゼル機関のための外気誘導が主要な司令塔ハッチを通してであり、浮上中は閉じられないことを意味しました。北大西洋の荒い海は、絶え間なく司令塔とボート内の一部を濡らし、電気系統をショートさせました。魚雷の生産が停滞し、艦長たちは目標毎に1本のみ発射するよう指示されました。これにもかかわらず、デーニッツは彼が作戦の主要区域と見なした北部へこれらを送り続けました。

イギリスの港湾を空っぽにする大量の海上輸送は、同時に4つの護送船団、カナダ行き OB-287、OB-288、OB-289、OB-290 を出港に駆り立てました。これらの船団は、4隻のイタリア軍と1ダースのドイツ軍潜水艦のラインによって迎撃されたとき、アイスランドの南西にありました。混乱した格闘戦で、OB-288 と OB-290 は重大な損害を被り、ビアンキは各船団から1隻を撃沈しました。11隻のUボートが他の14隻を沈めました。Fw-200 コンドルの爆撃で、更に2隻が失われました。この混乱した戦闘中、SMG マルチェロが原因不明で失われ、スウェーデン貨物船によって体当たりされた可能性があります。

ジョバンニーニはこの哨戒後にイタリアへ帰還し、ビアンキは続く7月にビスケー湾内でイギリス軍潜水艦チグリによる雷撃で失われました。

潜水艦： マルコーニ級ミケーレ・ビアンキ [Michele Bianchi]
 開始基地： フランスー大西洋
 開始時期： 1941年2月第2週（戦争時期2）
 哨戒目的地： 西方近接海域 [Western Approaches]
 魚雷状態： 0
 情報状態： B 機関+1、エニグマ+2
 撃沈艦船： 3隻
 撃沈トン数： 15t
 哨戒の長さ： 4週間
 特別： 1941年3月第2週に戦争時期3へ変更する

[33.6] ゲオルク＝ヴィルヘルム・シュルツ：U-124 の四回目の哨戒

[GEORG-WILHELM SCHULZ: U-124's 4th Patrol]

ゲオルク＝ヴィルヘルム・シュルツは、長年に亘って商船の艦長でした。U-64 がノルウェーで浅瀬に捕まり戦艦ウオースパイトから飛んできたスワードフィッシュによって撃沈されたとき、彼とその乗組員の大部分は救助されました。U-124 を駆って、彼は西アフリカ水域に行きました。シエラ・レオーネ 67 (SL-67) 船団を攻撃し、シュルツは4隻を撃沈しました。数週間後、U-124 は戦艦マレーナが護衛していた SL-68 船団への狼群攻撃に連携を試みましたが、両ディーゼル主機が故障したため脱落を余儀なくされました。後に、アフリカ沿岸に接近し、シュルツは続けて3隻を撃沈しました。イギリス貨物船ツイートの残骸を調査していると、2艘の救命ボートがひっくり返り、何名かの負傷者がそこにへばりついていることに気づきました。シュルツは生存者を水面から引きあげると、ボートを元に戻し、備蓄の食料、水、煙草、コニャックを与えました。U-124 の軍医が負傷者を手当てする間、シュルツは生存者にフリータウンへの航路を教えました。戦争のより顕著な哨戒の1つで更に3隻の艦船を沈めた後、U-124 はロリアンへ帰還しました。17年後、SS ツイートの三等航海士はシュルツを突き止め、生存者を助けた彼の行動に感謝しました。

潜水艦： IXB 型 U-124
 開始基地： フランスー大西洋
 開始時期： 1941年2月第4週（戦争時期2）
 哨戒目的地： 西アフリカ [West Africa]
 魚雷状態： 0
 情報状態： B 機関+1、エニグマ+1
 撃沈艦船： 11隻
 撃沈トン数： 52t
 哨戒の長さ： 10週間
 特別ルール： a) 1941年3月第2週に戦争時期3へ変更する

b) U-124 がその最初の耐久度チェックに失敗したとき、その場に留まり、補助襲撃艦コーモラン [Kormoran] から再補給できる。二回目にチェックが失敗した瞬間、RTB しなければならない。

[33.7] ギュンター・ヘスラー：U-107 の二回目の哨戒 [GÜNTER HESSLER: U-107's 2nd Patrol]

ギュンター・ヘスラーは、水雷艇と前下級艦シュレージエンに従事した将校ですが、U-107 の指揮を与えられたとき潜水艦の経験を持っていませんでした。これは変わっていましたが、ヘスラーはデーニッツの娘ウルスラと結婚しており、デーニッツは彼がうまくやると信じていました。最初の哨戒で、彼は西方近接海域で2隻の英国補助巡洋艦を含む4隻 18,500 トンを撃沈しました。二回目の哨戒で、彼は6隻の独航船と5つの異なる船団から更に8隻を撃沈することで、決定的に自身を証明しました。この記録は、第二次世界大戦のあらゆる国のあらゆる潜水艦の最も成功した哨戒として残っています。

潜水艦： IXB 型 U-107
 開始基地： フランスー大西洋
 開始時期： 1941年4月第1週（戦争時期3）
 哨戒目的地： 西アフリカ [West Africa]
 魚雷状態： 0
 情報状態： B 機関+1、エニグマ0
 撃沈艦船： 14隻
 撃沈トン数： 86t
 哨戒の長さ： 14週間
 特別ルール： a) U-107 がその最初の耐久度チェックに失敗したとき、その場に留まり、補助襲撃艦ノルトマルク [Nordmark] から再補給できる。二回目にチェックが失敗した瞬間、RTB しなければならない。

b) 「艦船の基地」[“Bases for Ships”] 戦争イヴェントからのユニットは、戦争要素に加えられない。

[33.8] オットー・イテス：U-94 の六回目の哨戒 [OTTO ITES: U-94's 6th Patrol]

1941 年後半は、北大西洋のUボート部隊にとって乾燥期でした。イギリス軍のエニグマ解読は、船団がUボートの捜索ラインを迂回することを認めました。23歳のオットー・イテスは、完全な2年間について有名なU-48の当直将校として従事し、いまや指揮官として最初の哨戒にU-94で出港しました。グリーンランド南のUボート哨戒ラインの途上、ON-14 船団からの何隻かの落伍船に遭遇し、素早く3隻を撃沈しました。次の二週間に、イテスと他の艦長たちは北大西洋を捜索し、海軍本部が船団を迂回させたため接触が得られませんでした。やがて、U-94 が完全オーバーホールのためにドイツへ帰還する前に、イテスはON-19からはぐれたイギリスの大型タンカーを捕捉撃沈しました。

次の哨戒で、ドイツ軍の魚雷が潜水艦内の高圧で魚雷のバランス室に影響を受け、調定深度よりも深く馳走することをイテスは発見しました。彼の報告で魚雷が改良されたのは、ちょうど太鼓連打が米国沿岸を叩いているときで、あらゆる場所でのUボートの成功に貢献しました。

U-94は1942年8月にカリブ海でカナダ軍コルヴェット艦オークヴィンによって撃沈され、イテスと26名の乗組員が救助されました。戦後、イテスは西ドイツ海軍の駆逐艦Z-2を指揮しました。

潜水艦： VIIC 型 U-94
 開始基地： フランスー大西洋
 開始時期： 1941 年 9 月第 1 週（戦争時期 3）
 哨戒目的地： グリーンランド・ギャップ [Greenland Gap]
 魚雷状態： 0
 情報状態： B 機関 0、エニグマー 1
 撃沈艦船： 4 隻
 撃沈トン数： 29t
 哨戒の長さ： 6 週間
 特別ルール： 「艦船の基地 [“Bases for Ships”]」戦争イベントからのユニットは、戦争要素に追加されない。

[33.9] ラインハルト・ハルデーゲン：U-123 の七回目の哨戒 [REINHARD HARDEGEN: U-123's 7th Patrol]

ドイツ軍がVII型ボートをマラタイムズとニュー・イングランドへ送っている間、長距離の IX 型は正に東海岸に突進していました。その途上、U-123 はバミューダの近くで 2 隻のタンカーを沈め、1 隻を 2 本の魚雷が不調だった後に甲板砲で止めを刺しました。数日後、ハルデーゲンは艦齢 30 歳の不定期貨物船 SS カロリンから改装されていた U ボートの罠（又は Q シップ）USS アディックに遭遇しました。その船倉は浮揚のための木材で満たされ、4 門の 4 インチ砲にプラスして多数の機関銃と爆雷投射機で武装されていました。U-123 は 1 本の魚雷を打ち込み、傾斜させました。乗組員が船を放棄するのを見て、ハルデーゲンは甲板砲で止めを刺すため貨物船に接近して浮上しました。この時点で、アディックに残った乗組員が射撃を開始しましたが、U-123 は 50 口径機関銃弾の命中を受けて候補生が重傷を負いました。ハルデーゲンが素早く潜航して再び雷撃すると、爆発して瞬時に轟沈しました。

フロリダ沿岸に近づくと、ハルデーゲンはタンカーのガルフアメリカを含む何隻かの艦船を沈めました。魚雷が命中して発火した後、ハルデーゲンは甲板砲からの外れた砲弾が、2 マイルも離れていないジャクソンヴィルの煌々と灯った海岸に着弾し、集まった群衆が燃えているタンカーを見つめていることに気づきました。彼は U-123 を陸から対峙するように旋回させました。海岸の群衆は、射撃する炎に対してシルエット化した U ボートを鮮明に見ることができました。

この機動は柔軟な時間を奪い、頭上に到着した航空機が U ボートを捕捉するため吊光弾を投下しました。アメリカ軍駆逐艦ダールグレンは U-123 を捕捉し、ハルデーゲンは急速潜航しました。U-123 が震えて停止すると、ハルデーゲンは深度が 6 フィートに過ぎないことを知ってショックを受けました。ダールグレンは 6 発の爆雷を投下し、重大な損傷を負わせました。ボートが動けないため、ハルデーゲンは機密機器の破壊と艦を放棄する準備をするよう命じました。脱出ハッチを開く時間が来るとボートは浸水し、乗組員はそこから出ることができましたが、ハルデーゲンは恐怖で動けなくなりました。その時点で駆逐艦は去り、ドイツ人たちは応急的な修理をする時間を与えられ、深海へ移動しました。後に彼は「私は捕虜になるのを恐れただけだ」と認めています。

U-123 は更に艦船を撃沈し、甲板砲の砲弾 2 発のみを残して基地へ帰還しました。夕食の席でエース仲間のエーリヒ・トップと共にヒトラーを悩ました後、ヘルデーゲンは訓練部隊司令部へ異動させられました。彼は大战を生き残り、プレーメンの議会で 32 年間奉仕しました。

潜水艦： IXB 型 U-123
 開始基地： フランスー大西洋
 開始時期： 1942 年 3 月第 1 週（戦争時期 4）
 哨戒目的地： 米国東海岸 [US East Coast]
 魚雷状態： + 1
 情報状態： B 機関 + 1、エニグマ + 1
 撃沈艦船： 8 隻
 撃沈トン数： 35t
 哨戒の長さ： 9 週間

[33.10] エミリオ・オリヴィエリ：ピエトロ・カルヴィの七回目の哨戒

[EMILIO OLIVIERI: Pietro Calvi's 7th Patrol]

北大西洋の荒海での不調後、イタリア軍潜水艦はその地中海式設計の特徴が不利にならなかった南方水域に航路を取る傾向がありました。より成功した哨戒の 1 つが、SMG ピエトロ・カルヴィのそれです。滅多に訪れなかった南アフリカの水域に送られ、カルヴィは途上でイギリスの貨物船を沈めました。配置場所で積荷を載せて航海しているアメリカのタンカー T.C. マッコブと遭遇し、有力な 120mm 砲の航走砲撃で同船を沈めました。他のアメリカとパナマ船籍のタンカーとノルウェイの貨物船を沈めた後、オリヴィエリはボルドーに帰還してプリモ・ロンゴバルドと交代しました。

続く 7 月、カルヴィはアフリカ沿岸で SL-115 船団を攻撃し、イギリス軍スループ艦ラルワース（元米国沿岸警備隊カッター艦シュラン）によって沈められました。ロンゴバルドは艦を放棄しているときに機関銃射撃で殺されましたが、3 名の将校と 32 名の乗組員が救助されました。

潜水艦： カルヴィ級 ピエトロ・カルヴィ [Pietro Calvi]
 開始基地： フランスー大西洋
 開始時期： 1942 年 3 月第 2 週（戦争時期 4）
 哨戒目的地： ブラジル内湾 [Brazil Basin]
 魚雷状態： + 1
 情報状態： B 機関 + 1、エニグマ + 1
 撃沈艦船： 5 隻
 撃沈トン数： 29t
 哨戒の長さ： 8 週間
 特別： ブラジル内湾は、処女水域 [30.5] である。

[33.11] ゲオルク・シュターツ：U-508 の二回目の哨戒 [GEORG STAATS: U-508's 2nd Patrol]

アメリカの哨戒は、42 年夏の間に収獲が急激に減少しました。VII 型ボートは場所をシフトし、いまや大部分の哨戒はカリブ海の遙か南又は南米沖に行きました。最も注目すべき 1 つは、U-508 の二回目の哨戒です。大西洋を渡った後、U-508 はトリニダード・アルバークアンタナモ航路のために編成された TAG-19 船団に遭遇し、そこからの 2 隻を撃沈しました。次いでシュターツはトリニダードの東から英国領ギアナまで巡航し、1 週間毎に 1 又は 2 隻の艦船を沈め、合計 9 隻となりました。

U-508 は、次の出撃ではビスケー湾内で沿岸航空隊のリベレーターによって損傷したときに帰還を強いられました。シュターツは、ギニアのアフリカ・ガルフへの哨戒を一度以上成功させましたが、U-508 がビスケー湾で米海軍の PB4Y-1 リベレーターによって撃沈されたときに全乗組員と共に戦死しました。航空機も撃墜されて生存者は皆無でした。

潜水艦： IXC 型 U-508
 開始基地： フランスー大西洋
 開始時期： 1942 年 10 月第 3 週（戦争時期 5）
 哨戒目的地： ギアナ内湾 [Guiana Basin]
 魚雷状態： + 1
 情報状態： B 機関 0、エニグマ + 1
 撃沈艦船： 9 隻
 撃沈トン数： 50t
 哨戒の長さ： 11 週間
 特別： U-508 がその最初の耐久度チェックに失敗したとき、その場に留まり、U タンカー U-461 から再補給できる。二回目にチェックが失敗した瞬間、RTB しなければならない。

[33.12] ジャンフランコ・ガッツァーナ=プリアロツ ジア：レオナルド・ダ・ヴィンチの八回目の哨戒 [GIANFRANCO GAZZANA PRIAROGGIA: Leonard Da Vinci's 8th Patrol]

SMG レオナルド・ダ・ヴィンチは、二人の特別な艦長の下で非常に成功した経歴を持ちました。1943 年初頭、ジャンフランコ・ガッツァーナ=プリアロツジアは、ダ・ヴィンチで 6 隻の艦船を撃沈したルイー・ロンガネー=カッターニの後を継ぎ、南アフリカへの長い哨戒に赴きました。その途上、赤道近くでプリアロツジアは 3,500 名の連合軍部隊、避難者、イタリア人捕虜を運んでいる部隊輸送船エムプレス・オブ・カナダ 20,500 トンを捕捉撃沈しました。ケープタウンとダーバン沖を巡航中、ダ・ヴィンチは更に 5 隻の艦船を発見して沈めました。全ての魚雷を消費してボルドーへの途上、プリアロツジアは昇進したことを連絡されましたが、彼はそれを享受できませんでした。5 月 23 日、ビスケー湾に進入しているとき、ダ・ヴィンチはイギリス軍駆逐艦アクティヴとフリゲート艦ネズによって捕捉撃沈され、全乗組員と共に失われました。

潜水艦： マルコーニ級 レオナルド・ダ・ヴィンチ [Leonardo
 Da Vinci]
 開始基地： フランスー大西洋
 開始時期： 1943 年 2 月第 4 週（戦争時期 5）
 哨戒目的地： ケープ内湾 [Cape Basin]
 魚雷状態： + 1
 情報状態： B 機関 + 1、エニグマ 0
 撃沈艦船： 6 隻
 撃沈トン数： 59t
 哨戒の長さ： 13 週間

[34.0] 護送船団／狼群シナリオ [CONVOY/WOLFPACK SCENARIO]

特記されていない限り、護送船団／狼群シナリオは、単一の戦闘フェイズから構成されます。護送船団が適切な作戦エリアについての遭遇表に従ってディスプレイ上に置かれます。特別ルールで特記されていない限り、U ボートはサイ振りを行うことにかかわらず列記された全ての潜水艦をディスプレイ上に置けることを除き、[14.11] に従って置かれます。

例：ある護送船団を攻撃するために、8 隻の U ボートが使用可能です。プレイヤーはそれぞれについてサイを振り、6 隻を外縁コラム内と 1 隻を中央に置きます。8 隻目の U ボートについてのサイの目プラス戦術値は「7」で、通常は二次攻撃フェイズになるまで攻撃するための資格を持たない結果になります。その代わりに、彼はそれを内縁コラム（中央ではなく）の 1 つに置くことができます。

シナリオは、戦闘の終了で終わります。哨戒ゲームでは戦争イベントは使用されず、戦争時期又は G7 魚雷値の変更はありません。

護送船団シナリオの勝利 [Convoy Scenario Victory]

哨戒ゲームには、2 つの「勝利」統計があります。：撃沈艦船数と撃沈トン数です。撃沈した艦船又はトン数を追求し、BdU から祝辞を受けます。撃沈した艦船とトン数を追求し、*Ritterkreuz*（騎士十字章）を勝ち取ってください。

[34.1] SL-34

狼群レーズィンク [Rösing] は、唯一二回試みられた狼群です。U-48 艦長ハンス=エルドルフ・レーズィンク少佐によって指揮されました。デーニッツが自身の狼群アイデアに命名した *Rudeltaktik*（狼群戦術）は、未だ実験途上でした。無線交信はしばしばレーズィンク指揮下のボートで受け取られず、海上での連携が非常に困難であることが証明されました。シエラ・レオーネ船団 34 は、イギリス諸島に接近しているときに遭遇しましたが、2 隻のボートみが参加でき、2 隻のみを撃沈しました。帰還後、レーズィンクは、狼群は沿岸から連携させるべきであると進言しました。

潜水艦： U-46、U-101
 時期： 1940 年 6 月第 2 週（戦争時期 1）
 作戦エリア： SW 近接海域 [SW Approaches]
 遭遇タイプ： 中間密度（ブルー）大規模船団
 魚雷状態： 0
 撃沈艦船： 2 隻
 撃沈トン数： 9t

[34.2] SC-7 と HX-79

名称なしの潜水艦集団が、カナダから大英帝国までの護送船団航路と期待された位置に配備されました。最初の接触は、U-124 による SC-7 船団で、小型木材輸送船カナディアン・レイクスの撃沈が無線で報じられました。SC-7 はスループ艦スカバローによってのみ護衛されていましたが、西方近接海域局地護衛部隊からの増援が期待されました。

他の U ボートが船団を攻撃するために移動すると、高速船団 HX-79 が SC-7 に追いつき、貧弱な護衛艦を持つ濃密な船舶の集中が生み出されました。海軍本部が追加で 8 隻の護衛艦を急行させたにも関わらず、戦争全体で二番目に多い艦船損失の二日間となりました。海軍本部は、船団と一緒に行動することに不慣れの軍艦を臨時に割当てる代わりに、分離した護衛艦グループの創出を計画し、船団から離れた位置に置くことで対応しました。

潜水艦： U-38 (Liebe +1)、U-46、U-48、U-99 (Kretschmer +1)、U-100 (Schepke +1)、U-101、U-123、U-124
 時期： 1940 年 10 月第 3 週（戦争時期 2）
 作戦エリア： 西方近接海域 [Western Approaches]
 遭遇タイプ： 高密度（レッド）大規模船団（両方）
 魚雷状態： 0
 撃沈艦船： 32 隻
 撃沈トン数： 155t
 特別ルール： このシナリオは、2 つの戦闘フェイズから構成される。最初は SC-7 に対する戦闘から成る。解決に続き、戦争要素へ全ての連合軍ユニットを戻す。損傷状態の潜水艦はプレイヤーの選択で取り去ることができ、探知状態マーカーは取り去られる。生き残っているドイツ軍部隊に U-47 (Prien + 1) を加え、このときは HX-79 に対して、二番目の戦闘フェイズを実施する。

[34.3] SC-26

エースだったグリーン、シュプケ、クレッチマーが失われた直後、デーニッツはカナダからの非護衛下船団が西方近接海域の護衛艦といまだにランデブーしていないエリアである、通常よりも西へUボートの哨戒ラインを進めることを命じました。SC-26は10日前にハリファックスを出港してリヴァプールに向かっており、襲撃艦に対する防護のため仮装巡洋艦ウスターシャーのみによって護衛されていました。

4隻のボートが最初の攻撃を行い、夜間に5隻を沈め、ウスターシャーは酷い損傷を受けました。奇襲を受けた船団は、護衛艦が高速で現場に向かう間に分散しました。8隻の駆逐艦、2隻のボルヴェット艦、1隻のスループ艦が船団を集めました、全ての艦船（又は護衛艦）とは接触しませんでした。戦闘中、U-76が捕捉され、駆逐艦ウォルヴェリンとスループ艦スカラボローによって爆雷攻撃を受けました。深手を負ったU-76は、自沈するために浮上しました。ボルヴェット艦アルブータスは捕獲を試みましたが、ボートは塩水とバッテリー酸の混合による塩素ガスが充満しました。U-76は急速に沈没し、生き残った乗組員は1名のみでした。陸上基地機の到着でUボートが追い払われるまでの次の2日間を通して、孤立した沈没が発生しました。

海軍本部は、この敗北に対応して護衛艦グループをアイスランドの沖で活動させ、船団は大西洋を越える航海を通して対潜支援部隊を持つことになりました。

潜水艦： U-46 (Endrass +1)、U-69、U-73、U-74、U-97、U-101
 時期： 1941年4月第1週（戦争時期3）
 作戦エリア： 西方近接海域 [Western Approaches]
 遭遇タイプ： 中間密度（ブルー）大規模船団
 魚雷状態： 0
 撃沈艦船： 11隻
 撃沈トン数： 54t
 特別ルール： a) 「艦船のための基地」イベントは発生しておらず、イベントで述べられたユニットは戦争要素へ加えない。
 b) 一次攻撃ラウンドに、プレイヤーはホワイト・エンサイン裏面のユニットを明らかにすることや攻撃ができない。

[34.4] OG-71

アウトバウンド・ジブラルタル71は、リヴァプールを出港してから4日後にFW-200コンドルによって発見されました。その後三日間に亘り、コンドルとU-201が船団を追跡しました。デーニッツは、最初に護衛艦を攻撃するよう命じました。U-204はそれに従い、ノルウェイ人が乗組む旧アメリカ軍の四本煙突型駆逐艦 HNoMS バスを真っ二つに吹き飛ばすことで戦闘を開始しました。続く四日間に、Uボートはイギリス軍ボルヴェット艦 ジニアを含む9隻の艦船を削ぎ落としました。船団は50%近くまで減少し、Uボートが解散しなければならぬ中立国リスボンに変針して逃げ込みました。24時間後、十分な航空支援を受けた船団の残りは脱し、ジブラルタルへの航海を完了しました。

潜水艦： U-106、U-201、U-204、U-559、U-564
 時期： 1941年8月第4週（戦争時期3）
 作戦エリア： SW 近接海域 [SW Approaches]

遭遇タイプ： 低密度（オレンジ）小規模船団
 魚雷状態： 0
 撃沈艦船： 10隻
 撃沈トン数： 52t
 特別ルール： a) 戦争イベントに従い、「艦船のための基地」ユニットを戦争要素に加える。
 b) 二次攻撃ラウンドに、ドイツ軍部隊に U-552 (Topp +1) を加える。

[34.5] ON-67

何隻かのUボートがアメリカ沿岸への途上でした。U-155は以前に一度も一緒に行動していない新米のアメリカ軍駆逐艦4隻と1隻のカナダ軍ボルヴェット艦の護衛艦群に守られたON-67と偶然遭遇しました。1隻のみが機能するレーダーを持ち、アメリカの艦船は双眼鏡を持ちませんでした。デーニッツは、近くのUボートに集合を命じました。

アドルフ・コーネリアス・ピーニングのU-155が最初に攻撃を行い、2隻を撃沈しました。他のボートは、二日後に集合して攻撃しました。U-558は5時間に5隻を沈め、戦争中で最も成功した攻撃の一つとなりました。Uボートは、駆逐艦を回避するため何度も潜航したことを報告しましたが、護衛艦たちは探知できませんでした。接触がないので、護衛艦は生存者の救助に集中しました。

潜水艦： U-155 (Piening +1)
 時期： 1942年2月第4週（戦争時期4）
 作戦エリア： グランド・バンクス [Grand Banks]
 遭遇タイプ： 高密度（レッド）大規模船団
 魚雷状態： +1
 撃沈艦船： 8隻
 撃沈トン数： 55t
 特別ルール： a) いかなる「探知状態」の結果も無視される。
 b) 明らかにされた精鋭護衛艦は、適切なカップへ戻される。
 c) 二次攻撃ラウンドに、U-158、U-162、U-558、U-587をドイツ軍部隊に加える。

[34.6] グルッペ・ヘヒト [Gruppe Hecht]

グルッペ・ヘヒトは、一つの単位として送り出された数少ない狼群の1つです。これは、XB型U-116からのタンカー支援も受けていました。グループは、西方に航海する間に船団を掃討し、再給油してアメリカ水域まで継続することを意図しました。

最初の捕捉はアウトバウンド・ノース（低速）-92の42隻で、USS グレーヴスから指揮される沿岸警備カッター艦と4隻のカナダ軍ボルヴェット艦を持つアメリカ軍護衛グループA-3によって護衛され、リヴァプールからハリファックスへ向かっていました。Uボートの送信は、狼群が近くにいることを示していましたが、何ら特別な警戒は行われませんでした。二日間でONS-92の7隻が沈没し、損害を受けたUボートはありませんでした。護衛艦グループの指揮官は、他の任務に更迭されました。

この船団に対する試みの容易な成功で、デーニッツは計画を変更しました。ASWの範囲が狭い東海岸へ向かう代わりに、ヘヒトに船団の搜索を続行するよう命じました。戦艦ニューヨークによって護衛された高速部隊輸送船船団を含む、多数の船団がヘヒトを回避しました。ただし、低速船団ONS-100は、捕捉追跡されました。

これは熟練しているものの非力なカナダ軍護衛グループ C-1 によって護衛され、HMCS アッシンボインから指揮される 4 隻のコルヴェット艦を持ちました。ヨハン・モーアは、自由フランス軍コルヴェット艦 ミモザを 2 本の魚雷で叩くことで攻撃を開始し、ミモザは沈没して生存者は僅か 4 名でした。次の日も船団に浸透し、見通しの効かない霧が攻撃を停止させるまでに 4 隻が撃沈されました。

ヨーロッパへ帰還する準備をしていた U-94 のオットー・イテスは、別の船団に遭遇しました。再編された護衛グループ A-3：3 隻のトレジャリイ級沿岸警備カッター艦、1 隻の平甲板型駆逐艦、1 隻のカナダ軍駆逐艦、4 隻のカナダ軍コルヴェット艦によって護衛された ONS-102 です。全ての攻撃が妨害され、U-94 と U-590 は 9 時間以上続く強打で大きな損害を受けました。U-124 のモーアは、アメリカ貨物船シアトル・スピリットを撃沈して唯一の戦果を上げました。ONS-102 の防御は、たとえ狼群であっても大規模な護衛艦を持つ船団を攻撃することがいかに困難であるのかを示しました。

潜水艦： U-94、U-124 (Mohr +1)、U-569
 時期： 1942 年 5 月第 2 週 (戦争時期 4)
 作戦エリア： グリーンランド・ギャップ [Greenland Gap]
 遭遇タイプ： 高密度 (レッド) 大規模船団 (全 3 つ)
 魚雷状態： + 1
 撃沈艦船： 13 隻
 撃沈トン数： 62t
 特別ルール： これは特別な護送船団シナリオで、3 つの個別戦闘フェイズから構成される。

A. 最初は、ONS-92 と指定されたボートの接触をあらわす。二次攻撃ラウンドに、U-96、U-406、U-590 をドイツ軍部隊に加える。

B. 二番目は、ONS-100 と生き残っているボートとの接触をあらわす。いかなる探知状態マーカーも取り去られる。損傷状態のボートは、プレイヤーの選択で取り去ることができる。一次攻撃ラウンドは、無作為に選択した 3 隻の U ボートで実施し、二次攻撃ラウンドに残りを加える。

C. 三番目は、ONS-102 と生き残っているボートとの接触をあらわす。いかなる探知状態マーカーも取り去られる。損傷状態のボートは、プレイヤーの選択で取り去ることができる。一次攻撃ラウンドは、無作為に選択した 4 隻の U ボートで実施し、二次攻撃ラウンドに残りを加える。

[34.7] SL-125

狼群「戦斧」[Streitaxt] は、ジブラルタル海域内の海上通商の増加に対応して形成されました。大規模なシエラ・レオーネ船団の減少にないほど正確な B 機関の情報を受けた後、グループはカナリア諸島とヴェルデ岬の間で迎撃するために移動しました。SL-125 は 37 隻の脆弱な商船から構成され、HMS ベチュニアから指揮された 4 隻のコルヴェット艦のみで護衛されていました。

最初に U-203 が攻撃しましたが、2 隻のコルヴェット艦から損傷を受けて撃退されました。更に 3 隻のボートが追尾しましたが、1 隻のタンカーを損傷させたただけでした。船団に合わせて、残りの 4 隻が合流して 3 隻を沈めました。翌朝、何隻かが潜航した昼間攻撃が行われましたが、4 隻の小さな護衛艦は全ての攻撃を妨害し、U-659 を損傷させました。翌日は時化模様の天気が攻撃を延期させましたが、10 月 30 日に追加のボートが合流して船団に群がり、何

隻かの大型タンカーと、英国へ戻るイギリス軍兵士を運んでいた 11,900 トンのフランス部隊輸送船プレジデント・ドゥメールを含む 9 隻を沈めました。

船団を増援するため、ジブラルタルの局地護衛艦部隊から駆逐艦が駆けつけ、沿岸航空機の航続範囲内に入ったとき、デーニッツはこの船団に対する作戦を中止しました。

シエラ・レオーネ船団は、続く 5 ヶ月間について一時見合わせられ、海輸は南アメリカ航路から上がって北大西洋を渡りました。何人かの歴史家は、北アフリカへ向けられたトーチ船団から U ボートを引き離すために SL-125 の情報がリークされ、U ボートが上陸地点の侵攻部隊を奇襲することを回避させたのではないかと憶測しています。

潜水艦： U-134、U-203、U-409、U-509 (Witte +1)、U-510、U-604、U-659
 時期： 1942 年 10 月第 4 週 (戦争時期 5)
 作戦エリア： ヴェルデ岬 [Cape Verde]
 遭遇タイプ： 高密度 (レッド) 大規模船団
 魚雷状態： + 1
 撃沈艦船： 12 隻
 撃沈トン数： 85t
 特別ルール： a) 一次攻撃ラウンドは、明らかにされたいかなる駆逐艦 (精鋭を含む) も、その裏 (旗) 面に裏返すことができます。
 b) 二次攻撃ラウンドに、U-103 と U-440 をドイツ軍部隊に加えます。

[34.8] TM-1

北アフリカにおける重大な燃料要求のため、直接カリブ海の精製施設からジブラルタルを経てアルジェリアまで、一連の特別船団が海上輸送を開始しました。高速タンカーから構成された TM-1 は、護衛グループ B-5 のコルヴェット艦の燃料経済性に要求される 8 ノットの前進速度に合わせるべく速度を低下させました。BdU は本国行きの GU-2 を迎撃するために狼群デルフィンを編成しましたが、U-514 による発見報告の後でデーニッツはその重要性和この低速石油船団の脆弱性を認識しました。彼はデルフィンに迎撃を命じました。

潜水艦追跡室は、無線交信から狼群が TM-1 の正面に編成されたと判断し、回避のために航路変更を指示しましたが、不可解なことに船団によって無視されました。デルフィンは直ちに集合してタンカーの半数を撃沈し、U-436 は駆逐艦ハブロックによって損傷しました。護衛艦は繰り返し攻撃しましたが、次の二日間に追加のタンカーが沈められ、U-134 は損傷しました。2 隻のみタンカーが生き残ってジブラルタルに到着しました。アフリカ軍団のフォン・アルニム将軍は、デーニッツに祝福と感謝を送りました。

潜水艦： U-381、U-436、U-442、U-571、U-575
 時期： 1943 年 1 月第 2 週 (戦争時期 5)
 作戦エリア： サルガッソー海 [Sargasso Sea]
 遭遇タイプ： 特別護送船団
 魚雷状態： + 1
 撃沈艦船： 7 隻
 撃沈トン数： 56t
 特別ルール： a) この船団は、中核ユニットについて中央カッ

ブを使用し、タンカー（AO）、戦闘イヴェント・マーカー、護衛艦のみを残し、全ての商船と航空機を取り去る。

- b) プレイヤーは3隻の非精鋭イギリス軍コルヴェット艦と1隻のイギリス軍駆逐艦を無作為に引き、表面を伏せてそれらを外縁コラム内に置く。
- c) もしもいずれかのUボートが一次攻撃ラウンドに続いて撤退したら、それらは二次攻撃のためにU-134、U-511、U-514、U-522、U620によって置き換えられる。

[34.9] HX-228

狼群ノイランムは、北南に哨戒ラインを伸ばされました。海軍本部が60隻の船団H-228の航路を、SC-121を攻撃しているグループから離れたとき、正しくラインの中央に突進しました。HX-228は、殊勲章着用者テイト中佐に指揮され、2隻のイギリス軍駆逐艦、2隻のポーランド軍駆逐艦、2隻のイギリス軍コルヴェット艦、3隻の自由フランス軍コルヴェット艦から構成された熟練のイギリス軍グループB-3によって護衛されていました。船団は、護衛空母USSボーグと2隻のアメリカ軍駆逐艦から成る第6支援グループの後方支援を受けていました。

Uボートたちが攻撃の準備をしているちょうどそのとき、新型艦上機アヴェンジャーの問題と駆逐艦の燃料不足のため、空母はアルジェンティーアへ帰還しました。

U-221は2隻の弾薬運搬船を沈めることで戦闘を開始し、そのうち1隻が爆発して破片がUボートの潜望鏡を損傷させました。U-221は反撃され、艦名不祥の護衛艦によって重大な損傷を受けました。他のボートは攻撃を試みましたが、熟練の護衛艦がその大部分を妨害しました。U-757はLCTと2隻のPTボート、1キロトン近いTNTを運んでいるリバティ船を雷撃しました。爆発で損傷したU-757は、4ヶ月間修理に費やすことになりました。テイトのHMSハーベスターは、U-444を探知して体当たりを試みましたが、乗り上げることにのみ成功し、駆逐艦のシャフトとプロペラが損傷しました。次いで、U-432が動きの止まった駆逐艦に2本の電池魚雷を発射し、テイトを含む149名の損失と共に沈没しました。自由フランス軍コルヴェット艦アコントは、ハーベスターを守るために接近しており、いまや浮上しているU-444を発見しました。アコントは潜水艦に体当たりし、真っ二つに切断しました。生存者を救出している間、ソナーの接触を得て、ハーベスターを沈めた潜水艦を爆雷攻撃しました。U-432は沈降を停止する前に1,000フィートを記録し、緊急ブローで浮上しました。U-432はアコントから半マイル先に突然現れ、アコントは直ちに砲火を開いて乗り上げようと試みました。重たい波がアコントを投げつけ、Uボートは沈没しました。次の日、船団が陸上航空機からの航続範囲に入ったことを恐れ、デーニッツは更なる攻撃を中止しました。

潜水艦： U-86、U-221、U-336、U-406、U-440、U-444、U-590、U-757

時期： 1943年3月第2週（戦争時期5）

作戦エリア： グリーンランド・ギャップ [Greenland Gap]

遭遇タイプ： 高密度（レッド）大規模船団

魚雷状態： +1

撃沈艦船： 5隻

撃沈トン数： 26t

特別： 二次攻撃ラウンドにU-228、U-359、U432を加える。

[34.10] UGS-6

トーチ作戦の成功で、一連の中部大西洋船団が開始されました。UG（USからジブラルタル）船団は、チェサピーク湾から北アフリカへ行き、同行する艦隊給油艦から燃料補給を受ける近代的な米軍艦隊型駆逐艦のグループによって護衛されました。これらは、目的地に近づくにつれてジブラルタルからの局地護衛艦によって増強されました。より短い航続力を持つ護衛艦を持つ北大西洋船団よりも燃料制限による拘束が少ないUGとGU船団は、集中を知られることを広範囲で回避しました。B機関は、44隻の商船から構成された低速船団UGS-6の正確な情報をデーニッツに提供することができました。BdUは迎撃のために新たな狼群（ウンファツァクト）を編成しました。

U-130は船団を捕捉し、他のボートの残りが集まる間追跡するよう命じられました。全ての駆逐艦が新型のセンチメートル帯レーダーを有し、U-130は2マイル先から探知されました。USSチャンプリングが砲撃でボートに潜航を強制し、次いで4時間に及ぶ系統だった爆雷攻撃を実施して全乗組員と共にUボートを撃沈しました。残りのボートも攻撃しましたが、護衛艦はしばしば船団の前方と側面を10マイル離れて掃討し、繰り返し嫌がらせを試み、接近することでボートに潜航させて深く潜ることを強制しました。U-172のエース艦長カール・エマーマンのみが1隻の貨物船を沈めることができました。

好機と感じたBdUは、新たな狼群（ウォールゲムート）を編成し、存在している狼群（トゥミラー）にもUGS-6との交戦を命じました。燃料欠乏と船団捕捉が困難であるため、4隻のみの追加ボートが攻撃できました。U-515は損傷しましたが、2隻のリバティ船と1隻のフランス軍フリゲート艦を次の2日間に沈めることができ、モロッコからの陸上基地機が作戦を中止させました。

潜水艦： U-106、U-130、U-167、U-172 (Emmermann +1)、U-513、U-515

時期： 1943年3月第3週（戦争時期5）

作戦エリア： 海洋中央 [Mid-Ocean]

遭遇タイプ： 高密度（レッド）大規模船団

魚雷状態： +1

撃沈艦船： 4隻

撃沈トン数： 28t

特別ルール： a) [30.32]に従い、西方カップからユニットが引かれる。US 2t DDではない、明らかにされた全ての護衛艦（精鋭を含む）は、US艦隊護衛艦カップから無作為に引かれた駆逐艦に置き換えられる。
b) 二次攻撃ラウンドにU-159 (Witte +1)、U-521、U524、U-558をプレイヤーの部隊に加える。

選択ルール [OPTIONAL RULES]

以下のルールは、プレイヤーの裁量で使用できます。これらは、高いレベルのリアリズムを提供しますが、より詳細で歴史的な結果からの逸脱の機会を加えます。

[35.0] 変更された戦前の建造

[ALTERED PRE-WAR CONSTRUCTION]

これらのルールは、あなたの潜水艦艦隊の構成を修正することを認めます。この方法で受け取られる全ての選択ユニットは、左上端に濃い三角形でマークされます。

[35.1] 1939 年 1 月の協議 [The January 1939 Conference]

1938 年 12 月、ヒトラーはイギリスに 1935 年の英独海軍協定でドイツがイギリスと同等まで潜水艦を建造することを認めた免責条項の発動を通告しました。一ヵ月後、論争の場でデーニッツ大佐（間もなく准将と BdU に昇進します）は、OKM 参謀を支援していた上級潜水艦計画者のヴェルナー・フューブリンガー少将と争いました。デーニッツは、英国を封鎖に追い込むべく数を揃えるため、新たに使用可能なトン数から全て VII 型ボートを建造することを求めました。OKM 幕僚の見解は、航空機と ASDIC（ソナー）が潜水艦を時代遅れにするというものでした。彼らは遠方海域で通商破壊を実施できるよう、航続距離が長いボートを欲しました。エーリヒ・レーダー提督は型式を融合して発注するよう妥協し、ドイツ軍のあらゆる艦隊型又は U 巡洋潜水艦の建造を延期しました。

事前ゲーム・ステップは、あなたがこの会議で優位に立ち、クリュークス・マリーネが未だ戦争が数年先まで延期されることを望んでいた、戦前の最後に発注された潜水艦の建造を修正します。あなたは、デーニッツが選択した VII 型を更に編成するか、又は OKM が選択した大型ボートを増やすか選ぶことができます。

戦前最後の契約から史実で建造されたボートのブロック：

ブロック 1 – VII B 型 U-99、U-100、U-101、U-102

ブロック 2 – IX B 型 U-122、U-123、U-124

ブロック 3 – II C 型 U-62、U-63

ブロック 4 – II D 型 U-137、U-138、U-140

ブロック 5 – VII B 型 U-73、U-74、U-75、U-76

ブロック 6 – VII C 型 U-69、U-70、U-71

ブロック 7 – IX B 型 U-103、U-104、U-105、U-106、U-107、U-108

ブロック 8 特別 – II D 型 U-141、U-143、U-146、U-147

デーニッツの選択 [DÖNITZ OPTIONS]：

- A. ブロック 2 と 3 を VII B 型 U-62、U-63、U-122、U-123、U-124 と交換する。
- B. ブロック 4 と 7 を VII B 型 U-103、U-104、U-105、U-106、U-107、U-108、U-137、U-138、U-140 と交換する。

OKM の選択 [OKM OPTIONS] (何隻かは相互に除外される)：

- A. 4 隻の XI 型 3,000 トン U 巡洋潜水艦を受け取るためにブロック 1、3、4 と交換する。： U-112、U-113、U-114、U-115
- B. 4 隻の XII 型 1,600 トン艦隊型潜水艦を受け取るためにブロッ

ク 5、6 と交換する。： U-491、U-492、U-493、U-494

C. ブロック 1 を IX B 型 U-100、U-101、U-102 と交換する。

D. ブロック 3 と 4 を IX B 型 U-138、U-140 と交換する。

E. ブロック 5 と 6 を IX B 型 U-69、U-70、U-71、U-75、U-76 と交換する。

[35.11] デーニッツと OKM の両オプションについて、もしもブロック 3 と 4 の両方が交換されたら、ブロック 8 も取り去られなければなりません。これらのボートは、訓練部隊に移管されない未建造の II 型を補完するため、直ちに訓練ボートになります。

[35.12] この方法で受け取った VII 型と IX 型の U ボートは、その歴史的な当事者と同じ U 番号を持ち、同じ時期に装備されます。XI 型と XII 型の U ボートは、マスター増援リストで < > 内に列記されます。

[35.2] その後の代用 [Subsequent Substitution]

これは、可能性が低くより高価な変更です。長期間に亘る異なる建造の影響を検証し、以下のブロックは事前ゲーム・ステップで変更できます。ボートは、置き換えられる同じ番号のボートと同じ時期に受け取られて装備されます。

VII B 型 U-84 から U-87 について：

XI 型 U-84 と U-85 *又は*

XII 型 U-86 と U-87

VII C 型 U-93 から U-98 について：

XI 型 U-93、U-94、U-95 *又は*

XII 型 U-96、U-97、U-98

VII C 型 U-201 から U-208 について：

XI 型 U-201、U-202、U-203、U-204 *又は*

XII 型 U-205、U-206、U-207、U-208

[35.3] 捕獲ボートの大規模作戦使用

[Greater Operational Use of Captured Boats]

戦争初年に 12 隻の潜水艦がドイツ軍によって捕獲されましたが、オランダの O-21 級ボート 2 隻のみが哨戒任務に送られました。残りは訓練目的に使用されました。この 3 つのオプションは、これらのボートを訓練部隊の乗組員規模相当のボートと交換するコストで送り出すことを認めます。ユニットは、増援リストで < > 内に列記されます。

[35.31] オランダが崩壊したとき、新型の O-21 級は未だ艤装中でした。英国へ脱出する可能性があった O-25、O-26、O-27 は自沈しました。ドイツ軍は 3 隻全てを引き揚げて UD-3、UD-4、UD-5 として就役させました。これらは哨戒任務を行った 2 隻を除いて、大部分が訓練に使用されました。このオプションについては、三番目のボートが使用可能となり、他の 2 隻は史実よりも完全な 1 年早く使用可能で、これら長い航続力を持つボートを二回目の幸福な時代に使用することを認めます。これらはドイツで受け取られます。これらのボートを交換するための決定は、WP2 の開始時（又はもしも後期キャンペーンをプレイしていると事前ゲーム）に行われなければなりません。

UD-3 41 年 10 月（U-374 を取り去る）

UD-4 42 年 2 月（U-357 を取り去る）

UD-5 41 年 8 月（U-83 を取り去る）

[35.32] フランスが崩壊したとき、新型のローロール級は未だ建造中か又は艤装中でした。3 隻が途中で捕獲され、1 隻が完成して訓

練に使用されました。その他も完成できたのですが、デーニッツは非標準型ボートが補給システムを複雑化させることを好みませんでした。これらのボートについての交換の決定は、WP2 の開始時（又はもしも後期キャンペーンをプレイしていると事前ゲーム）に行われなければなりません。これらは、フランスー大西洋で受け取られます。

UF-1 41 年 11 月 (U-133 を取り去る)

UF-2 42 年 4 月 (U-252 を取り去る)

UF-3 42 年 9 月 (U-221 を取り去る)

[35.33] 潜水艦 HMS シール [Seal] は、1940 年 5 月にカテガットで降伏し、その年の 11 月にクリークス・マリーネに就役しました。ドイツ軍はこの艦を時代遅れと見なし、訓練とプロパガンダのみに使用しました。彼女は大幅な改装後に作戦できたはずですが、機雷敷設艦でしたが、ドイツ軍機雷のために設計されていないので、戦力「2」の機雷原のみを敷設できます。もしも行われたら、彼女は 1943 年の開始時にプレイから永久に取り去られなければなりません。UB の交換についての決定は、WP2 の開始時（又はもしも後期キャンペーンをプレイしていると事前ゲーム）に行われなければならず、ドイツで受け取られます。

UB 41 年 5 月 (U-109 を取り去る)

[35.4] 戦争後期の U ボート [Late War U-Boats]

プレイヤーは、1943 年 4 月にドイツで自軍部隊に、技術革新と初期生産型の戦闘配備をあらわしている以下の U ボートの 1 隻を加えることができます。カウンター上の時期は、使用可能な歴史的時期です。

U-995 (VIC/41 型)

U-1061 (VIF 型)

U-1405 (XVIIIB 型)

U-2322 (XXIII 型)

U-2511 (XXI 型)

もしも初期生産型 U ボートが損傷したら、直ちにいかなる戦闘からも撤退して RTB 状態に入ります。かすり傷よりも大きな損傷を持って基地に帰還したら、プレイから取り去られて構造的な完全損失として扱われます（実験のため建造者に供されます）。

[36.0] 政争 [THE POLITICAL WAR]

ナチ・ドイツは、影響力の変更と忠誠のシフトが戦争の行方を決定し、官僚的なえこひいきが途方もない比率を占め、全てがヒムラーのゲシュタポの監視下にある政策的陰謀の場でした。その結果、重要な軍事的決定に取るに足らない競争の兆候すら現れ、しばしばドイツの戦争努力を阻害しました。全ての主要な指揮系統がこれらの陰謀に巻き込まれ、潜水艦部隊も例外ではありませんでした。鋼鉄の狼では、プレイヤー諸氏はその最終目的を達成するため、海上と帝国官庁ホール内の両方で闘わなければなりません。

[36.1] ルールの概要 [General Rule]

政争ゲームは、2 つの個別政策影響力の度合を使用してプレイされます。：「政策影響力ポイント [“Political Influence Points”]」と「栄誉ポイント [“Prestige Points”]」です。これらは、[36.51] に従って得点される勝利ポイント [31.03] の機能として受け取られます。

[36.11] 政策影響力は、マップ上の影響力記録欄 [Influence track] を使用して管理されます。BdU として行動しているプレイヤーは、常に海軍総司令部 (OKM)、国防軍最高司令部 (OKW)、空軍総司

令部 (OKL)、政策的最高統治機関 (Chancellery) に様々な量の影響力（-2 から +2 の範囲）を持つことになります。キャンペーンの指示に従って、OKM、OKW、OKL、最高統治機関について 4 枚のマーカーが政策記録欄に置かれます。

[36.12] 栄誉ポイントは、撃沈艦船/トン数記録欄の 1 桁のコラム上で栄誉 [Prestige] マーカーを使用して管理されます。プレイヤー諸氏は、決して 9 栄誉ポイントを超えて蓄積させることができません。栄誉マーカーは、キャンペーンの指示に従って置かれます。

[36.13] プレイヤーの居場所は、マップ上の居場所 [locations] 記録欄で BdU カウンターを使用して管理されます。戦争時期 1 中は、常にベルリン [Berlin] に置かれます。その後は、ベルリン又はケルネヴェル [Kerneval] 内のどちらかに置かれます（プレイヤーの選択）。ベルリン内にいるときは、BdU カウンターを政策的要求の目標になっているグループのボックス内に置きます。

[36.14] もしも政策ルールが使用されたら、魚雷改良フェイズは飛ばされ、政策的要求表を通して魚雷を改良できるときを判定しているときにのみこの表が使用されます。

[36.15] もしも政策ルールが使用されたら、マスター潜水艦増援リスト内に列記されたアイテムで{ }内は無視されます。

[36.2] プレイヤー諸氏は、政策的要求表から政策的要求を選択します。要求には、2 つのカテゴリがあります。：計画 [Planned] と対応 [Reaction] です。計画は、3 タイプの要求を含みます。：生産 [Production]、作戦 [Operational]、戦略 [Strategic] で、対応要求は、戦争イヴェント要件の打ち消しを試みます。

計画：生産要求は、生産施設、潜水艦の引渡し、潜水艦技術を向上させます。

計画：作戦的要求は、U ボート戦実施のため他の所属からの支援の獲得と貸与を含みます。

計画：戦略的要求は、作戦要因を拡大するための情報向上や政策同意の探求を開始します。

対応： 対応要求は、戦争イヴェントの要件について打ち消しを要求します。全ての戦争イヴェントが影響を受けるわけではありません。

[36.21] 計画要求（生産、作戦、戦略）は、戦争イヴェント・フェイズ中の月の開始時（のみ）の「政策フェイズ」中にのみ行うことができます。対応要求は、いずれかのターンの戦争イヴェント・フェイズ中に行うことができますが、一定のイヴェントが発生したときのみです。イヴェントは、要求についての目標グループが明らかにされるのと同様に、政策要求によって修正され得ると明示されます。計画要求と対応要求は、同時に行うことができます（ある月の第 1 週）。

[36.22] プレイヤー諸氏は、ある月中に 1 計画要求のみを行うことができ、しかもプレイヤーがそれを行うために十分な栄誉ポイントを持つ場合のみです。加えて、プレイヤーはある月中に 1 対応要求のみを行うことができます。

[36.23] 手順 [Procedure]

プレイヤーは、政策要求表から要求を選択します。表は要求の目標グループ (OKM、OKW、OKL、最高統治機関)（もしも戦争イヴェントによると、そのイヴェントでどのグループが目標グループ

かを指定します) と、要求の難易レベル (レベル 1 容易からレベル III 困難までの範囲) を示します。

いったん選択したら (されたら)、プレイヤーは直ちにその要求の難易レベルに相当する栄誉ポイントを消費します。

政策要求を解決するため、プレイヤーは政策結果表 (PRT) を調べます。RPT には二つのサイドがあります。: 左が目標/難易サイド、右が帝国最高統治機関サイドです。

POLITICAL RESULTS TABLE [36.23]										
DIFFICULTY LEVEL					PLAYER'S INFLUENCE WITH REICH CHANCELLERY					
					-2	-1	0	+1	+2	
PLAYER'S INFLUENCE WITH TARGETED GROUP	I	II	III		X	X	X	X	0	
				-2	X	X	0	0	0	
				-1	X	0	0	0	0	
				-2	X	0	0	1	1	
				-1	0	0	0	1	2	
				0	0	0	1	1	2	
				+1	0	0	1	2	3	
				+2	0	1	2	3	3	

プレイヤーは、要求の難易レベルと目標グループの現行政策影響力値を交差照合し、表の右の帝国最高統治機関部分内のラインを読みます。プレイヤーは難易/目標グループ部分から最高統治機関のその現行政策影響力と交差照合します。結果の数字は、プレイヤーが成果を達成するために振らなければならないサイの目以下の数です。「X」は、成果が達成できないのでサイ振りを行えないことを意味します (栄誉ポイントは消費されません)。「非成功」の結果は、サイ振りが行われた場合にのみ達成できます。

追加の政策支持 [Additional Political Favor]: プレイヤーは、要求が有利になる機会を向上させるため、追加の栄誉ポイントを消費できます。プレイヤー諸氏は、以下のごとく RPT 上のサイの目を修正するためにポイントを消費できます。:

栄誉ポイント DRM:

- 1 ポイント - 1 DRM
- 3 ポイント - 2 DRM
- 5 ポイント - 3 DRM

結果: 成功/非成功 [Results: Success / Not Successful]: もしもプレイヤーの要求結果が成功であると、要求表内に列記された効果が直ちに有効となります。ただし、要求が成功したか否かにかかわらず、常に政策的帰結があります。政策表の右の各要求は、表の政策帰結部分です。この表は 4 つの列を含み、OKM、OKW、OKL、最高統治機関です。各列内で、各要求について、カッコ内に一

連の数字が含まれ、最初の数字は要求が成功したら使用され、二番目は要求が非成功だったら使用されます。これらの数字は、その列によってあらわされたグループについての政策影響レベルの変更結果を示します。要求に含まれなかったグループも対応する可能性があります。帰結表 [consequencetable] 内に示された全てのグループについての変更は、直ちに適用されます。

例: 1940 年に、プレイヤーは飛行艇隊を BdU の作戦指揮に移管するために作戦的要求を行うことを望んでいます。彼の OKL への影響力は +1 で、最高統治機関は +2 です。彼は 8 栄誉ポイントを持ちます。

要求の難易レベルは (II) なので、直ちに栄誉マーカーが 8 から 6 へ落とされます。難易レベルは表の難易側同じコラム内の OKL の影響力 (+1) と交差照合されます。プレイヤーはそのラインに従って、表の最高統治機関部分の適切なコラム (+2) へ右に伸ばします。これは、2 の結果を生み出します。プレイヤーは、要求を成功させるために 0、1、2 を振らなければなりません。プレイヤーは、サイの目に -3 DRM を獲得するため、5 政策影響ポイントを消費することに決めます。プレイヤーは「4」を振り、要求は認められます。OKM の影響力は 1 だけ上昇し、OKL については 1 だけ下降し、栄誉マーカーは 6 から 1 へ低下します。OKW 又は最高統治機関レベルの変更はありません。プレイヤーは、望みいづれかの基地に Do-18 を置きます (Bv-138 は、未だ使用可能ではありません)。

[36.3] 最高統治機関の要求 [Chancellery Requests]

プレイヤーがその目標が最高統治機関である要求を行うとき、プレイヤーは BdU の最高機関の指導者たちへの影響力に対するドイツの最高指導者アドルフ・ヒトラーと事実上闘っています。このような要求は、表の両方の部分内にある最高統治機関の影響力を使用して解決されます。

[36.4] BdU の居場所 [Location of BdU]

政策とは、影響力と同様に接近のことです。接近は、BdU の居場所によって管理されます。戦争時期 1 では、BdU はベルリンにいますが、いったんフランスが崩壊して BdU が司令部をパリとケルネヴェル [Kerneval] へ移すと、BdU のケルネヴェルからの不在は U ボート作戦に影響します。BdU の HQ がケルネヴェルであると、いかなる要求にも最良の機会を保証するため、BdU は政策フェイズ中にベルリンへ移動して 1 ターン (一週間) そこに留まることができます。もしも BdU がベルリンにいないければ、PRT 上のいかなるサイ振りも要求の難易レベルに相当するプラス修正 (+1、+2、+3) を受け取ります。

[36.41] 対応要求の場合、プレイヤーは戦争イベントが発生する瞬間に要求を行うため、BdU をベルリンへ移すことを選択できます。

[36.42] BdU は、いずれかのターンの政策フェイズにケルネヴェルに移動して戻ることができます。

[36.43] ケルネヴェルからの BdU の不在は、U ボート作戦に影響します。もしも戦争時期 2~5 のいずれかの週中に BdU がベルリンにいないと、狼群は 1940 年にはボート 3 隻、1941 年にボート 6 隻、1942 にボート 9 隻に限定されます。1943 年中は制限がありません。加えて、BdU がベルリンにいない間は、隣接する作戦エリアから狼群への合流を試みることができるボートはありません。

[36.5] 政策影響力の得失 [Gain or Loss of Political Influence]

プレイヤーは、月の終了時と潜水艦戦闘中のいずれかのときに政策影響力を得失し得ます。

[36.51] 月の終了時―勝利ポイントの獲得**[End of the Month-Gain for Victory Points]**

月の第4週のターン完了フェイズ中 [16.1] に、その月に得点した合計勝利ポイントの半数（端数切捨て）に相当する政策ポイントを獲得します [31.03]。政策ポイントの獲得は、最高統治機関、OKM、OKW、OKL への政策影響力を増加できます。単一月の終了時に獲得されたいかなるポイントも、以下のごとく提供されなければなりません。：最初のポイントは OKM に与えなければならず、もしも二番目のポイントがあると最高統治機関に与えられ、いずれかの追加ポイントがあると、プレイヤーは望むとおりにそれらをいずれかに提供するか、又は榮譽のために2政策ポイントまで保持でき、そのポイント分だけマーカーを上昇させます。もしもプレイヤーがポイントを提供すると、4つ全てのグループがいかなるグループも二番目のポイントを与えられる前に1ポイントを与えられなければなりません（これはプレイヤーがあるターンに10勝利ポイントを得点した場合に発生し得ます）。+2を超えることができる影響力レベルはなく、榮譽ポイントは9を超えることができません。これらのレベルを超えて得点された政策ポイントは失われます。

[36.52] 月の終了―潜水艦喪失についての損失**[End of the Month-Loss for Submarine Lost]**

月の終了時にも、プレイヤーは前月中に失った潜水艦の数を基準に政策ポイントを失います。以下の表に従って月間の潜水艦喪失とこれらの政策ポイント損失の結果を管理するための個別マーカーがあります。：

海上の潜水艦喪失表 [Submarine Lost at Sea Table]	
喪失潜水艦数	OKM、最高統治機関、榮譽への影響
0～4隻	0
5～8隻	－1
9～11隻	－2
12～13隻	－3
14～15隻	－4
16隻以上	－5

政策ポイントの損失は、OKM、最高統治機関、榮譽から均等に行われます。例えば、プレイヤーが海上で11隻のボートを失うと、OKM の影響力、最高統治機関の影響力、プレイヤーの榮譽ポイントから各2が差し引かれます。

[36.53] 潜水艦戦闘中―勇敢な達成についての獲得**[During Submarine Combat – gain for Valorous Achievement]**

プレイヤーが高価値の海軍ユニットを撃沈した瞬間、以下の表に従って1以上の政策ポイントを獲得します。：

高価値海軍目標の撃沈 [Sinking a High Value naval Target]			
艦船タイプ	OKM	最高統治機関	その他
BB、BC、CV	+2	+1	CV 毎に OKL に +1
CA、CVE、AVG、ACV、CS、AM、AT、AP の撃沈毎に	+1	0	AT 又は AP 毎に OKW に +1

[36.6] 要求の詳細 [Requests in Detail]

この項目は、表よりも詳細に計画要求の影響を述べます。

[36.61] 生産要求 [Production Requests]**A. 基地施設の向上 [Improved base Facilities]**

この要求は、港湾施設強化のため資源と陸上部隊からの熟練者を獲得する要求です。2つのサイコロを振ることで判定された月数の後、U ボートの整備値を+1だけ向上させます。これは、非ドイツ軍潜水艦には影響しません。要求の成功は、一度のみ行うことができます（すなわち、整備値は+2の向上ができません）。

B. 基地施設向上の維持 [Retain Improved Base Facilities]

もしも基地施設の向上が先に認められていなければ、この要求は不可です。いったんロシア戦線が開始されると、OKW と OKH (Heer) はあらゆる場所から人員を探し求めました。もしもバルバロッサと戦争時期4との間にこの要求が行われて認められなければ、U ボートのための整備値は戦争時期4の開始時に元に戻ります。

C. 潜水艦建造の大増産 [Major Increase in Submarine Production]

この要求は、非常に多くの鉄鋼、燃料、その他の材料、人員を U ボート部隊の自由に委ねます。もしも認められたら、全ての U ボート（非ドイツ軍潜水艦ではありません）は、2つのサイコロを振って判定された数の月数後、通常の開始よりも2カ月早く受け取られます。[8.1] に従って遅延させない限り、未熟練のボートはそれでも未熟練です。要求の成功は一度のみ行うことができ、下記の (D) に蓄積できません。

D. 潜水艦建造の小増産 [Minor Increase in Submarine Production]

この要求は、より多くの鉄鋼、燃料、その他の材料、人員を U ボート部隊の自由に委ねます。もしも認められたら、全ての U ボート（非ドイツ軍潜水艦ではありません）は、2つのサイコロを振って判定された数の月数後、通常の開始よりも1カ月早く受け取られます。[8.1] に従って遅延させない限り、未熟練のボートはそれでも未熟練です。要求の成功は一度のみ行うことができ、上記の (C) に蓄積できません。

E. U ボート・レーダー・プログラムの加速**[Accelerate U-Boat Radar Program]**

この要求は、戦争時期4の開始前に行われなければなりません。要求の成功は、一度のみ行うことができます。もしも認められたら、小型レーダー装備の優先権が U ボートに与えられ、ドイツ軍 U ボートについてののみ、一次攻撃ラウンド [14.12] と二次攻撃ラウンド [14.4] 中に以下のルールが有効となります。：

- もしも1943年であると、U ボートはレーダーを装備し、戦闘イベント、精鋭護衛艦、航空機でない限り、いずれか1枚の連合軍ユニットを「裏返さない」ことができます。「裏返さない」ユニットの選択は、他のいかなるユニットも明らかにする前に、直ちに行われなければなりません。もしもあるユニットが「裏返されなければ」、その代わりに他のユニットを裏返さなければなりません。もしも他のユニットが裏返すために使用可能でなければ、ユニットは「裏返さない」ことができません。

- 一次攻撃ラウンドで裏返された連合軍ユニットは、二次攻撃ラウンドで「裏返さない」ことができません。

F. U タンカー・プログラムの加速 [Accelerate the U-Tanker Program]

この要求は、戦争時期4の開始前に行われなければなりません。もしも認められたら、UA（沈没していなければ）は直ちに大西洋

整備へ移されます。プレイヤーはサイを1つ振って1を加え、UAをその数の月数後にUタンカーとして戻します(もしも未だに発生していなければ、UAの通常の整備期間は無視されます)。プレイヤーは、追加のサイを1つ振ります。これは、各 XIV 型 U タンカーが受け取られる早期の月数です。要求の成功は、一度のみ行うことができます。

G. 魚雷欠陥の矯正 [Correct Torpedo Failures]

この要求は、適切なレベル以降の魚雷改良表によって認められるときにのみ行うことができます。1943 年(のみ)にもしも現行魚雷レベルが+1であると+2レベルに持ってくるためにも行うことができます。この要求は、これらの限度内で、何度でも行うことができます。もしも認められたら、魚雷改良フェイズに現行魚雷値が1スペース右に移されます。

例: プレイヤーは、いったん 80 隻の艦船を沈めたら魚雷値の 0 へ、いったん 1,160 隻の艦船が沈没したら+1へ、1943 年に現行レベルが+1であると+2へ上昇を試みることができます。

[36.62] 作戦的要求 [Operational Requests]

A. 飛行艇隊の移管 [Transfer Flying Boat Gruppe]

この要求は、Do-18 又は BV-138 の集団を BdU の作戦指揮下へ移管させます。航空機ユニットは、もしもカウンター上の戦争時期によって使用可能である場合にのみ要求できます。もしも受け取ったら、望むいずれかの基地に置くことができ、続くターンに索敵の支援を開始します。もしも下記の要求 B が認められなければ、WP2 と WO4 の終了時に集団が取り去られることに注意してください。

B. 飛行艇隊の維持 [Retain Flying Boat Gruppe]

ルフトヴァッフェは、これら部隊の作戦指揮権の回復を継続的に試み、又は OKM はこれらを奪おうと試みます。この要求は、戦争時期 1 に受け取られる Do-18 を維持するため、戦争時期 2 の終了前に認められなければなりません。もしも成功したら、航空機は戦争時期 2 の終了時に取り去られますが、上記 (A) に従って別の要求が行われたら再び受け取ることができます。Do-18 は、WP3 の終了時にいかなることがあっても永久に取り去られます(前線からの撤退)。この要求は、BV-138 を WP5 に維持するため、WP4 の終了前に同様に認められなければなりません。

C. 長距離偵察飛行隊の移管

[Transfer Long Range Reconnaissance Gruppe]

この要求は、Fw-200 飛行隊を BdU の作戦指揮下に移管します。航空ユニットは、もしもカウンター上の戦争時期によって使用可能である場合にのみ要求できます。もしも受け取ったら、望むいずれかの基地に置くことができ、続くターンに索敵の支援を開始します。もしも下記の要求 D が認められなければ、WP3 と WO4 の終了時に飛行隊が取り去られることに注意してください。

D. 長距離偵察飛行隊の維持

[Retain Long Range Reconnaissance Gruppe]

この要求は、戦争時期 2 に受け取られる Fw-200 を WP4 に維持するため、WP3 の終了前に認められなければなりません。加えて、WP5 へ維持するために、WP4 の終了前にイン・プレイの各 Fw-200 について要求が認められなければなりません。

E. 補助襲撃艦からの再補給 [Refuel from Auxiliary Raider]

この要求は、プレイヤーが1週間(のみ)についてマップ上に HSK long カウンターを置くことを認めます。戦争時期 1~3 に、いずれかの作戦エリア内に置くことができます。戦争時期 4~5 には、南大西洋/インド洋ディスプレイ上にのみ置くことができます。潜水艦は、[21.32] に従って HSK から再補給できます。もしも HSK が [21.32.B] に従って失われたら、OKM の影響力は1だけ落ちます。HSK は、ターン完了フェイズに取り去られます。

[36.63] 戦略的要求 [Strategic Requests]

A. 情報能力の向上 [Improve Intelligence Capabilities]

この要求は、B 機関の暗号解読を向上させ、現行ターンのターン完了フェイズに B 機関レベル [7.2] を+1だけ上昇させます。

B. 情報失敗の調査 [Investigate Intelligence Failures]

この要求は、エニグマ [7.3] の保全に関する制度上のひとよりよがりを開くために調査します。もしも成功したら、現行ターンのターン完了フェイズにレベルを+1だけ上昇させます。戦争時期 2 と 3 に、もしも現行エニグマ・レベルが0以下である場合にのみ要求できます。戦争時期 4 と 5 には、4 回転子エニグマが用いられていない限り、もしも現行エニグマ・レベルが-1以下である場合にのみ要求できます。

C. 4 回転子エニグマへの向上 [Improve to 4-Rotor Enigma]

この要求は作戦的な保全を大幅に向上させ、現行ターンのターン完了フェイズにエニグマ・レベルを+1だけ上昇させます。地中海と北極海の司令部は、[7.31] に従って3回転子エニグマの使用を継続しています。この要求は、WP4 以後にのみ行うことができ、一度のみ認められ得ます。

D. 他の司令部への4回転子エニグマへの移行要求

[Require Other Commands to go to 4-Rotor Enigma]

もしも認められたら、この要求は北極海と地中海の潜水艦司令部が4回転子エニグマの使用開始を要請します。もしも上記 (C) が認められている場合にのみ行うことができます。現行ターンのターン完了フェイズに、これらの部隊のエニグマ・レベルはもはや大西洋潜水艦についてのそれらより1少なくありません。

E. フィンランド軍潜水艦を BdU の作戦指揮下に置く交渉

[Negotiate Finnish Submarines under BdU OpCon]

この要求は、バルバロッサが発生していたら一度のみ行うことができます。もしも認められたら、外務省はフィンランド軍の3隻のヴェテヒネン級潜水艦を BdU の作戦指揮下に置くよう説得します。これらは直ちにドイツの修理3ボックスに置かれます(改装とオーバーホールのため)。これら3隻の潜水艦は、北極海戦域に付属させることができ、3隻までのVII型Uボートを解放します。

F. スペインに参戦交渉 [Negotiate Spanish Entry into the War]

この要求は、WP1 中又はいったんバルバロッサが発生したら行うことができません。もしも認められたら、ベルリンはフランシスコ・フランコ総統の参戦についての法外な要求に同意します。以下が発生します。:

- ・「抑留された」ドイツ軍補給艦 [21.31] は取り去られます。
- ・プレイヤーは、直ちに未だ受け取られておらず 41 年 12 月よりも遅い登場時期を持たない「4」の攻撃値を持つ1隻のVIIC型を選択しなければなりません。この潜水艦は受け取られません。代わりに、元のUボートよりも二ヵ月後に潜水艦基地ドイツにスペイン軍潜水艦 G-7 が受け取られます。歴史的には、G-7 は地中海で損傷した U-573 です。彼女は、足を引きずりながらカルタヘナに到着して抑留されました。いまだ再建途中にあるスペイン艦隊に売却され、1942 年 8 月に就役しましたが、1947 年になるまで修理されませんでした。カウンター上の時期は、就役した歴史的時期です。
- ・エル・フェロル [El Ferrol]、カディス [Cadiz]、カルタヘナ [Cartagena] は、潜水艦基地として開設されます。マップ上のツーロン [Toulon] の位置がカルタヘナについての RTB と出港の目的のために使用されます。
- ・カナリア諸島 [The Canary Islands] は、前進基地として開設されます。
- ・2隻のC級と2隻のアルキメデ級潜水艦が、いずれかのスペイン軍基地に受け取られます。スペイン軍潜水艦は、スペイン軍基地にのみ RTB できます。スペイン軍の魚雷値は、ドイツ軍と同じです。
- ・ジブラルタル [Gibraltar] についての移送ゾーン修正は1だけ減

少し、モロッコと西地中海の作戦エリアはもはや連合軍の航空支援を持ちませんが、ジブラルタルは持ちます。(例外：もしもドイツが (G) に従ってフランス艦隊を押収したら、西地中海は連合軍の航空支援を維持します)。

- ・4隻までの非スペイン軍潜水艦は、いつでもスペイン軍基地にすることができます。もしも一杯であると、非スペイン軍潜水艦は他の基地へRTBしなければなりません。
- ・ドイツ軍航空機は、スペイン軍基地を使用できます。
- ・トーチ [Torch]：トーチ作戦のイベントが発生するとき、サイを1つ振ります。結果が1～3であると、代わりにアメリカ軍がスペイン南西部に上陸します(下記 (G) に従ってドイツ軍がフランス艦隊を押収したら、自動的にスペイン南西部)。指定されたごとくイベントを実施し、カサブランカ [Casablanca] をカディス [Cadix] に置き換え、後者を SMZ として扱います。戦争進捗フェイズに、基地としてのカディスは失われます。そこで損傷状態の潜水艦は自沈しますが、喪失としてはカウントしません。ジブラルタルについてのマップ上移送ゾーン修正は回復します。
- ・戦争イベント・フェイズ中、スペインの戦争イベント表について追加のサイ振りが行われ、標準の戦争イベントにプラスして、同じターンに下記のイベントの1つを持つ可能性があります。

スペインの戦争イベント表 [Spanish War Events Table]	
サイの目	イベント
0～1	フェリックス作戦 [Operation Felix] このイベントは、もしもトーチが発生していたら N/A。ドイツ軍部隊がジブラルタルを強襲し、要塞を無力化する。移送ゾーン修正は、ゼロへ減少する ([20.8] に従って、標準の+2修正は、未だに使用される)。一度のみのイベント。
2～8	イベントなし
9	プーマ作戦 [Operation Puma] 連合軍がカナリア諸島に侵攻する。カディスとカナリア諸島にある全ての非損傷状態のスペイン軍潜水艦は、哨戒面を上にしてカナリア諸島 SMZ 内に置かれなければならない(最高統治機関が命じたイベント)。「危機的攻撃 [“Risky Attacks”]」又は「トーチ作戦 [“Operation Torch”]」が同じターンに発生しない限り、モロッコ作戦エリア内の各 U ボートも、対応することを要求される。同じターンに発生した場合は、「危機的攻撃 [“Risky Attacks”]」又は「トーチ作戦 [“Operation Torch”]」が優先される。この週についてのみ、カナリア諸島のいかなる接触遭遇も、代わりに続くサイの目 0～4 で任務部隊又はサイの目 5～7 で特別船団である。WP2～3 の国籍はイギリス軍で、WP4～5 はアメリカ軍である。狼群攻撃を行うことはできないが、二次攻撃を行うことができる。戦争進捗フェイズに、カナリア諸島が占領されて前進基地は失われる。モロッコは、AAC に従って連合軍の上空航空支援が回復する。一度のみのイベント。

G. フランス艦隊の押収 [Seize the French Fleet]

英国に対してフランス艦隊を使用するため、これを接収する誘惑がドイツに生じます。潜水艦隊を獲得するために短い期間が与えられる一方、全ての海外フランス領土と海軍部隊は自由フランスの下で闘いを継続する結果になります。この要求は、1940 年の 6 月と 7

月のみ行うことができます。もしも認められたら、1940 年 8 月に以下が発生します。:

- ・ツーロン [Toulon] は、ドイツ軍基地として開設されます。
- ・以下の各フランス軍潜水艦についてサイ振りが行われます。0～3 の結果で、潜水艦は港湾を脱出するか又はフランス軍によって永久に自沈します。4～9 の結果で、潜水艦は捕獲されるか又は自沈後にドイツ軍によって修理可能です。サイ振りは、損傷表上で潜水艦について+1 修正で行われ、潜水艦はツーロンの適切なボックス内に置かれます。:

スーフルール [Soffleur]、カイマン [Caiman]、ルカン [Requin]、マルスーアン [Marsouin]、サフィール [Saphir]、デュルコワーズ [Turquoise]、ノーティルス [Nautilus]、ディアマン [Diamant]、ペレル [Perle]、パスカル [Pascal]、ルドゥータブル [Redoutable]、ル・トナン [Le Tonnant]、ヴァンジュール [Vengeur]、フレネル [Fresnel]、ポアンカレ [Poincaré]、シディ・フェリュック [Sdi Ferruch]、コンケラン [Conquérant]、アーゴ [Argo]、ル・センツール [Le Centaure]、モンゴ [Mongel]、ペガス [Pégase]、パラス [Pallas]、ヴェニス [Vénus]、スレス [Cérés]、イリス [Iris]、シレン [Sirène]、アーゴノート [Argonaute]、アレティース [Aréthuse]、アトロンタ [Atalante]、ディヤヌ [Diane]、ラ・プシケ [La Psyché]、オレアド [Oréade]、ラ・スユルトン [La Sultane]、ラ・ヴェスタル [La Vestal]、ナヤド [Naiade]、レスポアル [L'Espoir]、ローロール [L'Aurore]

- ・フランス軍潜水艦は、全ての目的においてドイツ軍 U ボートとして扱われ、魚雷値はドイツ軍のレヴェルです。イベント「訓練部隊への移管」の各発生について、1 隻の捕獲フランス軍潜水艦を撤退させることができます。
- ・フランス製の UF-1、UF-2、UF-3 ([35.32] を参照) は、カウンター上に与えられた時期よりも 1 年早くフランス大西洋に受け取ることができます。それでも 3 隻の VII 型をこれらと交換しなければなりません。
- ・全ての 600 トン型潜水艦は、WP 2 の終了時に訓練のために撤退します。
- ・全ての 630 トン型潜水艦は、WP 3 の終了時に訓練のために撤退します。
- ・全てのルカン [Requin] 級潜水艦は、WP 4 の終了時に訓練のために撤退します。
- ・サフィール [Saphir] 級潜水艦は、戦力 2 の機雷原を敷設できます。他の全ては戦力 1 の機雷原のみを敷設できます。
- ・海外領土のフランス部隊と同様に脱出したフランス軍ユニットは、連合軍に移ります。フランス軍ユニットは、直ちにそして永久に以下のごとく各戦争時期にカップへ加えられます(すでに要求されたユニットに加えて)。

潜水艦：ドイツ軍によって奪われていない 1500 トン型。イタリック体と見なされません。自由フランス軍潜水艦は通常に加えられ、イタリック体とは見なされないシュルクーフ [Surcouf] を除きます。

イギリス軍任務部隊：CV ベアレン [Béarn]、BB ストラスブール [Strasbourg] (ダンケルク [Dunkerque] によって代替可能)、CA シュフラン [Suffren]、CL ラ・ガリソニエール [La Galissonnière]

イギリス軍艦隊護衛艦：CS コマンダン・テスト [Commandant Teste]、CL ジャンヌ・ダルク [Jeanne d'Arc]、DD エーグル [Aigle]、DD ル・ファンタスク [Le Fantasque]

中央カップ：自由フランス軍 DD シャカル [Chacal]

内縁カップ：DD ラドロア [L'Audroit] 6-1/2 (WP3～5 に 6-1)

外縁カップ：自由フランス軍 CT フラワー [Flower] 6-1 (WP5 に 6-3)

西方内縁カップ WP3～5：DD ブーラスク [Bourrasque] 6-1

西方外縁カップ WP3～5：DD ゲパール [Guépard]

米軍任務部隊カップ (WP4～5)：BB リシュリュール [Richelieu]、

CA アルジェリー [Algérie]、CA デュケーヌ [Duquesne]、CL エミール・ベルタン [Emile Bertin]、CL デュゲイ・トルーアン [Duguay-Trouin]

米軍艦隊護衛艦カップ (WP4~5) : DD ヴォークラン [Vauquelin]、DD シャカル [Chacal]

- ・プレイヤーは、押収されたいずれかの 1500 トン型潜水艦を、望むのであればシュルクーフ [Surcouf] (ブレストを出港できなかったと仮定して) と置き換えることができます。シュルクーフは、フランスー大西洋に受け取られ (損傷状態)、連合軍の潜水艦カップ内に置かれません。

H. ヴィシー・フランスに参戦交渉

[Negotiate Vichy French Entry into War]

メー・エル・ケビールに続いて、ベルリンはヴィシー政権が枢軸陣営で参戦するため、過酷な休戦条約条項の破棄と軽減を認めます。この要求は、1940 年 8 月からバルバロッサが発生するまでに一度のみ行うことができ、もしもフランス艦隊が上記 (G) にしたがって押収されたら全く行うことができません。もしも認められたら、以下が有効です。:

- ・フランスは、BdU の裁量で限定された数の潜水艦を置くことができます。下記の各潜水艦についてサイを 1 つ振ります。0 ~ 2 の結果で、プレイヤーは指定された基地の点検完了 [Work Up] ボックスにそれを受け取ります。3 ~ 9 の結果で、潜水艦は防衛目的でフランス軍が保持します。

潜水艦基地ツーロン [Submarine Base Toulon]

スーフルール [Soffleur]、カイマン [Caiman]、ルカン [Requin]、マルスーアン [Marsouin]、サフィール [Saphir]、デュルコワーズ [Turquoise]、ノーティルス [Nautilus]、ディアマン [Diamant]、ペルル [Perle]、パスカル [Pascal]、ルドゥータブル [Redoutable]、ル・トナン [Le Tonnant]、ヴァンジュール [Vengeur]、フレネル [Fresnel]、ポアンカレ [Poincaré]、シディ・フェリュック [Sdi Ferruch]、コンケラン [Conquérant]、アールゴ [Argo]、ル・セントール [Le Centaure]、モンゲ [Monge]、パラス [Pallas]、ヴェニス [Vénus]、スレス [Cérès]、イリス [Iris]、シレン [Sirène]、アールゴノート [Argonote]、アレティース [Aréthuse]、アトロンタ [Atalante]、ディヤヌ [Diane]、ラ・プシケ [La Psyché]、オレアド [Oréade]

潜水艦基地ベイルート [Submarine Base Beirut]

アシェロン [Achéron]、アクテオン [Actéon]、エスパドン [Espadon]、フォック [Phoque]、ドーファン [Dauphin]

潜水艦基地カサブランカ [Submarine Base Casablanca]

アルシメード [Archimède]、ベヴジェ [Béveziers]、カサビアンカ [Casabianca]、スファックス [Sfax]、ペルセ [Persée]、ボンズレ [Poncellet]、アジャックス [Ajax]、ラ・シビーユ [La Sybille]、アンティオーブ [Antiope]、アマゾン [Amazone]、オーフィ [Orphée]、メデューズ [Méduse]、アンフィトライト [Amphitrite]

潜水艦基地ダカール [Submarine Base Dakar]

ル・グロリュエ [Le Glorieux]、ル・エロ [Le Héros]

潜水艦基地ディエゴ・スアレス [Diégo Suárez]

ペガス [Pégase]

- ・戦争要素内には、フランス商船又は自由フランス軍護衛艦を入れません。これらは、イギリス軍ユニットによって置き換えられます。
- ・自由フランス軍潜水艦は、潜水艦カップ内に入れません (イギリス軍は、彼らを信用していません)。
- ・ケープ・ヴェルデ [Cape Verde] と西アフリカ [West Africa] は、潜水艦アイコンを持つと見なされ (イギリス軍は、ヴィシーの脅威に直面してその範囲の拡張を強いられます)、それ故潜水

艦対潜水艦の接触の資格を持ちます。

- ・東又は西地中海内に位置するいかなる護送船団も、代わりに続く 0 ~ 1 のサイの目でイギリス軍特別護送船団に、続くサイの目 2 で任務部隊です。
- ・ビゼルト航空機は、ツーロン又はカサブランカで使用可能です。[7.56] を参照してください。
- ・フランス軍の魚雷値は戦争時期 3 になるまで - 1 で、この時点で 0 に上昇します。1942 年 2 月に、+ 1 へ上昇します。
- ・移送移動フェイズの開始時に、カリブ海又はギアナの作戦エリア内にある非損傷状態のフランス軍 RTB 潜水艦は、カリブ海フランス領から燃料再補給と食料再支給を試みることができます。備忘のため、いずれかのフランス商船を小アンティル諸島 [Lesser Antilles] SMZ 内に置きます。プレイヤーは、潜水艦について修正なしで耐久度チェックを行います。もしも潜水艦がパスしたら、RTB マーカーは潜水艦から取り去られ、適切な作戦エリアの「行動済 [Done]」セクション内に哨戒面を上に向けて置かれます。もしも試みが失敗したら、潜水艦は基地へ向けて通常に RTB 移動を実施しなければなりません。ヴィシー・プレイヤーは、週毎に一度のみこのような試みを行うことができます。フランス軍潜水艦は、スペイン港湾 [21.31] 内で補給を試みることができますが、上記 (F) に従ってスペインが参戦している場合にのみスペインの基地を利用可能です。
- ・非フランス軍潜水艦は、1 つのフランス軍基地からのみ作戦できます。プレイヤーは、ベイルート、カサブランカ、ダカール、ディエゴ・スアレスを選択します。SMZ 内に潜水母艦ヴィルヘルム・バウアー [Wilhelm Bauer] を置きます。いかなるときでも、6 隻までの非フランス軍潜水艦を基地に置くことができますが、もしも損傷状態であるとフランスの修理施設を利用できます。
- ・ドイツ軍航空機は、カサブランカから作戦できます。フランス軍航空機は、ディエゴ・スアレス以外の基地から作戦できます。
- ・全ての 600 トン型潜水艦は、WP2 の終了時に撤退します。
- ・全ての 630 トン型潜水艦は、WP3 の終了時に撤退します。
- ・全てのルカン [Requin] 級潜水艦は、WP4 の終了時に撤退します。
- ・サフィール [Saphir] 級潜水艦は、戦力 2 の機雷原を敷設できます。他の全ては戦力 1 の機雷原のみを敷設できます。
- ・トーチ作戦の戦争イベントが発生したとき、カサブランカの全ての非損傷状態潜水艦は、哨戒面を上にして SMZ 内に置かれます。戦争進捗フェイズ中、フランスは枢軸国の共戦国から撤退します。全てのフランス軍基地は閉鎖され、全てのフランス軍ユニットが取り去られます。これは、たとえ連合軍が代わりにスペインに侵攻しても発生します (上記 (F) を参照)。
- ・戦争イベント・フェイズ中、ヴィシー戦争イベント表について追加のサイ振りが行われ、標準の戦争イベントにプラスして、同じターンに下記のイベントの 1 つを持つ可能性があります。:

ヴィシーの戦争イベント表 [Vichy War Events Table]
WP4 ~ 5 に + 1 DRM を適用する

サイの目	イベント
0	通商破壊戦 [Raid de Commerce] フランス軍巡洋艦が連合国の通商破壊に出撃する。南西方近接海域、モロッコ、ケープ・ヴェルデ、西アフリカの作戦エリアで全ての索敵 & 接触のサイ振りに - 1 を適用する。これらのエリア内で遭遇したいかなる護送船団も、続く 0 ~ 5 のサイの目で任務部隊である。
1	連合軍のダカール攻撃 [Allies Attack Dakar] ダカールの全ての非損傷状態潜水艦は、哨戒面を上に向けてダカール SMZ 内に置かれなければならない。ケープ・ヴェルデ作戦エリア内の全て

	の U ボートも、OKM 指定イベントのごとくダカール SMZ 内に置かれなければならない (もしも同時に「救助任務」イベントが発生したら、罰則なしでそれを無視できる)。ダカール SMZ 内のいかなる接触遭遇も、代わりに続く 0～7 のサイの目でイギリス軍任務部隊又は 8～9 の目でイギリス軍特別護送船団である。戦争進捗フェイズにサイを 1 つ振る。0～4 の結果は、基地が占領されたことを示す。港内の損傷状態潜水艦は自沈するが、喪失としてカウントしない。戦争時期 4～5 に、ケープ・ヴェルデは軽航空上空支援を受ける。もしもダカールが占領されなければ、このイベントは再発し得る。WP4～5 の攻撃部隊は、アメリカ軍である。
2～3	モンロー主義 [Monroe Doctrine] ルーズベルト大統領が、グアデロープとマルティニクの占領を命じる。小アンティル諸島 SMZ 内のいかなる護送船団の遭遇も、アメリカ軍任務部隊である (WP3 を使用)。SMZ 内のいかなる潜水艦遭遇もアメリカ軍 S1 である。WP4～5 でない限り、アメリカ艦船の沈没は勝利条件に対してカウントしない。戦争進捗フェイズに、SMZ からフランス商船を取り去る。潜水艦は、いまや小アンティル諸島内で再補給できない。一度のみのイベント。
4～7	イベントなし
8	ダルラン提督が機雷敷設を指示する [Admiral Darlan directs minelaying] 1 隻のサフィール級潜水艦が、以下の SMZ 内に機雷を敷設しなければならない (サイの目によって判定) : 0～1 アイルランド [Ireland] 2～4 エジプト [Egypt] (レヴァント [Levant] SMZ を使用する) 5～6 ジブラルタル [Gibraltar] 7～8 フリータウン [Freetown] 9 ケープタウン [Cape Town] もしもサフィール級が「2」機雷マーカーで出港するために直ちに使用可能でなければ、その他の潜水艦を対応させなければならない。
9	エクスポート作戦 [Operation Exporter] 連合軍部隊がシリアーレバノンに侵攻し、ベイルートを占領する。潜水艦基地は、ターン終了フェイズに閉鎖される。損傷状態の潜水艦は自沈するが、喪失としてカウントしない。
10	アイアンクラッド作戦 [Operation Ironclad] 連合軍部隊がマダガスカルに侵攻する。マダガスカル [Madagascar] 作戦エリア内の潜水艦とディエゴ・スアレス港内の非損傷状態潜水艦はディエゴ・スアレス SMZ へ移動させなければならない。いかなる遭遇も、0～4 のサイの目でイギリス軍任務部隊又は 5～9 のサイの目でイギリス軍特別護送船団である。戦争進捗フェイズに、基地は占領される。港内の損傷状態潜水艦は自沈するが、喪失としてカウントしない。一度のみのイベント。

I. WP 3 の前にグランド・バンクスで作戦**[Operate on the Grand Banks prior to WP3]**

もしも認められたら、潜水艦はこの作戦エリア内に進入して作戦できます。

J. WP 4 の前にマラタイムズで作戦**[Operate in the Maritimes prior to WP4]**

もしも認められたら、潜水艦はこの作戦エリア内に進入して作戦できます。いったんマラタイムズ水域内で最初の艦船が沈没したら、サイを 1 つ振り 2 で割って端数を切り上げて 1 を加えます。それは、マラタイムズ沿岸が灯火管制 [30.25] するまでのカ月数です。

K. WP 4 の前にカリブ海と南米水域で作戦**[Operate in the Caribbean and South American waters prior to WP4]**

もしも認められたら、潜水艦はこれら 4 つの作戦エリア内に進入して作戦できますが、US 運河ゾーン SMZ は不可です。

L. WP 4 の前に全西方水域で作戦**[Operate in all Western Waters prior to WP4]**

この要求は、「汎アメリカ防衛」戦争イベントが発生するまで行うことができません。もしも認められたら、潜水艦は全西方水域の作戦エリア内で作戦できますが、米国東海岸線 [US Eastern Seaboard]、フロリダ [Florida]、米国運河ゾーン [US Canal Zone] の SMZ は不可です。いったん最初の艦船が米国東海岸 [US East Coast] 又はメキシコ湾 [Gulf of Mexico] の沖で沈没したら、合衆国は参戦しませんが、ルーズベルト大統領は交戦の USN 規則を拡大します。以下を実施します。:

- ・上記 (J) の要求がすでに認められていない限り、サイを 1 つ振り 2 で割って端数を切り上げて 1 を加えます。それは、マラタイムズ沿岸が灯火管制 [30.25] するまでのカ月数です。
- ・続くターンに、アメリカは中立なのか? [American Neutrality?] 戦争イベントが自動的に発生します。それが発生するとき、米国東海岸とメキシコ湾は軽航空上空支援を持ちます。もしもこれら 2 つの作戦エリア内でディグビー [Digby] が明らかにされたら、USAAF B-25 と置き換えます。これと USN PBY は、[14.2.A.1] のごとく潜水艦に対する攻撃制限を持ちません。

[30.23] の制限は、いまだに有効です。

M. 戦争時期 4 の前にアメリカ軍ユニットを目標にする**[Target American units prior to War Period 4]**

もしも認められたら、[30.23] の制限は落とされます。

[36.64] 対応要求 [Reaction Requests]

戦争イベント表は、しばしばプレイヤーに一定の活動を行わせることを要求します。BdU として、プレイヤーは作戦的テンポに影響を与えぬよう、これら要件の無効化を試みることができます。この表は、対応要求の目標であるイベント名称後のカッコ内で列記されます。イベントは、要求表上に列記されたものを超えて変化する影響も列記し得ます。カッコ内に列記された目標なしのイベントは、無効にできません。戦争イベントの要件無効化は、プレイヤーが制御するイベント以外の他の様相を無効にしません。

例: プレイヤーは、ダンケルク戦争イベントの要件を打ち消すことを望んでいます。もしも OKM が要求を認めたら、プレイヤーはイギリス海峡へ 3 隻の U ボートを送る必要があります。それでも、オランダ軍潜水艦 O-14 が潜水艦カップに加えられ、フランス軍 BB リシュリュー [Richelieu] がフランス軍 TF カップに加えられる。この週のフランス軍任務部隊に遭遇する条件もやはり有効です。

A. BdU の要求 [BdU Request]

これらは、デーニッツが自らの考えで行った行動です。BdU としてのプレイヤーは、BdU イベントを実施しないことを決断できます。この「要求」は常に成功し、サイを振る必要はありません。た

だし、1 榮譽ポイントを消費しなければならず、要求表に従って影響力が低下します。

B. OKM の要求 [OKM Request]

もしもプレイヤーが認められたら、OKM イベントの要件を満たす必要はありません。

C. 最高統治機関の要求 [Chancellery Request]

もしもプレイヤーが認められたら、最高統治機関イベントの要件を満たす必要はありません。

D. 訓練部隊への移管イベントの無効化

[Cancel Relegation to Training Event]

もしも認められたら、指定された U ボートは訓練へ撤退する必要がありません。続くターンに以下を開始します。:

- ・プレイヤーは、新たに受け取られる各 U ボートについてサイを 1 つ振ります。もしも結果がゼロ (0) であると、その潜水艦は未熟練乗組員 [8.1] レベル 1 を受け取ります。もしもすでに U ボートが未熟練乗組員を持つと、いまやレベル 2 です。
- ・プレイヤーがこのイベントを無効化する各追加の回について、上記のサイの目に -1 drm が適用されます。
- ・上記のサイ振りを行うための要件を元に戻すには、プレイヤーは無効化されたイベント内に列記された数の U ボートにプラスして II 型ではない追加 1 隻の U ボートを任意に撤退させなければなりません。
- ・訓練部隊への移管イベントの無効化は、他のイベント (例えばヴェーゼル演習) 又は新たな戦争時期の開始に発生する撤退を無効にしません。

Steel Wolves Credits

Design : **Brian J. Miller and Stephen C. Jackson**

Artwork : **Brien J. Miller**

playtesting : **Doug DeMoss, David Firestine, John Heim, Adam Hickey, Chris Milne, Dean Moon, Tony Morgan, Matthew Perez, David Schueler**

Proofing : **Uli Blennemann, William Broadhurst, Randall Dreger, Edgar Gallego, Noel Haubry, Paul Heald, Craig Holt, Chris Janiec, Hans Korting, Jeff Petraska, Chris Schall, Gunther Schmidl**

Produced by : **Ken Dingley & Bill Thomas for Compass Games**

Playtest VASSAL Module : **Joel Toppen**

Traslation and Contributions : **Uli Blennemann, Noël Haubry**

政策要求表 [Political Request Table [36.6]]

影響力の変更 (成功/失敗) 政策帰結表

難 易	要 求	影 響	目 標	OKM	OKW	OKL	最高
生産要求							
III	基地施設の向上	サイを2つ振り、これが U ボートの整備値が+1 だけ上昇するまでのカ月数。	OKW	(+1/0)	(-3/-1)	(-1/0)	(0/-1)
II	基地施設向上の維持	WP4 と WP5。整備値は+1 で留まる。	OKW	(+1/0)	(-2/0)	(-1/0)	(0/-1)
III	潜水艦建造の大増産	サイを2つ振り、これが2 カ月前進するまでのカ月数。	OKW	(-2/-1)	(-2/-1)	(-1/-1)	(-1/0)
II	潜水艦建造の小増産	サイを2つ振り、これが1 カ月前進するまでのカ月数。	OKW	(-1/0)	(-1/0)	(-1/0)	(+1/-1)
III	U ボート・レーダー・プログラムの加速	1943 年から開始して U ボートはレーダーを装備 [36.61.E]	OKL	(-1/0)	(-1/0)	(-1/0)	(0/0)
II	U タンカー・プログラムの加速	改装のため UA を改装し、U タンカーの早期到着のためにサイコロを振る。	OKM	(-1/-1)	(0/0)	(0/0)	(0/0)
II	魚雷欠陥の矯正	魚雷レベルを+1 だけ上昇させる。	OKM	(0/-1)	(0/0)	(0/0)	(0/0)
作戦的要求							
II	飛行艇隊の移管	DO-18 又は BV-138 隊の獲得	OKL	(+1/0)	(0/0)	(-1/0)	(0/0)
I	飛行艇隊の維持	使用可能な 1 Do-18 又は BV-138 隊を維持	OKL	(+1/0)	(0/0)	(-1/0)	(0/0)
III	長距離偵察飛行隊の移管	1 Fw-200 隊の獲得	OKL	(+2/0)	(-1/0)	(-2/0)	(0/0)
II	長距離偵察飛行隊の維持	使用可能な 1 Fw-200 隊を維持	OKL	(+1/0)	(-1/0)	(-1/0)	(0/0)
I	補助襲撃艦からの再補給	現行週のみ、HSK 水上襲撃艦を作戦エリア内に置く。	OKM	(-1/0)	(0/0)	(0/0)	(0/0)
戦略的要求							
III	情報能力の向上	B 機関を+1 だけ上昇させる。	最高統治	(+1/0)	(+1/0)	(+1/0)	(-1/0)
III	情報失敗の調査	エニグマを+1 だけ上昇させる。	最高統治	(-1/0)	(+1/0)	(+1/0)	(-2/0)
III	4 回転子エニグマへの向上	成功したら、サイを1つ振る。：これは3 回転子が4 回転子になるまでの月数。	最高統治	(+1/0)	(+1/0)	(+1/0)	(-1/0)
II	他の司令部への4 回転子エニグマへの移行要求	成功したら、サイを1つ振る。：これは3 回転子が4 回転子になるまでの月数。	OKM	(+1/0)	(+1/0)	(+1/0)	(-1/0)
II	ベルリンがフィンランド軍潜水艦を BdU の作戦指揮下に置くことを交渉	サイを振る。ヴェテヒネン級潜水艦をドイツに受け取るまでの月数。	最高統治	(+1/-1)	(0/0)	(0/0)	(-2/0)
III	ベルリンがスペイン参戦と潜水艦戦の連携を交渉	特別ルールを参照。	最高統治	(0/-1)	(-1/0)	(-1/0)	(-2/0)
III	フランス艦隊の押収	特別ルールを参照。	最高統治	(-2/-1)	(-1/0)	(-1/0)	(-2/0)
III	ベルリンがヴィシー・フランスに参戦と潜水艦戦の連携を交渉	特別ルールを参照。	最高統治	(-1/-1)	(-2/0)	(-1/0)	(-2/0)
II	WP 3 の前にグランド・バンクスで作戦	特別ルールを参照。	最高統治	(+1/0)	(0/0)	(0/0)	(-1/0)
II	WP 4 の前にマラタイムズで作戦	特別ルールを参照。	最高統治	(+1/0)	(0/0)	(0/0)	(-1/0)
II	WP 4 の前にカリブ海と南米水域で作戦	特別ルールを参照。	最高統治	(+1/0)	(0/0)	(0/0)	(-2/0)

難 易	要 求	影 響	目 標	OKM	OKW	OKL	最高
III	WP4の前にアメリカ水域で作戦	特別ルールを参照。	最高統治	(+1/-1)	(0/0)	(0/0)	(-2/0)
III	戦争時期4の前にアメリカ軍ユニットを目標にする	[30.23] の制限を落とす。	最高統治	(+1/0)	(-1/0)	(0/0)	(-2/0)
対応要求							
I	BdU イベントの打消し	イベント要件の撤去: 自動的成功	自動的	(-1/0)	(0/0)	(0/0)	(-1/0)
II	OKM イベントの打消し	イベント要件の撤去	OKM	(-2/0)	(0/0)	(0/0)	(-1/0)
III	最高統治機関イベントの打消し	イベント要件の撤去	最高統治	(-1/0)	(0/0)	(0/0)	(-2/0)
I	訓練部隊移管イベントの打消し	撤去なし。新たな潜水艦が未熟練乗組員を持つ可能性を 10%蓄積。	OKM	(-1/0)	(0/0)	(0/0)	(0/0)

戦闘イベント表 [19.2]					
サイの目	イベント				
0	<p>目標の前に邪魔が割り込む [Target Ladders into Way]</p> <p>突然、連合艦船が1本以上の魚雷針路を横切る。通常に戦闘フェイズを実施するが、一時攻撃ラウンド [14.16] を実施する前に、このコラム又は隣接コラム内のいずれかの表面を伏せた「レッド・エンサイン」旗艦船を選択して明らかにし、それが沈没したかどうかを判定する。これを行うためには、サイを1つ振って攻撃結果表の正確な目標サイズ上の現行魚雷修正を加える。通常に攻撃ラウンドを継続し、潜水艦は耐久度チェックの目的において魚雷を使用している。もしもディスプレイ上に使用可能な艦船がなければ、このイベントは無視する。</p>				
1	<p>照明弾 [Stagshells]</p> <p>1隻以上の連合艦船が照明弾又は「スノーフレック」ロケット弾で照らし、ときには潜水艦が隠れることを助ける。下記の表でサイを振る。:</p> <p>0～1 いったん裏返したら、プレイヤーはいずれか1枚のTDCを有利に調整できる (例えば、-1は-2になる)。</p> <p>2～3 プレイヤーは、自身が選択した目標へ追加のTDCマーカーを置くことができる。</p> <p>4～5 効果なし</p> <p>6～7 プレイヤーは、要求されるよりも1枚少ないTDCを置く。もしも全てがすでに置かれていたら、裏返されていないTDCを無作為に選択して取り去る。もしも全てが裏返されていたら、潜水艦に最も有利なそれを取り去る。</p> <p>8～9 このイベントを誘発した潜水艦は、「探知済 [“Spotted”]」でマークされ、急速潜航/退避を強制される。直ちに潜水艦に対する反撃を解決し (更にユニットが明らかにされるまで待たずに)、それをディスプレイから取り去る (もしも生き残ったら、戦闘から撤退し、船団が通り過ぎるまで拘束される)。</p> <p><u>サイの目修正</u></p> <table> <tr> <td>戦争時期1と2</td><td>-1</td></tr> <tr> <td>戦争時期5</td><td>+1</td></tr> </table>	戦争時期1と2	-1	戦争時期5	+1
戦争時期1と2	-1				
戦争時期5	+1				
2	<p>旋回魚雷 [Circular Running Torpedo]</p> <p>魚雷が弧を描いて潜水艦に向かって馳走する。通常に攻撃ラウンドを実施するが、加えて自軍潜水艦自体に攻撃を実施する。この攻撃を実施するため、プレイヤーは現行のG7魚雷値に1を加え、特別にTDCマーカーを引き、サイを1つ振る。もしもサイの目が結果以下であると、潜水艦は沈没する。もしも潜水艦が反撃ラウンドの前に生き残ると。潜水艦はTDCを明らかにする前に急速潜航 [14.13] を行うことで魚雷回避を試みることができる。潜水艦は耐久度チェックの目的において、魚雷を発射したと見なされる。</p>				
3	<p>哨戒機が潜水艦を探知する [Patrol Aircraft Spots Submarine]</p> <p>連合軍哨戒爆撃機に潜水艦が探知されて攻撃される。その他の潜水艦危機的事態表の「イベント航空機」ライン上で直ちにサイを振り、列記された修正で結果を適用する。もしも潜水艦が急速潜航に成功したら、「効果なし」以外の全ての結果は「探知下 [“Spotted”]」に変更される。本国水域 [30.1] 内であるために潜水艦が二回目の機会を獲得しない限り、戦闘は終了する。このイベントは、もしも現行戦争時期に航空機のアイコンがなければ無視される [2.12]。 (例外: もしも時期が1943年で、戦闘が南大西洋/インド洋ディスプレイ又はバルト海上で発生していなければ、潜水艦は空母機によって探知されている)。</p>				
4	<p>機械的故障が攻撃を終了させる [Mechanical Troubles End Attack]</p> <p>潜水艦が機械的故障に見舞われる。このターンの潜水艦についての戦闘フェイズはない。</p> <p>サイを1つ振る。:</p> <p>もしも奇数の結果であると、潜水艦の上に損傷マーカーとRTBマーカーを置く。</p> <p>もしも偶数の結果であると、機関長が問題を解決して潜水艦は次のターンに通常の作戦を再開できる。(このターンについて耐久度表で振る必要はない。)</p>				
5	<p>完璧な位置取り [Perfect Setup]</p> <p>潜水艦の接近は完璧だった。このラウンドの全てのTDCマーカーが負の値を持つことを除き (すなわち、全ての「+」を「-」として扱う)、通常に進める。</p>				
6	<p>トン数を2倍にする [Tonnage Doubled]</p> <p>艦長が大物目標を発見する。戦闘フェイズの終了時、撃沈した最大の名称なし商船のトン数を二倍にする。もしも目標が爆発する可能性があるか又はWP5に攻撃結果表に-1DRMを持つと [14.16.D]、判定するために二倍トン数を使用する。もしもこのイベントが続くラウンドで再び振られたら、次の最大艦船が同様にトン数を二倍にされる。</p>				

戦闘イベント表 [19.2]

7	反撃→戦闘 [Counterattack → Combat] このラウンドについてのみ、戦闘のシーケンスが変更される。いったん全ての目標が通常に明らかにされたら、TDCを持つ未確認状態の旗を含み、護衛艦が最初に攻撃する。もしも沈没又はRTBを強制されなければ、潜水艦は水上艦船を攻撃する。[14.11] から [14.15] まで最初の攻撃ラウンドを実施し、次いで反撃ラウンド [14.2] へ飛ぶ。もしも潜水艦が沈没又はRTBを強制されなければ、次いで [14.16] に従って通常に攻撃できる。このイベントは、発見されたものの艦長がそれに気づかず、ひたすら目標に集中しているときに僅かな驚きを与える。
8	反撃 [Counterattack] 潜水艦が接近中に護衛艦が探知して潜航させる。潜水艦が攻撃できないことを除き、戦闘イベント#7に従って解決する。
9	戦闘 → 戦闘 [Combat → Combat] 潜水艦は全ての護衛艦を巧みに逃れ、水上艦船を攻撃する。反撃はなく、潜水艦は [14.3] に進む前に追加のフリー攻撃を獲得する。このイベントが二次攻撃ラウンドに引かれていない限り、このフリー攻撃についての TDCs への 1 修正はない。

DESIGNER'S NOTES by Stephen Jackson

鋼鉄の狼は、静かなる戦いのための確認過程にその起源を持ち、太平洋で使用した数値、方式、過程を大西洋に正しく移管できるか検証することです。その大部分において、それらは例えばドイツ軍潜水艦が夜間に浮上して北大西洋船団や独航船を通常に攻撃するための能力を根拠づける、攻撃値の手直しをしなければならないといった小さなことでした。この選択肢は、普通は商船の護衛率が高く、より目視できた太平洋では滅多に使用できなかったものです。

鋼鉄の狼は、静かなる戦いよりも規模が大きくより詳細な5年間以上の努力を包含するので、私はカウンターを「因習的な知恵」で解決したのと同様に、デザイン過程のいくつかの面を触ることのみを意識しました。

太平洋と大西洋戦役の大きな違いの一つは、歴史的又は鋼鉄の狼のようなシミュレーションでは明確ではありません。その違いは、商船隊の桁違いな規模です。太平洋の潜水艦は、新たな商船目標に少数で広大な海域を扱わなければなりません。対照的に、イギリス諸島周辺の海域には、ほぼ世界全体の船舶トン数の四分の一が含まれ、その多くは老朽船でした。それは、極めて獲物が豊富な環境でした。1939年中と1940年（戦争時期1）初期の北海は、日毎にUボートが停止して1隻以上の艦船を取り調べるのが普通でした。当初、中立国船の索敵を鋼鉄の狼に組み込みましたが、禁制品を運んでいると思われる艦船を見つけて沈めるためには、極めて多数の艦船を要し、捕獲ルールへ進むことを判定するため、他のサイ振りによってそれ専用の遭遇表が必要になることを認識しました。私たちは接触全体を潜航中の様相と決めたため、生じる唯一のそれは歴史的には非難されます。

これは、私を戦争要素へと導きました。時期毎の商船要素は、ほぼその時期に沈没した商船のタイプ、トン数、国籍に一致します。データを持たないため、それ以外に一致させる必要はありません。要素内の護衛艦は、いくつかの例外を除き、6隻から12隻の一時

期実際に就役していたそれに相当します。いくつかのタイプ、例えば沿海や地中海のような穏やかな海に配備が限定されたハント級護衛駆逐艦は、過小評価されることになります。

大西洋の闘いの間に、多数の艦船が建造されて沈みました。その数は正に劇的ですが、目の玉が飛び出すほどの船舶輸送量と比較すると、戦争を変化させるほどの影響はなかったと見るができます。例えば、最も打撃を受けた大西洋の護送船団は、シドニーからケープ・ブレトンを経て大英帝国へ向かうSCシリーズの船団です。対比されるHXシリーズと比較して低速船で編成され、6,806隻から成る177の船団を形成しました。これらのうち、29のみの船団が攻撃され、合計で143隻が失われ、全体の2%でした。これは、98%の艦船が通過したことを意味し、他のどの大西洋シリーズよりも高い比率です。これは、悲劇のコストを減らすものではなく、大西洋の戦いで30,000名の船員が生命を落しました。海軍少将レナード・マレーは、後に「大西洋の戦いは、海軍や空軍によって勝利したのではなく、イギリスと連合国商船乗組員の勇気、不屈の精神、決意によって勝利した。」と述べました。

最終的に、1943年の大西洋の戦いにおける連合軍の勝利は、連合国が生産を護衛艦から1944年の侵攻のための上陸用舟艇にシフトさせることを認めました。

ドイツ軍の潜水艦攻勢で1つの基本的な問題は、VII型の小型ボートを選択したことへの扱いです。内装設備は、それらが強いられた長期哨戒のために設計されておらず、消耗した乗組員は哨戒の合間に10日間から2週間を与えられ、しばしば列車で故郷のドイツや療養地でスキーをするために送られました。これは慰労のために行われたのではなく、乗組員を有能に保つために必要と判断されたからです。ボート自体の遅い整備と相まって、平均的なドイツ軍Uボート（より小型のII型を除く）は相手側のアメリカ軍と比較して2倍も港内にありました。これは、同時に魚雷発射管をどれだけ海上に持つつかという潜水艦戦の成功にとって致命的な足枷でした。1939年に

使用可能だったアメリカ軍のP級や新S級（サーモンとサーゴ級）又は1940年に就役したより大型のタンバー級艦隊型ボートと同様に、ボートに長距離性、内装、多数の魚雷を持たせることができたのではないかと考える人もいます。

大西洋におけるイタリア軍の戦役について述べる価値はあります。イタリア軍の成功は、しばしば歴史的にドイツ人に帰し、特にイギリス人とドイツ人によって書かれました。ただし、イタリア軍潜水艦は、その長距離航海の活動を妨げる4つの明白に不利な要素の下で骨を折りました。

1. ムッソリーニ政権下の軍備拡大は、長期間の使用と効力について、新たなハードウェアと利益の連携を示す大きな目標を持ちました。予備部品の生産、消費し易さ、設備の支援は極めて低い優先順位を持ちました。ボルドーにおけるイタリア軍潜水艦の通常の保守と非常に小規模な修理は、しばしばイタリアから送られてくる小さな部品を待つことで遅延しました。
2. イタリア軍将校と潜水艦艦長は、しばしば各哨戒の後で配置転換され、獲得した経験を利用する能力を妨げました。何人かの成功した潜水艦艦長は、その経験がリビアへの護送船団を助けることを望まれて、地中海で水雷艇の指揮官へ転任させられました。これは、イタリア軍潜水艦が哨戒作戦の代わりに追加の訓練や整備を強いられる原因となりました。
3. 工場からの魚雷不足は、高いコストと目標毎に魚雷1本のみを使用するドクトリンの結果となりました。これは放射状発射による命中と撃沈を減少させました。このドクトリンは非生産的であると認識されたため、徐々に廃れていきました。

4. ドイツ軍は、イタリア海軍艦艇にエニグマを提供することを拒否しました。これは、各連合軍潜水艦をイギリス情報部の作戦指揮下に置くイギリス軍の実践と対照的でした。イタリア軍潜水艦を狼群内に含む2つの試みが行われましたが、有効な連絡を取れないことがその努力を破綻させました。

王室カナダ海軍の貢献は、しばしば歴史上で見くびられています。これらは、カナダ軍が通常新たな技術を受け取るのが最後で（フランス、ノルウェー、ポーランドの部隊の後ですらあった）、彼らが西方水域内で船団ルートを外れているため、英国のASW学校が彼らを重視する時間がなかったとは述べていません。カナダ海軍の戦時における驚くべき拡大（13隻と3,500名の兵員から340隻と115,000名の兵員を超える世界第三位へ）は、熟練した艦船からの熟練した水夫を新たな艦船の乗組員に送り出す結果となりました。

米海軍がその使用可能な全ての駆逐艦を戦争初期に太平洋へ移管し、その結果として「二度目の幸福な時代」になったとしばしば言われます。実際には、70隻が大西洋に留まりましたが、その大部分は空母と戦艦の任務部隊、HXとON船団、高価値の部隊輸送船団、フリータウンとアセンション特別船団を護衛していました。単純に、東海岸に沿った効果的な船団システムは、十分に機能していませんでした。クレイ・ブレアによって指摘されたごとく、キング提督は貨物船、部隊、軍艦を防御する選択肢の中で部隊を防御することに決めました。キングが認識していなかったことは、たとえ少数の護衛艦であっても、単独で航行させられている艦船よりも有効であることです。

Stephen Jackson